

報道・行政・企業関係者のための

2026年度版 大阪公立大学 コメンテーターガイド



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

コメンテーターガイドについて

本ガイドは、報道・行政・企業関係者向けに特定の分野・テーマにマッチしたコメントができる研究者を紹介するものです。報道機関の皆さまがニュースの背景を深く掘り下げる際や、行政機関の皆さまがエビデンスに基づいた政策を立案される際に、「確かな見解を提供できる専門家」を円滑に探していただくために制作いたしました。知識が豊富なだけでなく、メディア出演実績や行政の委員会などへの参画を通じて、社会へのアウトプットに意欲的な研究者を中心に掲載しています。

本学は、12 学部・学域、15 研究科を擁する日本最大級の公立総合大学として、多彩な学術知を有しています。これらの高度な知見を学内だけに留めるのではなく、広く社会に還元していくことを目指しています。

現代社会の多様な事象を読み解く「知のパートナー」として、ぜひ本ガイドをご活用ください。

▶ コメンテーターガイドの Web 版はこちら

<https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/commentator>



取材依頼について

取材・撮影等のご依頼は、大学 Web サイト掲載の「取材等申込書」をご提出いただくか、下記広報課までご連絡ください。

大阪公立大学 広報課

TEL : 06-6967-1834 Mail : koho-list@ml.omu.ac.jp

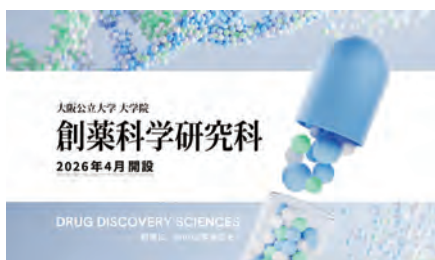
▶ Web サイトはこちら

<https://www.omu.ac.jp/about/pr/public-relations/>



TOPICS：本学の研究と新たな挑戦

本学は、多様な専門性を融合させ、学問の境界を越えた「総合知」により、社会課題の解決に取り組んでいます。研究力をさらに加速させ、世界水準の「知の拠点」としての歩みを進めていきます。



創薬科学研究科Webサイト



■ 2026年4月 創薬科学研究科開設

「総合知による創薬」を理念に、異分野融合型の創薬科学教育・研究を推進し、高度な専門知識と能力を持つグローバルな研究者の育成を目指します。将来的にはアカデミアと企業を繋ぐ「創薬ハブ」としての役割を果たすことを目標としています。

■ 関連教員

乾 隆(P.25)、居原 秀(P.43)、恩田 真紀(P.26)、
笠松 真吾(P.27)、金子 幸弘(P.57)、立花 太郎(P.47)、
円谷 健(P.31)、中瀬 生彦(P.61)、弓場 英司(P.37)



大阪健康長寿医学科学センターWebサイト



■ 2027年春 大阪健康長寿医学科学センター開設予定

住吉市民病院跡地に、健康長寿医療・介護の複合中核拠点を開設。当センターは大阪公立大学医学部附属健康長寿医学科学センター病院・研究所および大阪市立介護老人保健施設を兼ね備えており、認知症研究および健康長寿医療・介護に力を入れて取り組みます。

■ 関連教員

飯田 琢也(P.25)、石丸 翔也(P.21)、岩田 晃(P.65)、
植田 大樹(P.55)、上村 麻衣子(P.55)、大谷 直子(P.56)、
片岡 正教(P.66)、柴田 利彦(P.58)、高井 飛鳥(P.30)、
立花 太郎(P.47)、田中 寛之(P.67)、床波 志保(P.32)、
富山 貴美(P.61)、中瀬 生彦(P.61)、中村 博亮(P.61)、
樋口 真人(P.62)、樋口 由美(P.68)、横井 賀津志(P.69)



大阪公立大学Webサイト>お知らせ



■ 「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に本学から、116名の研究者がランクイン

スタンフォード大学とエルゼビア社による「標準化された引用指標に基づく科学者データベース (Science-wide author databases of standardized citation indicators)」が2025年9月19日に発表され、科学分野で影響度の高い科学者として、本学からは「生涯」(career-long)区分で44名、「単年」(single recent year)区分で38名が選出されました。

現職の研究者以外にも、「生涯」区分で60名、「単年」区分で16名の名誉教授・退職教員等が選出されました。

(両区分に重複選出された教員を含む延べ人数)

■ 関連教員

左記Webサイト参照(現職教員の主な内訳:工学研究科18名、医学研究科14名、理学研究科12名 他)

報道・行政・企業関係者のための

2026 年度版 大阪公立大学 コメンテーターガイド

■ CONTENTS

文化	5
社会・くらし	7
政治・法律	16
経営・産業	18
経済	19
国際情勢	19
情報・AI	20
科学・技術	24
素材・エネルギー	38
環境・生物・宇宙	42
防災	53
医療	54
健康・リハビリテーション	65
食	69
インデックス	71

伊地知 紀子 (イヂチ ノリコ)

文学研究科
教授

広報ポイント

朝鮮地域研究の一環として、済州島にルーツをもつ方を中心に在日コリアンの生活史を調査。一人一人の人生譚をととして人びとの移動史、そして日本と朝鮮半島の関係史をふまえ、私たちが生きる現代社会の多様性と公共性についても研究や調査を行う。

■ キーワード

済州島研究 生活史 生活誌 地域研究 日本と朝鮮半島の関係史

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/8/9 韓国EBS「光復80周年特集 大阪、韓国の味が生きる路地」でインタビュー放映
2025/12/22 毎日新聞 11月29日に森之宮キャンパスで開催された「金石範生誕100年記念シンポジウム」に登壇
2026/2/1 毎日新聞 「記者コラム 半島の現場から『創氏改名』を拒否して死んだ男 現代に何を問いかけるのか」記事内にコメント掲載
2026/2/10 スタジオジブリ発行『熱風』第24巻第2号 藤原辰史「食と抵抗 日本現代史紀行」 第6回「大阪コリアタウンからの挑戦―「トックの徳山」と「在日」食文化[前編]」での取材によりインタビュー掲載
コリアNGOセンター評議員 2017/6 - 継続中
国際高麗学会日本支部 会長 2022/6 - 継続中
一般社団法人大阪コリアタウン歴史資料館 副館長・副理事長 2023/4 - 継続中
日本社会学会国際交流委員、関西社会学会理事、文化人類学会倫理委員など歴任

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000944_ja.html


ESCANDE JESSY (エスカンド ジェシ)

文学研究科
准教授

広報ポイント

日本のファンタジーおよびSF表象を中心に、メディア越境的・文化越境的な視座からその変容を研究。小説、漫画、ゲーム、アニメなど多様なメディアを対象に、他文化起源の図像や語りの再編成を分析。異世界ものに見られる社会批評性、ゲームに組み込まれたエコクリティシズム、異種族キャラクターを用いた社会少数派の再表象などの検討を通して、現代社会における批評的語りのあり方を探究している。

■ キーワード

ファンタジー研究 比較文化研究 ゲーム研究 文化移転論 ジャンル論
メディア・コンテンツ論

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/3/7『社会文化通信』 釜ヶ崎とジェントリフィケーション
2023/9/25『Lifes』 外国人住民として見る大阪
2024/12/17 Waseda University Podcasts: Rigorous Research, Real Impact 日本ファンタジーとアイルランド伝承
2025/2/27『情況』 欧米極右による日本ファンタジーの受容
早稲田大学高等研究所紀要編集委員会 紀要編集委員 2024/4 - 2025/3
早稲田大学高等研究所 所員幹事 2025/4 - 2025/8

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003141_ja.html


奥野 久美子 (オクノ クミコ)

文学研究科
教授

広報ポイント

芥川龍之介を中心とする大正期文学の研究、近代講談本・実録本の研究。草稿や典拠、文化的背景の考察により、作品の成り立ちを研究している。

■ キーワード

日本近代文学 講談本 芥川龍之介

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/08/15 NHK「ファミリーヒストリー」 大森南朋編で講談本について解説
2022/10/15 毎日新聞 生誕130年の芥川龍之介の魅力について解説
2024/4/2 読売新聞 民間研究者より講談本1万冊が本学に寄贈されたことについて
2025/1/25 毎日新聞 芥川龍之介の小説「ピアノ」と「好色」、「將軍」について解説
国際芥川龍之介学会 理事 2015/9 - 2023/3
日本近代文学会関西支部 運営委員 2017/4 - 2021/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000299_ja.html


岸本 直文 (キシモト ナオフミ)

文学研究科
教授

広報ポイント

弥生時代から古墳時代への社会の変化、古墳の墳丘や石室の研究にもとづく古墳時代社会の特質や政治的変遷などを研究。近畿地方の前方後円墳の調査を順次実施する予定。

■ キーワード

古墳時代 前方後円墳 祭政分権王制

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/8/23 読売新聞 佐紀古墳群の精密な立体地図が航空レーザー測量を用いて作成されたことについて
2024/5/23 京都新聞 京丹後市教育委員会による前方後円墳「網野銚子山古墳」の調査報告についてコメント
2025/3/2 朝日新聞 未知の大型前方後円墳の一部が発見された奈良市の佐紀古墳群についてコメント
鈴鹿市富士山1号墳調査指導委員会 委員 2021 - 継続中
高槻市 高槻市史跡整備指導検討会 委員 2022/5 - 継続中
香芝市史跡整備検討委員会 委員 2022/7 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000455_ja.html


久堀 裕朗 (クボリ ヒロアキ)

文学研究科
教授

広報ポイント

日本近世文学・演劇を専門とし、主に江戸時代から現在に至るまでの人形浄瑠璃史について研究。作品がどのような時代背景のもとに生まれ、どのように享受されてきたのかを考察。人形浄瑠璃の特質、近松門左衛門が果たした役割、近世淡路人形座の活動と大坂との関係等のテーマに取り組む。

■ キーワード

日本近世文学 近世演劇 伝統芸能 文楽 国文学 人形浄瑠璃

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/6/28 朝日新聞 義太夫節三味線で知られた鶴澤友路さんを描いた漫画「人間国宝 鶴澤友路」を監修
2023/7/18 徳島新聞 演目復活を手掛け徳島市で公演された「幻の浄瑠璃」の舞台について
2025/10/25 読売新聞 人形浄瑠璃の新たな試みについてコメント
2025/11/11 産経新聞「明解! 公大ゼミ」で解説:「人形浄瑠璃文楽」の楽しみ方について
公益財団法人淡路人形協会 文化庁「文化遺産総合活用推進事業」検討委員会委員 2017/4 - 2019/3
大阪府 大阪府立上方演芸資料館運営懇話会委員 2022/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000621_ja.html


佐賀 朝 (サガ アシタ)

文学研究科
教授

広報ポイント

近代大阪の都市社会史・地域史や戦時下の国民動員と地域の関係が専門。近年は、近世～近代における「遊廓社会」の研究にも取り組む。自治体の委員多数。

■ キーワード

日本近現代史 都市社会史 遊廓社会史 地域史

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/6/11 神戸新聞 本学で開催される大阪歴史科学協議会2025年度大会で行う発表「遊廓・性買売とジェンダー」について
あおぞら財団附属「西淀川・公害と環境資料館」(エコミューズ)運営協議会委員 2006/3 - 継続中
大阪歴史科学協議会 庶務委員 2022/6 - 継続中
国立歴史民俗博物館 運営会議共同研究委員会 委員 2023/5 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000340_ja.html


菅原 真弓 (スガワラ マユミ)

文学研究科
教授

広報ポイント

美術館学芸員としての経験を生かした博物館運営および文化財保護に関する知見を有する。近年は、美術館学芸員のキャリア形成に関する問題提起も行っている(<https://current.ndl.go.jp/car/209574>)。日本美術史、特に近代における媒体(主に版画)に関する研究を行う(2019年、著作『月岡芳年伝』により、第69回芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)受賞)。

■ キーワード

浮世絵 ミュージアムマネジメント アートマネジメント 日本美術史 版画 文化資源学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2017、2020、2022/1/30 NHK Eテレ「日曜美術館」出演
2025/10/10 読売新聞 平野区画整理記念会館で開催される「歴史講座 蔦屋重三郎 江戸の出版王への軌跡」イベントで解説
2025/11/25 京都新聞 城陽市歴史民俗資料館で開催された錦絵を集めた企画展で錦絵の魅力をテーマに講演
国際浮世絵学会 常任理事 2017/4 - 継続中
岐阜県文化財保護審議会 岐阜県文化財保護審議会委員 2019/10 - 継続中
大阪市 大阪市博物館機構評価委員会 2022/4 - 2024/3
岐阜市 岐阜市歴史博物館資料評価委員会 2022/7 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000136_ja.html


仁木 宏 (ニキ ヒロシ)

文学研究科
教授

広報ポイント

日本中世史、特に室町～織田信長・豊臣秀吉の時代の近畿地方を中心に、全国の都市や村落の歴史について研究。戦国大名や経済・流通も主なテーマとしている。

■ キーワード

大坂(大阪)の歴史 京都の歴史 日本中世史 日本史 信長・秀吉 古文書 大阪城

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/8/8 神戸新聞 応仁の乱ゆかりの武士・中村三郎の子孫である郷土史研究家の研究に協力
2025/2/6 京都新聞 永守重信市民会館で開催された「物集女城跡国史跡記念シンポジウム」に登壇
大阪市経済戦略局 特別史跡大坂城跡整備計画検討会議 委員 2023/9 - 2025/3
高槻市芥川城跡調査委員会委員 2023/8 - 2025/7
日本史研究会 代表委員 2024 - 継続中
大阪歴史博物館館長 2026/4 -

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000517_ja.html


ハナムラ チカヒロ (ハナムラ チカヒロ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

現代アートの手法を用いた環境のデザインや風景の異化、数値データや哲学的な思考を用いた認識の異化など、人間の内面から社会環境、自然環境までを包括的に把握する研究に取り組む。2024年度には、自然や社会のさまざまなテーマについて10代のヒトと一緒に考える哲学カフェ形式の講座「ヒトの学校」を主宰。

■ キーワード

自然科学：環境デザイン(造園・景観・都市ほか) デザインサイエンス 計画学
社会科学：芸術文化マネジメント 観光学 社会彫刻
人文科学：トランススケープ論 芸術(現代アート) デザイン史 聖地研究 哲学・初期仏教
■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/12/28 ラジオ関西「平田オリザの舞台は但馬」「まなざし」をキーワードにパンデミック以降の社会についてトーク
2023/2/8～2023/3/22 教育新聞 定期連載「現代アートの見方を知れば 世界の見方が変わる」 第1回～第13回
2024/2/5 毎日新聞 「主宰する、世の常識について若者たちと対話する場「ヒトの学校」の紹介」
2025/7/11 未来定番研究所「Future Is Now」 正しさを問い直すには?ハナムラチカヒロさんが考える、本質を見る「まなざし」の育て方。
堺市文化芸術振興委員会 委員 2015/4 - 2016/3 堺市文化芸術審議会委員 2016/4 - 2017/3
浪速区区政会議委員 2016/4 - 2017/3 堺市文化芸術審議会委員 2017/4 - 2018/3
堺市文化芸術審議会委員 2019/4 - 2020/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001978_ja.html



廣岡 浄進 (ヒロオカ キヨノブ)

国際基幹教育機構
現代システム科学研究科
研究推進機構 人権問題研究センター
教授

広報ポイント

大阪市立大学人権問題研究センター着任以来、部落問題関係の授業などを担当している。近現代史研究から出発し、同時代史研究や評論に領域をひろげ、また全国大学同和教育研究協議会の事務局長(2012/6 - 継続中)などの世話役も担っている。継続中の科研費研究では、被差別部落からのハワイ・アメリカ移民の歴史経験をめぐる共同研究を進めている。

■ キーワード

部落問題 帝国史研究 植民地 朝鮮近代史 部落史 マイノリティ 差別 人権
日系アメリカ移民 近現代史 思想史 文化交流史 絵図 古地図 人権教育 同和教育 名乗り アイデンティティ

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/8/11 京都新聞「京大博物館 被差別地域隠し展示」コメント
大阪府公正採用・雇用促進会議 委員 2019/7 - 継続中
大阪市人権施策推進審議会 委員 2022/11 - 継続中
奈良県人権施策協議会 委員 2024/9 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000968_ja.html



増田 聡 (マサダ サトシ)

文学研究科
教授

広報ポイント

ポピュラー音楽をとりまくメディア、テクノロジー、産業、空間、思想などについて美学的・メディア論的な観点から研究。音楽著作権をめぐる思想的・文化的諸問題についての分析も行う。

■ キーワード

著作権 ポピュラー音楽 メディア論

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/7/28 The New York Times 日本社会におけるセクシュアリティの公表についてポピュラー音楽の研究者としてコメント
2024/12/24 産経新聞 「明解! 公大ゼミ」で解説: 紅白歌合戦のあり方について
2025/9/25 朝日新聞 7月14日に死去した音楽評論家・渋谷陽一さんについて
朝日新聞 連載「ポップスみおつくし」(2017～ 年4回)
日本音楽学会 西日本支部役員 2021/4 - 2025/3
日本ポピュラー音楽学会 理事、研究活動委員長 2024/12 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000443_ja.html



阿久井 康平 (アクイ コウヘイ)

現代システム科学研究科
准教授

広報ポイント

都市デザイン・景観デザイン・都市計画が専門。産官学連携での公共空間デザイン、ランドスケープデザインなどの社会実験や取り組みを踏まえた実践・研究をはじめ、文化的景観(棚田・農村景観など)の景観構造の解明やその保全のあり方を考える研究に取り組む。また、水辺都市の歴史的形成過程や歴史的街並み(建築物群・橋などの構造物)の景観的特徴を包括的に分析する研究を行っている。

■ キーワード

都市・地域計画 都市設計 都市デザイン 都市空間デザイン 景観論 景観計画・設計 景観デザイン ランドスケープデザイン ランドスケーププランニング 文化的景観 景観まちづくり エリアマネジメント

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/24 富山新聞 富山市景観まちづくり考えフォーラムに登壇
日本建築学会 景観小委員会委員 2017/4 - 継続中 日本造園学会 論文集委員会 委員 2023/9 - 継続中
兵庫県 景観審議会 委員 2023/11 - 継続中 堺市 景観アドバイザー 2024/4 - 継続中
日本都市計画学会 関西支部幹事 2025/4 - 継続中
大阪市建設局道路河川部河川課 東横堀川水辺空間デザイン会議 委員 2025/6 - 継続中
大阪府 景観審議会 委員 2025/10 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002477_ja.html



阿久澤 麻理子 (アクザワ マリコ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

社会学の視点から、現代社会において変容する部落差別、人権教育・研修について研究。
自治体で人権擁護や人権教育に関する委員を多数歴任。

■ キーワード

変容する現代社会の部落差別 量的質的調査を通じた市民意識(人権意識)の変容の把握・分析 人権教育・人権教育政策 国際社会における人権教育の推進

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/2/1 朝日新聞 インターネットと部落差別について解説
2024/6/25 山口放送「kry news every.」時代に適応した同和教育のあり方について
姫路市人権啓発センター運営推進会議委員 2015/4-継続中
京都府人権教育・啓発施策推進懇話会委員 2023/4-2025/3
三重県部落差別解消条例(仮称)制定等に向けた検討会委員 2024/3-継続中
(公財)世界人権問題研究センター登録研究員 2025/2-継続中
米原市人権尊重のまちづくり審議会委員 2025/2-継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000623_ja.html



明戸 隆浩 (アケド タカヒロ)

経済学研究科
准教授

広報ポイント

ヘイトスピーチやレイシズム、日本における外国人労働者などの問題を中心に研究。ネット上のヘイトから外国人受け入れ政策まで幅広く問題提起している。

■ キーワード

ヘイトスピーチ 人種差別 多文化社会 マジョリティとマイノリティ 外国人労働

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/3 朝日新聞 インバウンド需要が高まるなかでの外国人に対する排他的な主張についてコメント
2025/9/20 毎日新聞 ネット上のヘイトスピーチについてコメント
2025/10/3 朝日新聞 自民党総裁選でも争点の一つとなった外国人受け入れ政策についてコメント

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002520_ja.html



伊藤 嘉余子 (イトウ カヨコ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

貧困や虐待等さまざまな理由によって、自分が生まれた家庭で親・家族と一緒に暮らし育つことができない子どもたちのための支援(里親支援、児童養護)について研究。日本社会福祉学会理事、子どもに暴力防止教育を届けるCAPセンター・JAPAN理事長を務める。大阪商工会議所が創設した「活躍する女性リーダー表彰(愛称:ブルーローズ表彰)」を2025年度に受賞。

■ キーワード

社会的養護 里親 里親支援 児童養護施設 子ども家庭福祉 児童虐待 貧困 社会的養育 要保護児童 施設養護 子育て支援 体罰防止 ペアトレ 親子支援 家族支援 ソーシャルワーク

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/10/21 NHK「みみより!くらし解説」登録している里親に子どもが委託されない問題について
2023/7/12 読売新聞 子どもへの虐待を疑われた父親に対する無罪判決について
2024/11/17 関西テレビ「カンテレ通信」10月は里親月間。大阪市里親会シンポジウム【親と暮らせない子どもの今】
2025/12/8 中日新聞 長野県松本市で開催されたヤングケアラーの支援のあり方を考える研修会で講演

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002038_ja.html



大塚 芳嵩 (オオツカ ヨシタカ)

農学研究科
准教授

広報ポイント

都市の公園や緑地がもたらす健康増進と交流促進の効果を科学的に解明し、地域の環境を生かした「病気になるまいまちづくり」を目指すゼロ次予防の研究を進めている。

■ キーワード

都市緑地 都市公園 健康の社会的決定要因 健康格差 ゼロ次予防 ソーシャル・キャピタル シビック・プライド 社会経済的格差 社会疫学 グラウンデッド・セオリー・アプローチ 歩きたくなるまちづくり データ・ドリブン・アプローチ

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/2 薬事日報 本学国際感染症研究センターの産学連携プロジェクトを紹介するキックオフセミナーにて感染症対策について説明
日本緑化学会 評議員 2019/10-継続中
日本混合研究法学会 日本混合研究法学会 学術活動推進委員会委員 2023/10-継続中
日本緑化学会 第19期編集委員会 委員 2025/10-継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002482_ja.html



垣田 裕介 (カキタ ユウスケ)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

貧困の実態分析と社会政策のあり方に関する研究。全国各地で調査を行い、生活困窮者・ホームレス・不安定居住者の実態を分析し、社会政策や支援実践のあり方を研究。

■ キーワード

社会政策 社会保障 生活保護 居住支援 貧困 生活困窮者 ホームレス

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/30 朝日新聞 低所得子育て世帯を対象に給付金を支給する国の事業について
2025/1/28 産経新聞 「明解! 公大ゼミ」で解説: 労働者の街として栄える西成・釜ヶ崎地区の特色について
厚生労働省「生活困窮者自立支援制度人材養成研修運営委員会」 委員 2024/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000969_ja.html



嘉名 光市 (カナ コウイチ)

工学研究科
教授

広報ポイント

京阪神を中心として都心の再生に向けた都市デザイン、参加型まちづくり、空間デザインに取り組む。2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)パビリオン推進委員会エキスパートなど都市計画に関する委員歴多数。産学官民共創による都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクトの代表として、大阪都心回遊性向上研究プロジェクト 2025万博サテライトプランにおけるデータを活かしたネットワーク型自治プラットフォームによるまちなか再生策に取り組む。

■ キーワード

都市計画 都市デザイン 都市再生 景観デザイン エリア・マネジメント

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/4/13 産経新聞 2025年大阪・関西万博の会場建設工事の遅れについて
2025/4/3 産経新聞「明解! 公大ゼミ」で解説: 万博コンセプト「共創」の意味について
2025/4/21 日刊建設工業新聞 大阪が果たす役割やまちづくりの将来像についてインタビュー
2025/10/3 神戸新聞 神戸の魅力や三宮エリアの再整備について提言
大阪商工会議所 「都市活性化委員会」および「グレーターミナミ推進委員」 副委員長 2024/1-2026/10
国土交通省道路局 「人中心の道路空間」のあり方に関する検討会 委員 2024/3-2025/3
2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会エキスパート 2024/4-2025/3
大阪府都市計画審議会会長 神戸市都市計画審議会会長 京都市美観風致審議会委員

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000199_ja.html



北野 健一 (キタノ ケンイチ)

工業高等専門学校
教授

広報ポイント

2009年、単一教育機関として日本初のティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップを開催。その後、2025年12月までに34回のティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップを開催(作成者253名)。学内外のワークショップで、74名のメンターと190名(37回)のメンターを統括するスーパーバイザーを務め、約50の大学、大学院、高専で講演を行う。

■ キーワード

ティーチング・ポートフォリオ ファカルティ・ディベロップメント 工学教育 高専教育 ふりかえり

■ メディア掲載、主な委員歴など

著書「実践 ティーチング・ポートフォリオ スターターブック～実質的な教育改善活動を目指して～」、NTS(2011)
日本高専学会 副会長 (2021/5-2025/5)
日本工学教育協会 編集・出版委員
JSEE AWARD受賞(2022)

■ 研究者情報

<https://www.ct.omu.ac.jp/tpgp/>



牛 冰 (ギウ ヒョウ)

経済学研究科
教授

広報ポイント

健康・医療・介護に関する実証分析をテーマに研究。ヤングケアラー、家族介護者のケア負担、メンタルヘルスなどの社会的な課題に焦点を当てた研究で実績があり評価を得ている。

■ キーワード

医療経済学 応用ミクロ計量経済学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/12 保険毎日新聞 アジア太平洋リスク保険学会主催の第27回年次大会「APRIA2023」にてパネルディスカッションに登壇

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002364_ja.html



五石 敬路 (ゴイシ ノリミチ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

日本、韓国、中国などの東アジアにおける社会政策のあり方について、ヨーロッパ諸国と比較しながら、労働経済、社会保障・福祉政策の両面から考察する。

■ キーワード

生活困窮者支援 生活保護 東アジアとヨーロッパの社会政策 公共経済 労働経済 都市政策



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/1/18 NHK「ニュースウォッチ9」 生活困窮者の支援について
京都府子供の貧困対策に関する有識者会議 委員 2015 - 継続中
厚生労働省生活困窮者自立支援及び生活保護部会 委員 2021 - 継続中

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000342_ja.html
②<https://ngoishi.com/>



嵯峨 嘉子 (サガ ヨシコ)

現代システム科学研究科
准教授

広報ポイント

貧困対策および最低生活保障制度を中心とする社会保障制度の研究。自治体の委員歴多数。

■ キーワード

貧困研究 公的扶助 社会政策 社会福祉

■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪府自殺対策審議会 委員 2021/4 - 継続中
大阪府子ども家庭審議会大阪府子ども計画策定専門部会子どもの貧困対策計画策定ワーキンググループ
専門委員 2024/4 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001707_ja.html



酒井 英樹 (サカイ ヒデキ)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

居住環境の安全・快適性に関する研究。居住安全人間工学分野の諸課題の解決を目指す。研究成果である人の眼に代わる測色技術の社会実装に向け、2024年6月に大阪公立大学発ベンチャーの株式会社イロラボを創業し、代表取締役を務める。

■ キーワード

色彩科学 人間工学 感性情報 居住環境

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/11/26 Forbes JAPAN 2023年1月号 研究者紹介
2023/2/10 子供の科学 3月号 研究紹介「目を閉じたときに感じる明るさに意外な結果」
岸和田市環境デザイン委員会委員 2025-26年度

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000706_ja.html



佐野 修久 (サノ ノブヒサ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

地方自治体の政策形成・事業設計等に関与してきた経験を踏まえ、地域経営／公共経営にかかる研究を行う。特にPPP／PFI(官民連携)、クラウドファンディング、公共施設マネジメント等に強みを持ち、理論と実践を融合した取り組みを行っている。

■ キーワード

PPP／PFI(官民連携)

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/1/9 読売新聞 自治体のクラウドファンディングについてコメント
大阪市 PFI事業検討会議委員長 2019/4 - 2025/11
大阪市 持続可能な施設マネジメント有識者会議座 2020/7-2024/8 など多数の委員を歴任

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000965_ja.html



新ヶ江 章友 (シンガエ アキトモ)

文学研究科
教授

広報ポイント

ジェンダー・セクシュアリティ、文化人類学(医療人類学、クィア人類学)を専門に研究。
自治体の男女共同参画審議会委員を多数歴任。

■ キーワード

生殖医療 コミュニティ ケア クィア 医師 不確実性 薬害 ジェンダー
セクシュアリティ HIV/AIDS 医療人類学 男女共同参画 リスク

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/4/5 毎日新聞 ダイバーシティ推進における社会の人権意識について
2024/9/16 朝日新聞 子育て経験のある性的マイノリティについて分析
八尾市男女共同参画審議会 会長 2021/8 - 2023/7
門真市男女共同参画審議会 委員 2024/2 - 2026/2

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000436_ja.html



杉田 菜穂 (スギタ ナホ)

経済学研究科
教授

広報ポイント

近代以降の人口問題と社会政策を研究。俳人としても活動している。産学官民共創による都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクト「レジリエントな都市大阪のあり方」政策共創ユニットの共創メンバーとして、研究者と行政職員が長期的な都市課題を一緒に考える場の構築に取り組んでいる。

■ キーワード

人口問題 優生・優境 社会保障 少子高齢化 福祉国家 詩歌

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/1/15 読売新聞 日本が直面する人口減少社会における将来の方向性について
2025/12/29 朝日新聞 クマ被害対策として柿の木を伐採することへの葛藤に対して、芭蕉の句を引用してコメント
2026/2/12 朝日新聞 長寿俳句誌「葦牙」が終刊になったことに対してコメント
和泉市教育委員会評価委員会 委員 2018/4 - 継続中
大阪市土地活用評価委員会 委員 2024/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000485_ja.html



高木 悠里 (タカギ ユウリ)

工学研究科
講師

広報ポイント

民間企業で都市計画コンサルタントとして都市計画・地域計画のプランニング、公共空間の計画・設計、住民まちづくり支援に従事。現在は都市や地域の公共空間の計画・設計、景観まちづくりやマネジメントを専門とし、地方自治体でのアドバイザーを多数歴任。本学の都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクトの代表として、産官学連携による橋上空間の包括的マネジメント・モデルの構築に取り組む。

■ キーワード

都市計画 都市デザイン まちづくり 景観まちづくり 景観マネジメント エリアマネジメント 都市構造解析 都市像 景観像

■ メディア掲載、主な委員歴など

宝塚市景観審議会 委員 2022/10 - 継続中
堺市景観アドバイザー 2023/4 - 継続中
一般財団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 みどりのまちづくり賞審査委員会 2023/8 - 継続中
大阪狭山市都市計画審議会 会長代理 2025/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002537_ja.html



高橋 哲也 (タカハシ テツヤ)

統括副学長(大学戦略、教育戦略、入試、情報戦略、計画・評価)

広報ポイント

代数学・整数論を専門とする数学者。高等教育戦略にも精通し、文部科学省の有識者会議委員も務める。数学教育の改善や大学教育の質向上に貢献。

■ キーワード

代数曲線を用いた公開鍵暗号 大学数学教育 整教論 高等教育

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/29 読売新聞 大学の授業料無償化についてコメント
文部科学省 高等教育局 全国学生調査に関する有識者会議委員(ほか関連委員) 2019/4-2025/9
一般社団法人大学IRコンソーシアム 理事長 2018/4-2020/5、理事 2020/6-2022/5、理事・副会長 2022/6-継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001325_ja.html



辻野 けんま (ツジノ ケンマ)

文学研究科
准教授

広報ポイント

主にドイツを対象に、学校経営と教育行政について研究。教育現場の課題や「学校の限界」について考察。

■ キーワード

教育経営 ドイツ 学校経営 教育行政 教師教育 国際情報交流

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/2/22 朝日新聞 大阪市から訓告を受けた元小学校校長による人権侵害救済申立についてコメント
2023/10/6 「世界」11月号 大阪の教育と草の根民主主義について寄稿
大阪市学校適正配置審議会 委員 2018/7 - 2020/6
大阪市住吉区区政会議 議長 2021/10 - 2025/9

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000955_ja.html

土井 俊央 (ドイトシヒサ)

生活科学研究科
准教授

広報ポイント

デザイン人間工学とUXを専門とし、生活機器・空間・サービスなどの使いやすさや満足を科学的に研究。日本人間工学会認定人間工学専門家、HCD-Net認定人間中心設計専門家。

■ キーワード

人間中心デザイン 人間工学 認知工学 ユーザエクスペリエンス ユーザビリティ
ユーザインタフェースデザイン デザイン人間工学 応用人間工学 ユーザリサーチ
UXリサーチ UXデザイン

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本人間工学会関西支部 評議員 2024/6 - 継続中
日本デザイン学会 理事 2024/6 - 2026/5

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002556_ja.html

徳尾野 徹 (トクオノ テツ)

工学研究科
教授

広報ポイント

人口減少の縮減化社会におけるまちに対して開かれた建築ストック活用のあり方を探求。
空き家や廃校などのストック活用、登録有形文化財住宅の保全と活用について研究。

■ キーワード

登録有形文化財 ヒト・モノ・コト リノベーション 地域資源 空き家 木域 住まい

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/9/20 日本経済新聞 木造アパート「文化住宅」について解説
日本建築学会 住宅地計画小委員会 委員 2020/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000406_ja.html

所 道彦 (トコロ ミチヒコ)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

生活科学を基盤とした社会保障・社会福祉の理論の研究。

■ キーワード

社会政策 社会福祉 社会保障

■ メディア掲載、主な委員歴など

社会政策学会 幹事
生活経済学会 理事

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000499_ja.html

内藤 葉子 (ナイトウ ヨウコ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

ケアの倫理とフェミニズム理論から依存概念や人間の尊厳について問い直す研究、女性運動における女性の身体性や主体性についてのジェンダー研究のほか、政治と倫理の関係に関する政治思想研究も行う。本学女性学研究センター主任。自治体の委員を多数歴任。

■ キーワード

ジェンダー フェミニズムの思想 ケアの倫理 政治と倫理

■ メディア掲載、主な委員歴など

枚方市男女共同参画推進審議会 委員 2020/6 - 継続中
堺市男女平等推進審議会 委員 2020/10 - 継続中
大阪府人権施策推進審議会 委員 2022/2 - 2026/2
羽曳野市男女共同参画推進審議会 委員 2022/11 - 継続中
政治思想学会 理事 2024/04 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002395_ja.html


野村 恭代 (ノムラ ヤスヨ)

都市科学・防災研究センター
現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

施設コンフリクトの合意形成に向けた手法、地域総合相談拠点機能について研究。YES-fm(大阪市中央区のFM局)で毎週防災番組のDJを務めるほかメディア掲載多数。

■ キーワード

コンフリクト・マネジメント 孤独・孤立 福祉防災 差別の構造分析

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/8/28 産経新聞 福祉施設と住民のトラブル「施設コンフリクト」の問題と解消手法について
兵庫県障害福祉審議会委員 委員 2015/5 - 継続中
奈良県まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会 委員 2024/1-継続中
大阪市民活動推進審議会 委員 2024/4 - 継続中
京都府住宅審議会 臨時委員 2025/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000882_ja.html


橋爪 紳也 (ハシヅメ シンヤ)

研究推進機構
特任教授/名誉教授

広報ポイント

創造都市や都市文化施設、盛り場や商業施設に関わる総合的な研究を展開。また各地で観光政策の立案、市民参加型のまちづくり、地域ブランディングイベントプロデュースを実践。2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の誘致計画においてキーパーソンとして活躍。本学大阪アーバンデザイン&マネジメントセンター所長。

■ キーワード

建築論 近代建築史 都市計画論 地域計画論 都市観光研究 都市娯楽研究
都市政策 地域政策

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/11/18 日本経済新聞 2026年4月開設予定の、都市の空間や環境、景観などを総合的に研究する「大阪アーバンデザイン&マネジメントセンター」について
2025/8/28 NHK「100年後も、旅に出る。」 100年前の大阪「新世界」について
2025/10/13 毎日放送「よんちゃんTV」 大阪・関西万博のレガシーについて
2025/11/8 読売新聞 大阪・関西万博の大屋根リングの保存について
2025/12/24 産経新聞 連載コラム「昭和100年 輝く関西に向けて」
イベント学会副会長、IRゲーミング学会副会長、大阪商工会議所都市活性化委員会副委員長、大阪商工会議所ツーリズム振興委員会副委員長、大阪府市文化振興会議会長 など



橋本 博文 (ハシモト ヒロフミ)

文学研究科
准教授

広報ポイント

主に心の文化差、人間の協力性・利他性を生み出す心の仕組みについて調査や実験を通じて分析。ヘルプマークの普及・活用、さらには人々の献血意図の向上に関しても研究している。

■ キーワード

心の文化差 信頼行動 協力行動

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/5/23 神戸新聞 ヘルプマークの現状と今後の課題について解説
2024/4/16 産経新聞 人間がもつ「忖度する心」を考察
2025/3/18 産経新聞 「明解! 公大ゼミ」で解説: 人間関係の構築について
日本心理学会心理学ワールド編集委員会 委員 2021/7 - 2025/6
日本グループ・ダイナミクス学会 理事 2023/4 - 継続中
日本人間行動進化学会 常務理事 2025/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001089_ja.html


畑野 快 (ハタノ カイ)

国際基幹教育機構
現代システム科学研究科
准教授

広報ポイント

若者のアイデンティティ形成や成長を研究する発達・教育心理学の専門家。科学的データに基づき「自分らしいキャリアを築く学び」を分析し、大学教員の指導力向上にも尽力。国際誌の編集も務め、変化の激しい社会を生き抜く力を育む教育の最前線で活動中。

■ キーワード

青年心理学 発達心理学 パーソナリティ心理学 大学教育学 青年期 アイデンティティ well-being



■ メディア掲載、主な委員歴など

Journal of Youth and Adolescence, Editorial Board 2022/4 - 継続中
学校法人清教学園, 評議員 2023/4 - 継続中
日本青年心理学会 理事 2025/4 - 継続中
文部科学省「全国学生調査」に関する有識者会議 委員 2026/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002371_ja.html



濱島 淑恵 (ハマシマ ヨシエ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

家族介護問題を専門とし、2016年に日本で初めてヤングケアラーについての調査を実施。2020年度、2021年度に実施された厚生労働省によるヤングケアラーに関する全国調査に研究班として関わる。神戸市こども・若者ケアラー支援アドバイザー、大阪市ヤングケアラーPTアドバイザー等を務める。大手メディア掲載多数。

■ キーワード

家族介護者 ヤングケアラー 介護保険 ビジネスケアラー ワーキングケアラー



© 撮影：前川政明

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/6/5 毎日新聞 ヤングケアラー支援法成立に向けて
2024/6/7 関西テレビ「newsランナー」 ヤングケアラー支援の改正法成立について
2025/5/26 読売新聞 ヤングケアラーの継続的な支援についてコメント

■ 研究者情報

① https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002752_ja.html
② <https://youtu.be/kab4cLQcW4E>

①

②



東 優子 (ヒガシ ユウコ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

性科学(セクソロジー)・ジェンダー・性の健康と権利に関する諸問題などについて研究。大手メディア掲載多数。

■ キーワード

性の健康と権利 身体の自律とインテグリティ



■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/7/11 神戸新聞 性同一性障害による性別変更の外観要件についてコメント
東京都人権施策に関する専門家会議 委員 2022/7 - 継続中
堺市人権施策推進審議会 委員 2023/9 - 継続中
大阪市感染症発生動向調査委員会 専門委員 2023/10 - 継続中
大阪府人権施策推進審議会 会長代理 2026/3 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001785_ja.html



弘田 陽介 (ヒロタ ヨウスケ)

文学研究科
教授

広報ポイント

ドイツを中心に教育思想を研究。メディアで独自の鉄道文化論を紹介すること。著書に「子どもはなぜ電車が好きなのかー鉄道好きの教育「鉄」学」冬弓舎(2011年)、「電車が好きな子はかしこくなるー鉄道で育児・教育のすすめ」交通新聞社(2017年)。「いま、子育てどうする? 感染症・災害・AI時代を親子で生き抜くヒント集35」彩流社(2021年)。

■ キーワード

教育学 子ども学(子ども環境学) 身体教育



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/1/13 朝日新聞 鉄道への興味は子供の能力向上につながるのか
2024/4/18 毎日新聞 鉄道への興味が、子どもの教育効果や保護者との関係構築に及ぼす影響
2025/12/23 産経新聞 「明解! 公大ゼミ」で解説: 「鉄育」による子育て論について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002515_ja.html



FARNHAM CRAIG EDWARD (ファナム クレイグ エドワード)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

都市環境工学を専門とし、ヒートアイランド現象やカーボンニュートラルなど、都市の暑熱環境や建築の環境性能を科学的に分析。実測とシミュレーションを組み合わせ、快適で持続可能な都市空間の実現に尽力。

■ キーワード

ミスト蒸発冷却 熱的快適性 熱中症対策 気象データ分析 ヒートアイランド対策



■ メディア掲載、主な委員歴など

日本建築学会 建築気象小委員会 2016/4 - 継続中

IEA EBC Annex 97 committee, Sustainable Cooling in Cities 2024/3 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000931_ja.html


松井 利之 (マツイトシユキ)

副学長(イノベーションアカデミー、高度人材育成)
国際基幹教育機構
教授

広報ポイント

高度人材育成推進センター長として、キャリアデザイン教育、アントレプレナーシップ教育及びイノベーション教育など、高度研究人材の育成を目的とした教育カリキュラムやプログラムの開発に取り組む。

■ キーワード

アントレプレナーシップ教育 イノベーション教育 グローバル教育 非平衡プロセス
量子線照射 磁性材料

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/4/11 読売新聞 本学学生が企業の新規事業を企画立案する「顧客価値共創プログラム」について
2025/6/27 中日新聞 第5回博士グローバルアカデミー講演会にて「博士号を持つ人材の育成と産業界での活用」をテーマに講演

堺・アセアン交流促進委員会 委員 2023/4 - 継続中

経済産業省博士人材の民間企業における活躍促進に向けた検討会 委員 2024/8 - 2025/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001314_ja.html


三田 優子 (ミタ ユウコ)

現代システム科学研究科
准教授

広報ポイント

障害は特別なものではなく、11人にひとりの割合となっている背景から、障害者への差別や権利侵害が生まれる社会的構造を、障害当事者とともに考え、変革するために実践・研究を進めている。

■ キーワード

精神障害 知的障害 当事者主体 権利擁護 グループホーム ホームヘルプ 障害者虐待

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/11/7 日本経済新聞 入所障害者の地域生活移行に向けた施設の役割について

2023/12/16 北海道新聞 知的障害者の結婚や出産への支援について

大阪市社会福祉審議会委員

大阪市児童福祉審議会委員

堺市精神保健福祉審議会委員

堺市精神医療審査会委員

堺市権利擁護サポートセンター運営委員長

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001819_ja.html


山野 則子 (ヤマノ ノリコ)

イノベーションアカデミー共創研究院
特任教授/名誉教授

広報ポイント

子どもの隠れたSOSに気付き、潜在的に支援が必要な子どもや家庭への適切な支援「YOSS®」を開発。さらに、「YOSSクラウドサービス」を全国の小中学校・高校などの教育現場に提供し、2023年度グッドデザイン賞を受賞。文部科学省や多数の自治体・企業とスクールソーシャルワーク支援システムの開発に取り組む。大手メディア掲載多数。

■ キーワード

教育と福祉の連携 スクールソーシャルワーク 地域ネットワーク 児童虐待 子ども家庭福祉

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/7/17 日本経済新聞 児童支援のためのスクーリングにおける学校の役割について

2024/11/12 朝日新聞 小中学生の不登校増加におけるコロナ禍の影響とスクールソーシャルワーカーの必要性について

2024/11/30 朝日新聞 ソーシャルワーカーとスクーリングシステムの必要性についてコメント

2025/4/28 朝日放送テレビ「newsおかえり」児童虐待防止のための市の対応や住民の声かけについてコメント

2026/2/14 日本経済新聞 書評コーナー「今を読み解く」に令和型不登校について寄稿

2026/4/6 福祉新聞 YOSSスクリーニングシステムの導入により不登校の生徒が激減

文部科学省 第9期中央教育審議会 委員 2017/2 - 2019/2

こども家庭庁 こどもデータ連携ガイドライン検討会メンバー 2023/4 - 2025/3

日本学術会議 連携会員 2023/4 - 継続中

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 副会長 2023/6 - 継続中ほか多数



除本 理史 (ヨケモト マサフミ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

公害・環境被害の補償と被害地域の再生などを研究。東日本大震災後は、公害問題の教訓をふまえ、福島原発事故の賠償や復興政策について調査研究を進めている。メディア掲載多数。

■ キーワード

大気汚染 費用負担 公害環境被害 復興政策 環境再生のまちづくり 地域再生
福島原発事故 水俣病

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/3/19 関西テレビ「newsランナー」 水俣病訴訟問題の解決に向けて国がとるべき行動について
2025/3/7 毎日新聞 東京電力福島第1原発事故の刑事裁判についてコメント
2025/5/2 毎日新聞 水俣病患者・被害者と環境省との懇談についてコメント
2025/5/21 朝日新聞 公害資料館の重要性についてコメント
2025/12/5 朝日新聞 柏崎刈羽原発の再稼働問題についてのインタビュー
新潟県 原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会 生活分科会 副座長
2017/9-2023/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000502_ja.html



吉田 直哉 (ヨシダ ナオヤ)

現代システム科学研究科
准教授

広報ポイント

保育学、幼児教育学の観点から、子どもの発達とその支援方法について研究。園との連携により、カリキュラム開発、保護者支援方法の検討、多文化保育の実践、遊び環境のデザインなどについての研究実績を豊富に持つ。

■ キーワード

保育カリキュラム 保育方法論 子どもの遊び 保育環境 多文化保育 保護者支援
保育者の研修

■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪市人権施策推進審議会 委員 2024/11 - 2026/10
大阪市社会福祉審議会(地域福祉専門分科会) 委員 2024/12 - 2026/11
大阪市保育・幼児教育センター一般競争入札公募委託事業選定会議 委員 2024/12 - 2025/2

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002397_ja.html



吉田 長裕 (ヨシダ ナガヒロ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

交通計画、交通工学を専門に、自転車交通や自転車利用環境評価、交通弱者の交通行動、交通事故リスクの統計的モデリングなどについて研究。国や自治体と協働して自転車活用推進に取り組む。

■ キーワード

歩行者・自転車の交通政策 陸上の交通安全

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/5/19 NHK東海「ドまんなか!」【大丈夫?自転車とのつきあい方】命を守る自転車のルールとは」に出演
2025/2/23 朝日新聞デジタル 自転車の単独事故、謎の急増...についてのコメント
2026/3/14 産経新聞 止めたはずの自転車が消えた...についてのコメント
2026/3/29 南海放送 世界最大の自転車の祭典「Velo-city」に対するプログラムダイレクターとしてのインタビュー
国際交通安全学会国際共創部会 副部会長 2025/4-継続中
大阪市建設事業評価有識者会議 座長 2025/4-継続中
警察庁交通局自転車の交通安全教育の充実化に向けた調査研究委員会 委員 2025/5-2026/3
交通科学研究会 副会長 2025/6-継続中
国土交通省道路局 安全で快適な自転車等利用環境の向上に関する委員会 委員 2025/10-継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000546_ja.html



金澤 真理 (カナザワ マリ)

法学研究科
教授

広報ポイント

犯罪の実行に着手し結果に至るまでの発展段階を研究対象として、特に途中で中止する場合の刑法上の取扱いにつき諸外国の法制と比較しながら研究を進めている。差別的言辞、誹謗中傷等による名誉侵害の刑事規制、刑罰等により社会から切り離された人の社会復帰等多様な人の権利保護にも取り組んでいる。

■ キーワード

犯罪論と刑事政策(犯罪の中止及び未遂論、名誉に対する罪、犯罪からの社会復帰、社会内処遇等)

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/4/12 法学セミナー5月号 「ゼミを語ろう」でゼミ紹介
2025/2/11 信濃毎日新聞 受刑者への虐待を外部に通報するために作成した文書の発送を長野刑務所が差し止めた問題についてコメント
特定非営利活動法人刑事司法及び少年司法に関する教育・学術研究推進センター 理事 2020/12 - 継続中
日本刑法学会 理事 2021/5/29 - 継続中
日本学術会議 連携会員 2023/11 - 継続中
民主主義科学者協会法律部会 理事 2023/12 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000107_ja.html



鶴田 滋 (ツルタ シンゲル)

法学研究科
教授

広報ポイント

民事訴訟における多数当事者訴訟・当事者適格・判決効に関する研究。近年は裁判官の訴訟指揮の法的規律についても研究。

■ キーワード

必要的共同訴訟 共同訴訟

■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪弁護士会懲戒委員会 外部委員 2018/4 - 2020/3
日本民事訴訟法学会 理事 2022/5 - 継続中
大阪府 第47期・第48期大阪府労働委員会公益委員 2024/3 - 継続中
法務省大臣官房人事課 令和6年司法試験考査委員 2024/8 - 2025/2
法務省大臣官房人事課 令和7年司法試験考査委員 2025/8 - 2026/2

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000657_ja.html



手塚 洋輔 (テヅカ ヨウスケ)

法学研究科
教授

広報ポイント

行政の過誤と責任という視点から行政活動の実態を分析。オーラル・ヒストリーを用いた戦後政治行政の研究にも従事。大学と大阪府・市が協働し、都市の持続力と復元力を高める政策プロセスを研究・提言するプロジェクトの代表。文理横断の研究者と行政職員が連携し、ジェンダーや多様性に配慮しながら、長期的視点で都市の課題解決を目指す。

■ キーワード

行政学 オーラル・ヒストリー 事後検証

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/2/27 読売新聞 過去の予防接種事故についてコメント
2026/3 大阪府議会公式YouTubeチャンネル出演
日本公共政策学会 理事 2022/6 - 継続中
日本行政学会 理事 2024/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000313_ja.html



中井 愛子 (ナカイ アイコ)

法学研究科
教授

広報ポイント

国際法の形成過程を非欧州の観点から研究。2020年に中南米の植民地独立が国際法に与えた影響を扱った著書『国際法の誕生—ヨーロッパ国際法からの転換』(京都大学学術出版会)を刊行。2023年には、国連 国際法委員会 委員補佐、国連総会 第6委員会(法律)第78会期 日本国派遣調査員として調査・報告書執筆を担う。

■ キーワード

法理論 非欧州の国際法 TWAIL 国際政治学 地域国際法 国際法史
国際経済法 地域統合 国際裁判

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/3/6 朝日新聞 著書『国際法の誕生—ヨーロッパ国際法からの転換』書評掲載
2021/3/7 読売新聞 同書 書評掲載
International Law Association, Japan Branch, Editorial Board 2024/4 - 継続中
国際法学会 判例研究委員会(国際判例部)委員 2024/9 - 継続中
日本国際経済法学会 国際交流副主任 2024/9 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001052_ja.html



稗田 健志 (ヒエダ タケン)

法学研究科
教授

広報ポイント

子育て支援施策や積極的労働市場政策といった「新しい社会的リスク」に関連した施策について研究。ポピュリスト政党の台頭についても関心を持っている。

■ キーワード

比較政治経済学 福祉国家 政党政治

■ メディア掲載、主な委員歴など

2020/11/12 読売新聞 都構想住民投票についてのインタビュー
日本比較政治学会 会長 2024/6 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000471_ja.html



圓丸 哲麻 (エンマル テツマ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

マーケティング研究、消費者行動論、流通(主に小売)論が専門。地域ブランドや一次産業の高付加価値化、百貨店・大型小売業の役割に関する研究に取り組む。『百貨店のリテールブランド戦略—消費者基点からの提言』(2022年、白桃書房)、『百貨店のコミュニケーション戦略—消費者基点による「百貨店らしさ」の探究』(2022年、千倉書房)などの著書がある。

■ キーワード

マーケティング 消費者行動 流通(主に小売)論

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/9/10 産経新聞 まちづくりに積極的に関与する百貨店業界について解説
2025/11/5 Japan Business Review 自動イカ釣り機から搾乳ロボまで…匠の「眼」「頭脳」「手」をAIが継承、高齢化する日本の1次産業を救うDXの最前線(コラム)
<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/91337>
2025/11/14 Japan Business Review 令和の米騒動が示した食の脆弱性 ウォルマート、キリンも活用するブロックチェーンが食の流通にもたらす価値とは(コラム)
<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/91563>
岸和田デジタル水産業推進協議会 2025/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001003_ja.html



北野 友士 (キタノ ユウジ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

金融機関論、ファイナンス、金融教育などの研究に取り組む。金融リテラシー教育の研究と同時に教育実践も行う。ゼミの学生たちとアイデアを出し合っ『学生に読んで欲しいお金の攻略本』を制作し、制度の変化に合わせた改訂版も出版。

■ キーワード

自己資本比率規制 金融リテラシー パーソナルファイナンス FP 中小企業金融 イギリス金融制度

■ メディア掲載、主な委員歴など

金融経済教育を推進する研究会 研究委員 2013/4 - 2024/6
日本FP学会 幹事 2018/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001053_ja.html



中川 慧 (ナカガワ ケイ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

ファイナンスを軸とした経営学と、AI・機械学習を中心とした情報学を組み合わせた学際的な研究に取り組む。機械学習を応用した投資戦略や金融情報学を専門とする。実務経験をベースに、学術的な探求と実務的な応用の双方を目標とする。

■ キーワード

数理ファイナンス 人工知能 金融工学 金融情報学 ESG 機械学習

■ メディア掲載、主な委員歴など

International Conference on Computational and Data Sciences in Economics and Finance (CDEF) Organizer 2023 - 継続中
日本金融・証券計量・工学学会(JAFEE) 和文誌編集委員 2023 - 継続中
人工知能学会金融情報学研究会 主幹事 2024 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003047_ja.html



西尾 圭一郎 (ニシオ ケイチロウ)

経営学研究科
准教授

広報ポイント

インド・アジアを中心とした国際金融を研究し、IMFアジア太平洋地域事務所主催のセミナーでパネリストとしての登壇や財務省財務総合研究所での登壇実績もあり。金融リテラシー教育にも取り組む。インドの金融デジタル化や金融リテラシー教育で受賞経験あり。

■ キーワード

金融教育 金融機関経営 外国為替 インド経済 アジア経済 フィンテック デジタルエコノミー 多文化共生 外国人労働者

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/4/12 毎日新聞 必修となった高校での金融教育についてコメント
日本FP協会パーソナルファイナンス教育委員会 委員 2022/10 - 2026/6
日本証券経済研究所 アジア資本市場研究会委員 2024/1 - 2026/2

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002743_ja.html



松尾 健治 (マツオ ケンジ)

経営学研究科
教授

広報ポイント

経営管理論が専門で、主に組織の衰退や失敗についての事例研究を行う。鐘紡の事例研究を通じて組織衰退の要因を分析した著書『組織衰退のメカニズム: 歴史活用がもたらす罨』(2022年、白桃書房)が、2022年度日本経営学会賞(著書部門)を受賞。

■ キーワード

組織衰退 組織不正 組織における非倫理的行動 組織におけるエクスクルージョン
組織学習 レトリカル・ヒストリー

■ メディア掲載、主な委員歴など

2026/4 日本の人事部LEADERS「失敗から学ぶ組織が陥る「失敗の罨」: 探索が衰退を招くとき」
組織学会『組織科学』編集委員 2025/9 - 継続中
経営行動科学学会 研究部会長 2026/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002772_ja.html



五十川 大也 (イソガワ ダイヤ)

経済学研究科
教授

広報ポイント

人間の意思決定や行動を経済学の観点から研究。エネルギー政策や病院経営など、幅広い分野を経済的視点で分析。

■ キーワード

産業組織論 エネルギー政策 医療政策 科学技術イノベーション政策

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/5/23 電気新聞 経済産業省の「同時市場」費用対便益試算結果について
2025/9/1 ガスエネルギー新聞 資源エネルギー庁が新設したガス事業環境整備ワーキンググループの初会合で石炭などから天然ガスへの燃料転換の重要性を指摘
2025/10/27 ガスエネルギー新聞 10月23日に開催されたガス事業環境整備ワーキンググループに参加し、コメント
経済産業省資源エネルギー庁「同時市場の在り方等に関する検討会」 委員 2023/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001065_ja.html



松本 淳 (マツモト アツシ)

副学長(学生)
経済学研究科
教授

広報ポイント

日本の国家財政および社会保障財政について研究。担当するゼミでは、企業や自治体と協力して「関係人口」創出に向けた活発な取り組みを、学生中心に行っている。

■ キーワード

財政 税制 社会保障

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/1/25 徳島新聞 ゼミ生と徳島県牟岐町の若者が関係人口の創出をテーマにグループワークを実施
2025/9/12 MRT宮崎放送「Check!」 松本ゼミの学生が宮崎県諸塚村で行った現地調査の様子について
2025/11/18 日刊工業新聞 山善が主催する「公益信託山本猛夫記念奨学基金」の認定書授与式に出席

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000843_ja.html



伊藤 岳 (イトウ ガク)

経済学研究科
准教授

広報ポイント

地図や過去の軍事記録等から作成した空間データ、地理情報システム(GIS)、紛争後社会でのサーベイ調査、フィールド実験と統計的因果推論の手法を用いて、戦争や植民地政策のような過去の政治的暴力や政策、制度が、経済発展や武力紛争のようなその後の政治経済的現象に与える影響の実証研究に取り組んでいる。

■ キーワード

空間データ 歴史的現象の長期的影響 武力紛争 地理情報システム(GIS)
国際関係論/国際政治学(International Relations)

■ メディア掲載、主な委員歴など

一般向け概説: 2022. 「政治的暴力は個人や社会にどのような影響を及ぼすのか?」『経済セミナー』 728号
学術論文: 2024. “Destruction from Above: Long-Term Legacies of WWII Tokyo Air Raids.” *Journal of Politics* 86(2): 782–797 (with Masataka Harada and Daniel M. Smith), 2021. “Why Does Ethnic Partition Foster Violence? Unpacking the Deep Historical Roots of Civil Conflicts.” *Journal of Peace Research* 58(5): 986–1003 (Winner: The *Journal of Peace Research* Best Visualization Award 2021), Executive Editor, *International Relations of the Asia-Pacific*

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002521_ja.html



永井 史男 (ナガイ フミオ)法学研究科
教授**広報ポイント**

東南アジアの国際関係・比較政治、東南アジア各国の地方ガバナンスを研究。特にタイの地方自治について詳しい。

■ キーワード東南アジア研究 地方分権 比較政治学 地方自治 国際政治学 スマートシティ
タイ研究 政治学**■ メディア掲載、主な委員歴など**文部科学省高等教育局 ヤング・リーダーズ・プログラム推進協議会 委員 2015/11 - 継続中
公益財団法人笹川平和財団 「アジア政治リーダー対話(ASF)」事業 東南アジア地域支援委員
2022/12 - 継続中**■ 研究者情報**https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000870_ja.html**青木 茂樹** (アオキ シゲキ)情報学研究科
准教授**広報ポイント**

情報セキュリティ、情報システム工学、パターン認識に関する研究に従事。主に、ネットワークを介した情報システム等に対するサイバー攻撃や、コンピュータウイルス等のマルウェアを人工知能技術・パターン認識技術を活用して検知・識別する研究を遂行中。

■ キーワード

情報システム工学 情報セキュリティ パターン認識

■ メディア掲載、主な委員歴など大阪府入札監視等委員会 2022/4 - 2026/3
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会委員 2025/1 - 2025/6
大阪府公文書館運営懇談会 2025/11 - 継続中**■ 研究者情報**https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001836_ja.html**阿多 信吾** (アタ シンゴ)情報学研究科
教授**広報ポイント**

ICTによる社会のスマート化、DXを実現する、ネットワークや流通データを最適に制御、配置、連携できるプラットフォームの設計と、キャンパスサービスへの応用を実施。森之宮キャンパスのスマートユニバーシティ化を推進。

■ キーワードサービスプラットフォーム プログラマビリティ ネットワーク基盤
ネットワーク運用管理 スマートユニバーシティ**■ メディア掲載、主な委員歴など**2023/7/14 電波新聞 本学との「通信トラフィック分析に関する共同研究」の成果を活用し、OKIがリアルタイムネットワーク監視システムを開発
2025/5/7 BUILT 「スマートビルの実験場が大公大の中百舌鳥キャンパスに誕生！産学で「ビルOS」開発に注力」
文部科学省 大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 専門委員 2023 - 2025
大阪市 DX アドバイザー 2024/2 - 継続中
一般社団法人スマートビルディング共創機構 代表理事 2025/8 - 継続中**■ 研究者情報**https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000353_ja.html**池田 文人** (イケダ フミヒト)国際基幹教育機構
現代システム科学研究科
教授**広報ポイント**

問う力の評価と育成を通じた探究・研究の支援。AIは何を問えるか？を考察し人の創造性を模索。フィンランドの教育思想が根付くムーミン物語を教材にした授業を開講。日本創造学会・著作賞(啓蒙部門)など受賞。本学の入試改革担当学長補佐、アドミッションセンター長。

■ キーワード問う力の測定、問いに基づく探究支援 論理推論 問いとAI 創造性支援
知識科学 認知科学 交流分析 神経言語プログラミング**■ メディア掲載、主な委員歴など**2011/3/10 NHK BS-hi「プラネットベビーズ〜フィンランド編」
2021/8/12 中国新聞朝刊文化面「ムーミン世界を見つめて」
全国大学入学選抜連絡協議会 幹事・企画委員 2021/4 - 2024/3
大阪府立狭山高等学校普通科改革支援事業運営指導委員 2024/7 - 継続中**■ 研究者情報**https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002884_ja.html

石橋 勇人 (イシバシ ハヤト)

情報学研究科
教授

広報ポイント

安全かつ使いやすく、誤りなく確実に動作する情報基盤の実現を目指し、構築・運用・管理手法などに関する研究を行っている。

■ キーワード

ネットワーク運用管理 ネットワーク構築 ネットワークセキュリティ



■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪市福祉局 新たな長居障がい者スポーツセンター(仮称)整備基本計画検討会議メンバー
2023/7 - 2024/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000824_ja.html



石丸 翔也 (イシマル ショウヤ)

研究推進機構 協創研究センター
情報学研究科
教授

広報ポイント

AIとヒューマンインタフェースを専門とし、人の認知や学習を支援する技術の研究。大学発ベンチャーである株式会社Affectifyの代表として、学生、教職員協働による、大学アプリ「OMU+」の開発に携わる。2015年度には「心の状態を可視化するシステム」で、情報処理推進機構(IPA)の未踏スーパークリエータに選出。ドイツ人工知能研究センター(DFKI)にて、Senior Researcherを務めた経験有する。

■ キーワード

AI 人工知能 情報工学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/30 愛媛新聞 愛媛県今治市の今治東中等教育学校全校生徒に向け、進路選択やAIの可能性について講演

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003007_ja.html



岩村 雅一 (イワムラ マサカズ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

コンピューターで文字や画像を認識・理解する物体認識技術の研究を行う。これらの知見を生かして視覚障害者支援にも携わり、3Dプリンターで印刷した模型を配布するプロジェクトに参加し、全方位カメラと物体検出技術を用いた革新的な写真撮影方法や写真の鑑賞方法を提案。

■ キーワード

文字認識 物体認識 深層学習 視覚障害者支援



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/1/10 日刊工業新聞 視覚障害者を支援するAIを活用した写真撮影システム「VisPhoto」を開発
2023/1/30 朝日新聞 3Dプリンターで立体模型を作成し、視覚障害者へ届ける研究プロジェクトについて

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002286_ja.html



上杉 徳照 (ウエスギ トクトル)

情報学研究科
教授

広報ポイント

機械学習で材料設計のコストを大幅に削減する技術の開発や、自動で金属組織を評価する人工知能の開発などに取り組む。

■ キーワード

材料情報学 計算材料科学 データサイエンス 材料工学 機械学習 第一原理計算



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/6/22 鉄鋼新聞 大阪産業技術研究所との共同研究で、金属破壊原因の分析学習手法を開発
情報処理学会 関西支部幹事 2024/5 - 2026/5

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001758_ja.html



黄瀬 浩一 (キセ コウイチ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

アイトラッキングをはじめとした人の行動のセンシングや、その結果に基づいた研究により知能増強にチャレンジしている。長年に渡り、ドイツ人工知能研究センターと連携しAI研究を推進。最近、ASPIREの支援のもとで、医療AIにも取り組む。

■ キーワード

文書工学 文書情報メディア処理 文書画像理解 知能メディア処理 情報検索
知能増強 人工知能 医療AI

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/5/16 日刊工業新聞 人工知能(AI)についてコメント
JST 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)トライアウト 専門委員 2022/6 - 2024/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001333_ja.html

蔡 凱 (ツァイ カイ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

AIを安全・安心に活用するための新しい制御理論を研究し、複数のロボットやAIエージェントが信頼して協調できる枠組みを構築。関連分野で書籍4冊を刊行し、トロント大学やMITなど海外トップレベル大学と国際共同研究を展開している。

■ キーワード

AI-フィジカルシステム マルチエージェントシステム ロボット群制御 離散事象システム システム制御



■ メディア掲載、主な委員歴など

IEEE Transactions on Automatic Control Associate Editor 2018/01 - 2023/12
IEEE Control Systems Society Technical Committee Chair 2019/01 - 2022/12
一般社団法人システム制御情報学会 代議員 2022/4 - 継続中
IFAC Journal Nonlinear Analysis: Hybrid Systems Senior Editor 2023/1 - 継続中
IEEE Transactions on Control Network Systems Associate Editor 2025/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000939_ja.html

戸出 英樹 (トデ ヒデキ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

賢く、速く、大量で、安全なネットワークの実現のため、仕組みや制御の実現に向けた研究に取り組む。

■ キーワード

光ネットワーク設計・制御 無線アクセス制御 コンテンツ検索・取得・配信制御
ネットワークセキュリティ トラフィック制御 サービス品質制御
情報指向ネットワーク 通信プロトコル

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/9/30 電波新聞 会長を務める近畿受信環境クリーン協議会と近畿総合通信局の「受信環境クリーン月間」の取り組みについて
学術システム研究センター専門研究員(情報学班) 独立行政法人日本学術振興会 2022/4 - 2025/3
革新的情報通信技術開発委託研究評価委員会 委員(委員長代理)、及び高度通信・放送研究開発委託研究評価委員会 委員 国立研究開発法人情報通信研究機構 2023/4 - 継続中
CRONOS(情報通信科学・イノベーション基盤創出)領域アドバイザー
国立研究開発法人科学技術振興機構 2024/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001877_ja.html

能島 裕介 (ノジマ ユウスケ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

実問題に含まれる複数の目的を同時に最適化する進化型多目的最適化手法を研究。数値データから人間が解釈可能なモデルを獲得する多目的知識獲得手法の開発に従事。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

計算知能 進化型多目的最適化 ファジ理論 多目的知識獲得
解釈可能な機械学習

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本知能情報ファジ学会 理事・監事 2017/6 - 2023/6
IEEE Computational Intelligence Society Member of Fuzzy Systems Technical Committee 2024 - 継続中
International Fuzzy Systems Association President-Elect 2025/9 - 継続中
進化計算学会 理事(表彰担当) 2025/9 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001726_ja.html

橋本 文彦 (ハシモト フミヒコ)

経済学研究科
教授

広報ポイント

マルチモーダル知覚、認知経済学を融合し、人間の意思決定や情報処理の仕組みを解明する研究を展開。哲学を基盤として、経済学と脳科学・心理学を横断する先駆的な視点が特徴で、AI社会における人間らしさや誤操作防止といった社会課題にも貢献。

■ キーワード

人工知能 マルチモーダル 感覚知覚



■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000700_ja.html


早川 潔 (ハヤカワ キヨシ)

工業高等専門学校
教授

広報ポイント

IoT・AIシステムに関して、主に中小企業を中心に共同研究を行う。ソフトウェアからハードウェアまで、一貫した研究開発に取り組んでいる。また、量子コンピュータ関連の教育教材も作成中。

■ キーワード

予知保全AI 医療IoT・AIシステム インフラ点検AIシステム 量子コンピュータシステム



■ メディア掲載、主な委員歴など

電子通信学会 査読員 2008/4 - 継続中

電気学会 関西支部評議 2017/4 - 2018/3

「エッジAI型センサパッチの開発にはじめて成功」 2024年10月プレスリリース

■ 研究者情報

<https://www.ct.omu.ac.jp/hayakawa/>


宮本 貴朗 (ミヤモト タカオ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

複数のネットワーク機器や多数の情報システムを効率的に監視する運用管理システムの開発、情報システムへの不正侵入検知などの情報セキュリティを研究。

■ キーワード

情報セキュリティ 情報システム工学 情報ネットワーク



■ メディア掲載、主な委員歴など

堺市情報セキュリティアドバイザー 2016/3 - 継続中

大阪国際会議場アドバイザー 2022/8 - 継続中

大阪市公文書管理委員会 2025/3 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001305_ja.html


森田 裕之 (モリタ ヒロユキ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

データサイエンスに関する社会科学領域の応用研究を行っている。小売業のID-POSデータや、顧客の店舗内回遊データを利用して消費者の購買行動を解析したり、カーブロープデータや、オルタナティブデータなどの、よりマクロなデータのモデル化などを行っている。

■ キーワード

データサイエンスの社会科学分野における応用領域

■ メディア掲載、主な委員歴など

中小企業診断協会 試験委員会委員 2014 - 継続中

堺市中区政策会議 構成員 2021 - 継続中

大阪公立大学生生活協同組合 非常勤理事 2022 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001522_ja.html


朝田 良子 (アサダ リョウコ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

食品・環境分野の微生物制御を専門とし、加熱、薬剤、紫外線、放射線を組み合わせた制御理論を研究。大阪国際感染症研究センター研究推進部門に参画し、細菌等の不活化研究にも取り組む。本学微生物制御研究センター長。放射線教育普及にも注力。

■ キーワード

微生物制御 食品科学 損傷菌 殺菌ストレス 殺菌工学 放射線生物学
加熱 紫外線 放射線 ハイパーサーミア(がん温熱療法)



■ メディア掲載、主な委員歴など

ハイパーサーミア指導教育者 2011/9 - 継続中
日本ハイパーサーミア学会 代議員 2013/9 - 継続中
日本防菌防黴学会 評議員 2023/6 - 継続中
公益社団法人日本アイソトープ協会 放射線安全取扱部会近畿支部委員会 委員 2024/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002455_ja.html



天尾 豊 (アマオ ユタカ)

人工光合成研究センター
理学研究科
教授

広報ポイント

人工光合成研究において日本のみならず世界を牽引。住宅のエネルギーを賄うことを目標とした人工光合成の開発に携わり、大阪関西万博パビリオンにて実証試験に成功。人工光合成の仕組みで二酸化炭素から樹脂原料を合成することに世界で初めて成功。イギリス王立化学会フェローに選出。

■ キーワード

二酸化炭素を原料とした生分解性プラスチック原料生成 二酸化炭素の再利用技術
二酸化炭素を原料とした光有機合成 水素製造技術



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/27 NHK WORLD - JAPAN「Science View」人工光合成技術を活用した研究について
2024/10/8 NHK「ほっと関西」人工光合成の実証に関することについて
2025/4/10 テレビ東京「モーニングサテライト」大阪・関西万博、飯田グループホールディングスと共同出展するパビリオンについて
NEDO技術委員 2023/4 - 現在
International Scientific Committee International Conference on Carbon Dioxide Utilization 2019/6 - 現在
イギリス王立化学会誌New Journal of Chemistry Associate Editor 2023/10 - 現在

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000095_ja.html



安藤 太一 (アンドウ ヒロカズ)

工業高等専門学校
講師

広報ポイント

高専ロボコン代表顧問 6年連続全国大会出場、2023年・2024年全国大会優勝。他ロボット系コンテンツに数多く出場。Webサービス、魁高専を立ち上げ、地域のSTEM教育、ロボット教育に貢献する活動を推進。

■ キーワード

ロボコン ロボット教育



■ メディア掲載、主な委員歴など

NHK教育テレビ 高専ロボコン、NHK総合 ほっと関西、読売テレビ かんさい情報ネットten、MBSテレビ ミント!、FM軽井沢、日刊工業新聞 など

■ 研究者情報

<https://sakigake-robo.com/>



安藤 裕一郎 (アンドウ ユウイチロウ)

工学研究科
教授

広報ポイント

電子の中に存在する小さな磁石(スピン)を用いて半導体デバイスを高機能化する研究を推進。強磁性体と半導体(特にシリコン、ゲルマニウムなどのIV族半導体)との異種接合の高品質形成と半導体へのスピン注入に関する研究に注力。シリコンスピントランジスタの室温実証やシリコン中に存在するスピンを用いた論理演算素子の動作実証などを実現。2023年度 科学技術振興会(JST) 創発的研究支援事業の新規研究課題に「14族半導体を用いたスピン論理演算の創成」が採択。

■ キーワード

電子デバイス 電子機器 半導体スピントロニクス 無機材料 物性
トポロジカル物質



■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/7/11 日刊工業新聞、京都新聞 サムコ科学技術振興財団による2025年度(第9回)の薄膜技術に関する研究助成に採択
応用物理学学会スピントロニクス研究会 企画幹事 2023/1 - 2024/12

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002898_ja.html



アンドレバ森アドリアナ (アンドレバモリアドリアナ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

航空交通管理および次世代エアモビリティを専門とし、機械学習を用いた到着時刻予測、航空交通流の最適化ならびに災害時における有人・無人航空機の統合運航技術に関する研究に従事。JAXAでの研究員経験に加え、受賞歴を含む国際共同研究の実績を多数有する。

■ キーワード

運航技術 航空交通管理 災害時運航 次世代エアモビリティ

■ メディア掲載、主な委員歴など

CARATSの複数ワーキンググループ委員、日本航空宇宙学会航空交通管理部門委員、ICASプログラム委員およびExecutive committee委員を歴任。

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003034_ja.html


飯田 琢也 (イイダ タクヤ)

理学研究科
教授

広報ポイント

光照射下で発生する圧力と熱の効果を利用した「光濃縮」により、生体由来のナノ物質の効率的な検出に成功。光濃縮検査システムの実証機も開発し、がん、認知症、感染症など医療現場での検査や創薬、環境計測、食品検査などの社会実装を目指した異分野横断研究に取り組んでいる。本学LAC-SYS研究所所長。

■ キーワード

生体光物理 量子生命科学 光濃縮 生化学反応の光誘導加速 光熱変換 応用光学・量子光工学 ナノフォトニクス 非平衡物理 光物性理論

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/1/27 日刊工業新聞 PCR法で標的DNAを増幅せずに、光照射だけで超高感度かつ迅速にDNAを分析する「ヘテロプローブ光濃縮法」を新たに開発
2025/10/8 読売新聞 9月15日に大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン・リボンステージで開催された認知症研究発表に登壇
2026/2/6 科学新聞(1面) 認知症 血液検査で早期発見 レーザー光で特定物質捕集
飯田教授「将来は家庭」でも
量子生命科学会 評議員

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001847_ja.html


池野 豪一 (イケノ ヒデカズ)

工学研究科
教授

広報ポイント

機械学習やデータマイニングの手法を材料設計や解析に応用し、次世代の新規材料開発を目指す研究に取り組む。第一原理多電子計算を用いて、物質の性質を原子・電子レベルから解明することを目指す。内閣府の科学技術政策フェローとして、研究者の立場から日本の科学技術政策立案の現場に携わる。

■ キーワード

計算材料科学 内殻X線分光 無機蛍光体 電気化学触媒 マテリアルズインフォマティクス 電子分光 遷移金属化合物 計算材料科学 第一原理計算

■ メディア掲載、主な委員歴など

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 科学技術政策フェロー 2022/4 - 2026/3
内閣官房 グローバル・スタートアップ・キャンパス構想推進室 室員(非常勤) 2022/8 - 2024/3

■ 研究者情報

[①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002078_ja.html](https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002078_ja.html)
[②https://researchmap.jp/7000018623](https://researchmap.jp/7000018623)


乾 隆 (イヌイ タカシ)

創薬科学研究科
教授

広報ポイント

がん細胞を標的とした新規ドラッグ・デリバリー・システムの開発をはじめ、顧みられない熱帯病であるアフリカ睡眠病やシャーガス病に対する新規治療薬の開発、イヌ・ネコアレルギーの治療を目指した低アレルゲン化ワクチンの開発を目指す。2026年4月開設の創薬科学研究科の研究科長を務める。

■ キーワード

ドラッグデリバリーシステム がん標的 分子認識機能 難水溶性薬剤 リポカリン蛋白質 イヌ・ネコアレルギー 低アレルゲン化ワクチン 人獣共通感染症 アフリカ睡眠病 寄生虫

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/12/10 産経新聞 「明解! 公大ゼミ」で解説: AIによるたんぱく質の構造予測
2025/5/14 日刊工業新聞 2026年4月に開設する創薬科学研究科の研究科長就任に向けてコメント
2025/7/10 コーポレーション 8月号 高齢者の睡眠障害についてインタビュー
JST 創発的研究支援事業アドバイザー 2020/4 - 継続中
JST ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム 外部専門家 2023/11 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001760_ja.html


井上 慎 (イノウエ シン)

理学研究科
教授

広報ポイント

レーザー冷却や量子縮退気体を活用した最先端の量子物理研究を牽引。超低温原子・分子を高度に制御する実験的アプローチを通じ、ボース=アインシュタイン凝縮や極低温分子分光など、多様な量子現象の解明に貢献。分子・原子・光をキーワードとした基礎物理の発展に寄与し、国内外で高く評価されている。

■ キーワード

分子 原子 光 レーザー冷却 ボース・アインシュタイン凝縮

■ メディア掲載、主な委員歴など

科学技術振興機構 先端国際共同研究推進事業 アドバイザー 2021/4 - 継続中
国立研究開発法人 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「物質と情報の量子協奏」領域アドバイザー 2022/4 - 継続中
大阪科学賞運営委員会 大阪科学賞選考委員会 委員 2023/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000713_ja.html


大西 利和 (オオニシ トシカズ)

理学研究科
教授

広報ポイント

大小さまざまな電波望遠鏡を用いた星形成の研究。電波望遠鏡システムの開発。国際共同研究プロジェクト・アルマ望遠鏡にも参加し、アルマ評議会議長も歴任。

■ キーワード

星形成 星間物質 銀河進化 電波天文学 電波望遠鏡 電波受信

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/4/14 読売新聞 東大などの研究チームによる135億光年離れた銀河候補に関する研究についてコメント
2022/8/26 共同通信等 19万光年先の原始星の観測に成功し、星や惑星の誕生過程の解明がさらに進むと期待される国際共同研究について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001920_ja.html


興津 健二 (オキツ ケンジ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

超音波を利用した水中有害物質の分解や金属ナノ粒子合成など、水質改善技術や次世代素材の開発に取り組む。近年は高温高压マイクロバブルの温度・圧力・数の解析を進め、バブル内での熱分解反応を評価。水やアルコールなど多様な化学物質の熱分解反応と反応速度の促進を検討している。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

超音波化学 有機物の分解 ファインバブル ナノマテリアル ソノプロセス ソノケミストリー

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本ソノケミストリー学会 副会長 2020/4 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001699_ja.html


恩田 真紀 (オンダ マキ)

創薬科学研究科
准教授

広報ポイント

タンパク質の分子の形を解析して、さまざまな現象や機能を明らかにする「構造生物学」が専門。アルツハイマー病やパーキンソン病に代表される「タンパク質の構造変化が原因で発症する疾患：コンフォーメーション病」がメインテーマ。

■ キーワード

ニューロセルピン α 1-アンチトリプシン tPA PAI-1 オボアルブミン
コンフォーメーション病 セルピン

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/5/1 東京新聞 就職氷河期世代の任期付き科学技術系研究者の現状と待遇改善の課題について
日本学術会議 小委員会委員
日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員、特別研究員等審査会専門委、国際事業委員会書面審査員他

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001565_ja.html


笠松 真吾 (カサマツ シンゴ)

創薬科学研究科
准教授

広報ポイント

ブロッコリースプラウトに大量の
超硫黄分子を発見。
アサヒグループ財団 研究賞受賞。

■ キーワード

超硫黄分子 冬眠 細胞分化 レドックスバイオロジー サルファーバイオロジー
活性酸素 活性イオウ分子



■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/6/11 日本テレビ「カズレーザーと学ぶ。」 抗酸化作用など健康促進に効果のある超硫黄分子を
多く含むブロッコリースプラウトについて
2025/2/5 主婦の友 生活シリーズ『ブロッコリースプラウトのすごい健康長寿力』(主婦の友社)
2025/7/18 食品新聞 「第79回日本栄養・食糧学会大会」でブロッコリースプラウトの研究についてコメント

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002457_ja.html



片山 徹 (カタヤマ トオル)

工学研究科
教授

広報ポイント

大型商船、高速船、高速艇、滑走艇
等の安全性に関する設計・開発・
性能向上および運用支援などに
かかわる研究、洋上風力発電、風
況観測、ブイ等浮体の波浪中運動
特性や安全性にかかわる研究、試
験水槽を利用した各種性能評価
試験の開発等を実施。

■ キーワード

大型商船 高速船 高速艇 滑走艇 安全性 波浪中復原性 耐航性能 損傷時復原
性 操縦性 津波対応型救命艇 艇舶工学 洋上風力発電 風況観測 ブイ 水槽試験



■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/11/7 読売新聞 JR九州高速船の旅客船浸水についてコメント
2025/12/8 Newton別冊 乗り物のテクノロジー「世界のハイテク船舶」「世界の最新船舶」監修
国際試験水槽会議 ITTC 理事 2021/6 - 継続中
日本船舶海洋工学会JTTC 委員長 2021/6 - 継続中
環境省受託事業 令和4年～7年度潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業審査委員会 委員 2022 - 2026/3
日本船舶海洋工学会 副会長(関西支部長) 2025/6 - 継続中
日本小型船舶検査機構 評議員 2026/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001543_ja.html



鐘本 勝一 (カネモト カツイチ)

理学研究科
教授

広報ポイント

光を活用する半導体材料や素子
を対象に、これまでにない電子機
能の発見や、デバイス動作中に起
こる多様な現象の仕組みを、独自
に開発した光計測及びスピン計測
技術によって明らかにすることを
目指す。

■ キーワード

半導体の光物性 デバイス物性 スピン物性と磁気共鳴



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/3/2 日刊工業新聞 イオン液体材料を使った電気化学発光セル(LEC)が電界発光過程で生じる
電子状態の変化を観測することに初めて成功したと発表
2023/4/13 電子デバイス産業新聞 電気化学発光セル(LEC)の電界発光過程で生じる電子状態の変化
を観測することに初めて成功
電子スピンサイエンス学会 代議員 2024/2 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000778_ja.html



神谷 信夫 (カミヤ ノブオ)

研究推進機構人工光合成研究センター
特別招へい教授
大阪市立大学名誉教授

広報ポイント

岡山大学の沈建仁教授らと共同で、反応
中心(マンガナルシウムクラスター)を含
む光化学系II複合体の結晶構造を解析。
本成果はScience誌で「科学上の10大発
見(Breakthrough of the Year 2011)」に
選ばれるなど、世界的に高く評価され、「光
合成における水分解・酸素発生の分子機
構の解明」により朝日賞を受賞。

■ キーワード

構造生物化学 タンパク質結晶学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/9/30 朝日新聞
2025/10/4 中日新聞
2025/10/5 東京新聞
2025/10/7 日本経済新聞 など ノーベル化学賞の有力候補として紹介

■ 研究者情報

<https://www.omu.ac.jp/about/award/eminent-prof/>



川上 太知 (カワカミ タイチ)工業高等専門学校
准教授**広報ポイント**

パワーエレクトロニクス分野におけるスイッチング電源の制御技術を中心に幅広く研究。高専教員としては珍しく企業と多くの共同研究を行い、学生の研究活動のみならず企業の若手技術者教育など学外活動も活発に行う。

■ キーワード

パワーエレクトロニクス 制御工学 スwitchング電源の高速安定制御

■ メディア掲載、主な委員歴など

電気学会 調査専門委員会 委員 2019 - 2023
 電気学会 協同研究委員会 幹事 2022 - 2024
 電気学会 調査専門委員会 幹事補佐 2025
 IEEE IES Japan Joint Chapter 役員 2020 - 2026
 計測自動制御学会 調査研究会 幹事 2024 - 継続中
 パワーエレクトロニクス学会 会計幹事 2025 - 継続中

■ 研究者情報
https://www.ct.omu.ac.jp/pect-lab/lab_member/taichi_kawakami/
**岸本 嘉彦** (キシモト ヨシヒコ)工学研究科
准教授**広報ポイント**

材料特性を利用した室内熱湿気環境制御、建築壁体の劣化進行予測について研究。
 ISO審議委員会、建築熱湿気環境に関する学会委員会およびWG、大阪市のPFI事業検討会、建築物環境配慮推進委員会など委員歴多数。

■ キーワード

吸放湿 室内環境調整 評価手法 熱水分移動 冷暖房利用 運転生起要因 消費エネルギー予測 劣化進行予測 確率理論

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/4/17 建設通信新聞 委員を務める大阪市PFI事業検討会議が選定に携わる「小中学校空調設備整備事業」について
 ISO TC163/SC1 国内審議委員会 委員 2022/10 - 継続中
 大阪市建築物環境配慮推進委員会 委員 2022/11 - 2024/11
 日本建築学会 吸放湿性能の評価手法と有効利用WG 主査 2025/4 - 継続中

■ 研究者情報
https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001010_ja.html
**久保田 佳基** (クボタ ヨシキ)理学研究科
教授**広報ポイント**

SPring-8を活用した放射光粉末回折法による精密結晶構造解析を推進。X線結晶構造解析により求めた原子や分子、電子の空間的分布を基に、物質の物理的・化学的性質の解明を目指す。放射光粉末回折のガス吸着その場測定により金属有機構造体(MOF)のガス吸着構造解析やガス吸着過程の構造変化の観測に注力。2011年文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)、2016年日本結晶学会賞学術賞受賞。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

放射光 粉末回折 電子密度解析 マキシマム・エントロピー法(MEM) 金属有機構造体(MOF) 多孔性配位高分子 ガス吸着

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/10/8 NHK「ニュース845」「ニュースウオッチ9」、産経新聞 京都大学 北川進特別教授のノーベル化学賞受賞を祝しコメント

■ 研究者情報
https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001434_ja.html
**小木 曾 望** (コギソ ノゾム)工学研究科
教授**広報ポイント**

航空機や宇宙機の最適設計、信頼性工学、レジリエンス工学が専門。2024/25年度 本学生産技術センター長。本学小型宇宙機システム研究センター長や読売テレビ主催の鳥人間コンテストで優勝経験もある「WindMill Club」の顧問も務め、学生を支援する。2025年度日本航空宇宙学会理事(論文集担当)。

■ キーワード

レジリエンス工学 不確定性を考慮した最適設計 航空宇宙工学 超小型衛星 人力飛行機

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/11/15 サンケイリビング小学生新聞2022年冬号 人工衛星ってどんなもの？
 2024/1/10 子供の科学2月号 飛行機の翼の形が動物のようになる？
 日本航空宇宙学会 理事(関西支部担当) 2022/3 - 2023/2
 日本航空宇宙学会 関西支部長 2023/3 - 2024/2
 日本航空宇宙学会 理事(論文集部担当) 2025/3 - 2027/2
 日本機械学会 設計工学・システム部門部門長 2025/4 - 2026/3

■ 研究者情報
https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001516_ja.html


小菅 厚子 (コスガ アツコ)

理学研究科
教授

広報ポイント

物質科学や、廃熱を直接電気に変換する「熱電変換工学」に関する研究。第15回資生堂女性研究者サイエンスグラント受賞。

■ キーワード

物質科学 熱電変換工学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/1/25 鉄鋼新聞 日本鉄鋼協会第1回鉄鋼カーボンニュートラル研究助成事業の助成対象に決定
2025/4/24 電気新聞 原子炉安全専門審査会と核燃料安全専門審査会の審査委員に再任
2025/11/7 中日新聞 ソロプチミスト日本財団「女性研究者賞」を受賞

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001971_ja.html


酒巻 大輔 (サカマキ ダイスケ)

理学研究科
准教授

広報ポイント

伝導性・磁性・光機能性などさまざまな機能性を有する有機物質の開発に注目し、機能性有機化合物の合成、構造解析、物性評価などに取り組んでいる。有機合成から物質の物性解明まで、有機化学から物理化学にまたがる幅広い分野の研究を行っている。

■ キーワード

物理有機化学 構造有機化学 有機ラジカル 含窒素 π 電子系 動的共有結合 キラリティ ラジカルイオン

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/4/14 電子デバイス産業新聞 松嶺科学財団2021年度の助成者について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002422_ja.html


櫻木 弘之 (サクラギ ヒロユキ)

学長

広報ポイント

原子核物理の難問の一つであった、核反応の3体問題(分解反応)を精密に扱う理論手法(CDCC法)を開発。現在ではCDCC法が分解反応の標準手法として世界中に普及し、原子核物理学の教科書にも掲載されている。
2025年度から大阪公立大学第2代学長。

■ キーワード

原子核反応理論 分解反応の理論 原子核のクラスター構造 原子核間相互作用の微視的理論 スピン偏極核反応 中性子過剰核の構造と反応

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/2 産経新聞 学長就任記者会見について
2025/11/28 日本経済新聞 国際会議「大阪アジアラウンドテーブル」について
2026/4/5 MBS毎日放送「ザ・リーダー」
日本物理学会 領域代表 2013/4 - 2015/3
関西文化学術研究都市建設推進協議会委員 2025/5/9 - 継続中
一般社団法人公立大学協会 理事 2025/6 - 継続中
大阪府原子炉問題審議会会長 2026/1/17 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000644_ja.html


椎木 弘 (シイギ ヒロシ)

工学研究科
教授

広報ポイント

健康増進、感染症や食中毒の予防、環境保全など生活を取り巻く環境において、分子が生じる電気や光、熱などの化学反応を利用し、バクテリアからヒトまでさまざまな生体を分子レベルで計測し、反応機構の解明や事象の客観的な評価の実現を目指す。ウイルスや細菌をナノ粒子の性質を利用して迅速で正確に検出する技術の確立や独自のナノバイオ材料の開発などに取り組む。本学大阪国際感染症研究センターの研究推進部門では、金ナノ粒子を用いた微生物計測技術の開発を行い、感染経路の遮断の研究に携わる。

■ キーワード

ナノ構造科学 人工抗体・酵素 バイオ分析 生体計測 微生物検査

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/5/8 化学工業日報 食品・医薬品の安全製造へ
有害細菌を素早く同時検出することが可能になった研究成果について
2025/6/25 TBSラジオ「森本毅郎スタンバイ」 食中毒を引き起こす細菌をナノ粒子標識を活用して電気化学検出するセンサについて

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001715_ja.html


許 岩 (シュウ イェン)

工学研究科
教授

広報ポイント

最先端ナノ流体デバイスでフェムト(10^{-15})〜アト(10^{-18})リットルの極微量液体を自在に制御し、1分子・1細胞レベルの化学・バイオプロセス解析や創薬・診断・新化学技術創出に挑む研究。2023年3月には、1分子の流れを制御する1分子バルブの創製に成功。関連分野における中国の科学技術、教育体制および人材育成状況においても知見を有する。

■ キーワード

ナノ流体デバイス マイクロ流体デバイス ナノ流路 1分子プロセス 1分子計測
1分子操作

■ メディア掲載、主な委員歴など

2016/3 朝日新聞 超微量の水、制御できるバルブ 大阪府立大が開発(1兆分の1ミリリットルでも)
2021/10 日刊工業新聞 ナノスケールの超微小気液界面 大阪府大、高精度・均一に作製成功
2023/3 日経クロステック(xTECH) 大阪公立大学などが極微小バルブで1分子の流れを制御、医療・産業用材料に
2023/7 NIKKEI Tech Foresight 大阪公立大、タンパク質を1分子ずつ計測 精密医療向け
VIEW Medicine誌、Analytical Sciences誌 Associate Editor
Journal of Analysis and Testing誌、Chinese Chemical Letters誌等 Editorial Board Member

■ 研究者情報

①<https://www.omu.ac.jp/eng/chemeng8/>
②<https://researchmap.jp/xuyan/>



杉谷 栄規 (スギタニ ヨシキ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

不均一性や時間遅れといった「ばらつき」や「ずれ」が、なぜ協調的な集団動作(同期)を生み出すのか—その数理的メカニズム解明を目指す。協調的集団動作の工学応用を見据えた企業との共同研究も行う。2025年さががけに採択。

■ キーワード

非線形動力学 複雑系科学 制御工学 同期現象

■ メディア掲載、主な委員歴など

The NOLTA Society編集委員 2026/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002775_ja.html

高井 飛鳥 (タカイ アスカ)

工学研究科
助教

広報ポイント

人の運動の理解および運動学習支援ロボット、リハビリテーションシステムの研究に取り組んでいる。国際電気通信基礎技術研究所の客員研究員も兼任。大阪・関西万博では「フューチャーライフ万博・フューチャーライフエクスペリエンス」にて、起立支援装置の展示およびシンポジウムを開催。

■ キーワード

動作姿勢解析 運動学習支援 運動器リハビリテーション
人-人および人-ロボット・インタラクション

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本ロボット学会 国際委員 2024/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001066_ja.html

高橋 雅英 (タカハシ マサヒデ)

副学長(国際交流)
工学研究科
教授

広報ポイント

分子/ナノレベルで有機物質と無機物質を複合化することにより、それぞれの材料の特性を活かした機能性材料の創出に取り組む。分子レベルでの精密な構造設計を駆使し、次世代のセンサー、電子・工学デバイス、ナノ触媒への応用など社会実装に向けた研究を展開。2020年度日本化学会学術賞、2025年度日本セラミックス協会フェロー表彰受賞。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

溶液プロセス 材料化学 応答性材料 多孔性材料

■ メディア掲載、主な委員歴など

International Sol-Gel Society(本部、米国) 会長 2017/9 - 2020/9
独立行政法人日本学術振興会 学術システムセンター研究員 2023/4 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001912_ja.html

辰巳 砂 昌弘 (タツミサゴ マサヒロ)

エグゼクティブアドバイザー
大阪府立大学名誉教授

広報ポイント

電池の正極と負極の間に必要な固体電解質材料を長年研究。全固体電池研究においては、数々の国家プロジェクトをリーダーとして推進。令和5年度秋の紫綬褒章受章。

■ キーワード

固体電解質 全固体電池 機能性アモルファス メカノケミストリー ガラス科学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/1/19 化学1月号 日本における全固体電池研究の変遷について

2024/3/11 日刊工業新聞 硫化物系全固体電池の特徴や今後の見通しなどについて
JST戦略的創造研究推進事業研究主監 2024/4 - 継続中

Dhar Sambuddha (ダル サムブダ)

理学研究科
准教授

広報ポイント

地震に伴う地殻変動を対象として、数値シミュレーション、衛星測地学および岩石物理学を組み合わせた地震に関連する地殻変動の研究を行う。現在は、GNSS(全球測位衛星システム)の観測データを用いて、日本列島下の地殻やマントルの不均質なレオロジーを解明するため、巨大地震サイクルの解析。巨大地震後の地殻変動を予測するモデルの構築を目指す。本理学国際教育研究センター(IREC)に所属。

■ キーワード

地震学 地殻変動解析 地球物理学
Crustal deformation Geodesy Earthquakes

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003016_ja.html

坪井 泰之 (ツボイ ヤスユキ)

理学研究科
教授

広報ポイント

レーザー光で遺伝子や細胞などを動かす「光ピンセット」を研究。2024年6月には、光ピンセット技術を活用して、分子から分子へエネルギーが移動する過程のフェルスター共鳴エネルギー移動(FRET)の反応速度と効率の制御に成功。

■ キーワード

光ピンセット 応用分光学 量子光学 レーザ加工 物理化学 光機能性材料
ベンチャー企業 ナノテクノロジー 分析化学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2017/9/29 化学工業日報 新型光ピンセットを開発

2018/10/7 読売新聞 ノーベル物理学賞に関してコメント

2023/5/15 化学工業日報 日本分析化学会主催第83回分析化学討論会での研究発表について

2023/12/14 読売新聞 幸せランチ

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000582_ja.html

円谷 健 (ツムラヤ タケシ)

創薬科学研究科
教授

広報ポイント

世界最大規模の食中毒シガテラを予防する、世界で唯一のシガトキシンを認識するモノクローナル抗体の作製とシガトキシンの微量検出法の開発。

■ キーワード

遷移状態アナログ 進化分子工学 生体分子 ライブラリー モノクローナル抗体
ハイブリドーマ

■ メディア掲載、主な委員歴など

2019/4/16-4/19 朝日新聞「患者を生きる」 シガテラ食中毒およびシガテラ食中毒原因毒素の検出についてコメント

2024/6/2 毎日放送「健康カプセル!ゲンキの時間」 食中毒の「シガテラ毒」についてコメント

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001716_ja.html

土井 智晴 (ドイトモハル)

工業高等専門学校
教授

広報ポイント

機械工学・計測制御工学・情報工学・ロボット工学を複合的に組み合わせ、総合工学として科学・技術の裾野を広げる研究活動を通し、高専生に進取の気概を育む教育活動を行っている。

■ キーワード

ロボット技術や情報技術の実践活用～機械学習 Teachable Machineを活用したAI計測技術～



■ メディア掲載、主な委員歴など

2026/1/14 日刊工業新聞 JICAのエジプト・日本高専プロジェクトについて専門家としてコメント
公益財団法人大阪産業局(KSAC事務局)「NEXT PIONEER 2022」研究紹介:配管自動検査ロボットによるインフラ点検システムについて
一般社団法人アール・アンド・アールコミュニティ 理事

■ 研究者情報

①<https://www.ct.omu.ac.jp/doilab/>②<https://research-er.jp/researchers/view/263341>

床波 志保 (トコナミ シホ)

工学研究科
教授

広報ポイント

微生物を“生きたまま”高密度集積して、微生物による発電と環境浄化(水浄化・大気浄化)を同時に可能にする微生物電池に関する研究。DNAや細菌、がん細胞、タンパク質などを1秒でも早く、高感度に検出するバイオセンサの開発。

■ キーワード

分析化学 生体光化学 電気化学



■ メディア掲載、主な委員歴など

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 理事長アドバイザー・評価委員会 委員
Analytical Sciences誌 編集委員

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001972_ja.html


中川 智皓 (ナカガワ チヒロ)

工学研究科
教授

広報ポイント

個人の移動手段であるパーソナルモビリティ・ピークルの自動運転技術の開発について研究。一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会の代表理事も務め、コミュニケーション場のメカニズムデザインの研究についても携わる。

■ キーワード

機械力学・制御 人間工学 メカトロニクス



■ メディア掲載、主な委員歴など

寝屋川市 教育委員会 委員 2021/7 - 継続中
SMI都心ライン自動運転技術等検討分科会委員 2023 - 継続中
内閣府 上席科学技術政策フェロー 2024 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001939_ja.html


中谷 敬子 (ナカタニ ケイコ)

工業高等専門学校
教授

広報ポイント

理工系女性技術者のキャリア発達プロセス研究に従事。企業研究員、大阪公立大学工学部助手を経て現職。内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ支援賞」(2022)、大阪府知事賞(男女共同参画部門、2023)、大阪商工会議所「ブルーローズ表彰」(2025)受賞。協働型キャリア発達の場づくりに注力。大阪公立大学高度人材育成推進センターfledgeの支援を得てNPO法人メイカーズクラブを設立、代表を務める(兼任、2022～)。

■ キーワード

計算力学 工学教育 理系女性人材育成 ダイバーシティ ワークライフシナジー
キャリア教育 キャリアコンサルティング 個別最適化学習 探求学習 STEAM教育



■ メディア掲載、主な委員歴など

2004/6/22 読売テレビ「テレビスクランブル」「宇宙の音楽」
2004/7/1 KBS京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほか」「宇宙の音楽」の構想と今後
2013/4/24 日刊工業新聞ワークライフ「理工系女性の想い」組織も個人も輝く方法
2026/2/25 大阪商工会議所「大商ニュース」「活躍する女性リーダーたち<75> 若者に理系の魅力伝える」
日本女性技術者フォーラム 関西西部会長 2006 - 現在
日本工学教育協会ダイバーシティ研究会 2007(前身WG) - 現在
厚生労働省キャリアコンサルタント更新講習(技能)認定講師 2019 - 現在

■ 研究者情報

<https://www.ct.omu.ac.jp/nakatani/keiko.html>


橋本 博公 (ハシモト ヒロタダ)

工学研究科
教授

広報ポイント

自動運航船による海上輸送システムの高度化・安全化、海底資源開発を支援するシミュレーション技術の研究に取り組む。企業との共同研究多数。本学「海洋科学技術研究センター」所長。船舶の復原性に関する国際会議(STAB)国際委員。国際海事機関(IMO)の小委員会では日本代表団として9年間活動。

■ キーワード

船舶工学 海洋資源工学 自動運航船 流体シミュレーション

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/3/18 日本経済新聞 船の着岸支援するAI
 2025/3/21 朝日新聞、読売新聞 海の世界でも自動運転加速、船AIで自動着岸
 2025/4/17 日本海事新聞 次世代船舶で共同研究 造船・海運7社と
 2025/10/29 海事プレス 自動運航船で学生コンペ
 日本船舶技術研究協会 無人運航船安全評価ステアリング委員会委員 継続中
 産業技術総合研究所 表層型メタンハイドレート回収・生産技術評価委員会委員 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002465_ja.html


波場 直之 (ハバ ナオユキ)

理学研究科
教授

広報ポイント

専門は素粒子論、素粒子論的宇宙論。物理の探求を通じて宇宙と物質の根源的謎の解明を目指す。素粒子の標準模型では説明できない現象を新しい理論の定式化や新しい実験の提案等も含めた多角的で革新的なアプローチから研究。著書に『会話で楽しむ宇宙物理学』(2025 オーム社)、『素粒子の探究で宇宙がみえてくる：波場センセイのとおっておき50話』(2020 丸善出版)など多数。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

標準模型を超える新しい物理の探求 素粒子論的宇宙論
インフレーション宇宙 ニュートリノ ダークマター パリティの破れ 大統一理論

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本物理学会素粒子論領域副代表 2015/4/1 - 2016/3/31
 日本物理学会素粒子論領域代表 2016/4/1 - 2017/3/31

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002526_ja.html


林 晃敏 (ハヤシ アキトシ)

工学研究科
教授

広報ポイント

全固体電池の普及を目指し、安定的かつ効率よく電池を作動させるための固体電解質について研究。
 本学全固体電池研究所所長。
 2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

固体電解質 全固体電池 ナトリウムイオン伝導体 リチウムイオン伝導体

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/4/15 工業材料2022年春号 硫化物電解質を用いた全固体リチウム-硫黄電池の研究開発(日刊工業新聞社)
 2023/8/4 日本経済新聞 「全固体電池、希少金属少なく」全固体電池の主要部材で経済安保のリスクを回避する新素材を開発
 2024/2/5 日経産業新聞 リチウム金属電池の実用化に向け、全固体電池を用いて安全性を高める基礎技術を開発

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001700_ja.html


檜垣 岳史 (ヒガキ タケフミ)

工学研究科
助教

広報ポイント

船舶海洋工学を専門とし、船や海の安全・自動化に関する研究に取り組む。AIを活用した自動着岸技術を開発。学生向けのワークショップや小学生を対象とした道德授業を実施し、学生教育や社会貢献活動にも取り組む。

■ キーワード

船舶海洋工学 知能情報工学 流体力学 自動運航船 避航操船 離着岸操船
AI 機械学習 模倣学習 強非線形流れ 自由表面流れ 粒子法 代理モデル

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/3/18 日本経済新聞 船の着岸支援するAI
 2025/3/21 読売新聞 船AIで自動着岸
 2025/3/21 朝日新聞 熟練船長の運転技術をAIに学習させ、船の安全な自動着岸をサポートするシステムを開発

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002876_ja.html


東田 卓 (ヒガシダ スグル)工業高等専門学校
教授**広報ポイント**

光触媒を用いた新規な有機合成に従事。近年は非フラーレン型新規n型半導体を用いた太陽電池に着手。公大高専におけるエレクトロニクス・知能情報コースのDX教育を推進。

■ キーワード

有機化学 光触媒 有機薄膜太陽電池 化学教育
子と親の楽しいかがく教室を通じた地域貢献 高専におけるDX人材育成

**■ メディア掲載、主な委員歴など**

2021/3/4 月刊高専 教育の質向上と地域貢献活動について <https://gekkan-kosen.com/1174/>
日本化学会近畿支部 幹事 2008 - 2009ティーチング・ポートフォリオ研究会 理事 2020/3 - 継続中
日本高専学会監事 2023/5 - 2025/5

■ 研究者情報

<https://www.ct.omu.ac.jp/higashida/>

**廣野 哲朗** (ヒロノ テツロウ)理学研究科
教授**広報ポイント**

主に南海トラフ地震や活断層、テクトニクス、防災・減災を研究。2011年東日本大震災で巨大津波が発生したメカニズムや2018年大阪府北部地震について、報道番組でコメント実績あり。

■ キーワード

地震 活断層 南海トラフ 地球物理学 地層処分

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/3 NHK サイエンスZERO 3.11から10年「地震学者たちが挑んだ“超巨大地震”」
2021/9 NHK NHKスペシャルMEGAQUAKE 巨大地震 2021 ～震災10年 科学はどこまで迫れたか～
大阪地方裁判所・大阪高等裁判所 専門委員 2012/1 - 継続中
経済産業省 地層処分研究開発調整会議 外部有識者委員 2022/4 - 2023/3
日本原子力研究開発機構 核燃料・バックエンド研究開発部門 深地層の研究施設計画検討委員会 委員
2022/12 - 継続中
文部科学省 科学技術専門家ネットワーク・調査員 2023/5 - 2024/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002527_ja.html

**福田 弘和** (フクダ ヒロカズ)工学研究科
教授**広報ポイント**

植物の概日時計の数理科学を専門とし、植物工場での概日時計の制御技術やシミュレーション技術などの研究に取り組む。農業デジタルツインを基盤とした農作業ロボットの開発ならびにクロスリアリティ(XR)技術の開発を通じて、革新的な農業ロボット技術、生産システム技術および仮想空間を活用したXR技術の創出を目指す。リアル空間とバーチャル空間を連携させ、農業オペレーションの効率化と高度化を推進する革新的な技術の創出など「次世代の農業を創る」ことに注力。本学植物工場研究センター副センター長。

■ キーワード

概日時計 植物工場 サーカディアンリズム 農業XRロボティクス

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/2 日刊工業新聞 植物の体内時計変化、刺激1回で全時刻計算 大阪府大など
2021/2 電波新聞 シンギュラリティ応答を用いた位相応答曲線の推定法 大阪府立大などが新手法を考案

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001766_ja.html

**藤田 憲一** (フジタ ケンイチ)理学研究科
教授**広報ポイント**

真菌における薬剤耐性機構の解明と、その薬剤耐性を打ち破る生理活性物質の探索を行う。納豆アレルギーを起こすポリガンマグルタミン酸の分子構造や生合成機構についても研究を行っている。産学官民共創による都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクトの代表として、天然物を活用する「健康寿命延伸」や「食品ロス解消」がかなえるwell-beingな社会の構築に取り組む。

■ キーワード

応用微生物学 応用生物化学 抗真菌性抗生物質 真菌における薬剤耐性機構
バイオポリマーの分子構造および生理活性

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/6 MRO北陸放送 Atta 梅雨時期のカビ対策
2023/8/3 NHK「あしたが変わるトリセツショー・食物アレルギー」 納豆アレルギーを引き起こすポリガンマグルタミン酸について
2024/5 科学新聞 柿ポリフェノールで 酸化ストレス軽減 酵母生育を改善
2025/6/10 産経新聞 「明解!公大ゼミ」で解説:梅雨時期に知っておきたい「カビ」対策について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000561_ja.html



堀内 渉 (ホリウチ ワタル)

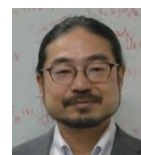
理学研究科
准教授

広報ポイント

原子核の構造・反応に関する理論的研究を行っている。多数の粒子が複雑に相互作用する多体問題に挑むとともに、宇宙・天体核物理についての研究にも取り組み、生命の誕生に重要な役割を担う炭素や酸素といった身の回りにある元素の起源の解明を目指している。

■ キーワード

高エネルギー原子核反応 量子力学的少数体問題 核物質・中性子星
宇宙核物理 原子核半径 不安定原子核 ニュートリノ原子核反応
エキゾチック原子・原子核



■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪大学核物理研究センター 研究計画検討専門委員会委員 2022/4 - 2024/3、2025/4 - 2027/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002531_ja.html



松原 浩 (マツバラ ヒロシ)

副学長(教育)
国際基幹教育機構
教授

広報ポイント

環境に配慮した新しい合成手法の開発と解析が専門。フッ素化合物や新規臭素化合物の合成とそれを用いた合成反応法の解明、新材料の開発を研究。計算化学的手法を用いた反応過程の解析も進める。二次電池有機正極活物質の合成にも注力し、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業の研究開発プロジェクトで有機二次電池のプロジェクトを主導。

■ キーワード

有機二次電池 ハロゲン化反応 計算化学 ラジカル



■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001373_ja.html



丸 信人 (マル ノブヒト)

理学研究科
教授

広報ポイント

素粒子論と場の量子論、特に標準模型を超える物理について研究。超対称性の破れの機構とその伝達機構やゲージ・ヒッグス(大)統一モデル、暗黒物質の物理などが研究テーマ。高校生や一般向けの講演多数。

■ キーワード

素粒子物理 宇宙物理



■ メディア掲載、主な委員歴など

2019/1/9 朝日新聞 プロフェッサー・ビジット 95%は未知 素粒子で解く
2024/7/22 朝日新聞ぶらっとラボ 座布団カバー型の図形から、素粒子に質量が生まれるパターンを解明
日本物理学会 素粒子メダル奨励賞選考委員 2018/1 - 2020/12

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000407_ja.html



三枝 栄子 (ミエダ エイコ)

理学研究科
講師

広報ポイント

磁性体や発光体、触媒などに使用されるランタノイドイオンを用いた金属錯体の研究に注力。特に発光性錯体を利用した「水中で光るランタノイド錯体のセンサー応用」、「省エネルギー型近赤外発光性ランタノイド錯体の開発」に取り組んでいる。

■ キーワード

典型元素化学 錯体化学 分子認識化学 ナノ材料 半導体材料



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/11/14 日刊産業新聞 プロテリアル材料科学財団 2023年度研究助成対象者に決定
2025/6/19 日本経済新聞 日経STEAM2025シンポジウム登壇者
NIKKEI STEAM2025Webサイト『若手研究者座談会』
日本化学会近畿支部幹事 2021 - 2023
日本化学会 代議員 2022 - 2024

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000987_ja.html



宮田 真人 (ミヤタ マコト)

理学研究科
特任教授/名誉教授

広報ポイント

特殊な細菌・マイコプラズマの3種の運動メカニズムを解明し、その知見を基に地球生命の運動能の起源を提案した。現在はミニマル合成細菌を用いて運動と生命の起源に挑戦している。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

マイコプラズマ滑走運動 スピロプラズマ遊泳運動 細菌の運動 ミニマル合成細菌物質と生命の境界 生命の起源 細胞進化 運動能進化 分子構造 分子の運動ゲノム 生物物理学 細菌学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/12/1 朝日新聞 「泳ぐ最小の生命体」の作製に成功し、未だ明らかでない細胞運動能の起源解明に大きく貢献
生物物理学会理事、国際マイコプラズマ学会理事、日本マイコプラズマ学会副理事長、日本細菌学会理事など

森 茂生 (モリ シゲオ)

工学研究科
教授

広報ポイント

透過型電子顕微鏡(TEM)を用いた全固体電池材料の構造解析、評価。充放電サイクルに伴う電極-電解質固体界面での化学組成変化や構造・組織変化を調べ、充放電特性の向上を目指す。
2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

全固体電池 回折結晶学 透過型電子顕微鏡 強誘電体材料 磁性材料 結晶構造解析



■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001641_ja.html



森内 敏之 (モリウチ トシユキ)

理学研究科
教授

広報ポイント

バナジウム、鉄や有機分子を触媒とする二酸化炭素やバイオマスの変換技術を研究。持続可能な低炭素および炭素循環型社会の実現を目指し、「モノづくりから環境を考える」を念頭に、グリーンサステイナブルな触媒システムの開発に取り組んでいる。

■ キーワード

有機金属化学 有機合成化学 錯体化学 超分子化学 生物有機金属化学 生物無機化学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/4/3 化学工業日報 一般社団法人カーボンリサイクルファンド主催 2023年度の研究助成にて追加採択
2024/11/1 ガスレビューNo.1043 常圧二酸化炭素を炭素源とする尿素化合物合成技術の開発について
International Symposium on Bioorganometallic Chemistry (ISBOMC) 国際諮問委員会委員
2016/11 - 継続中
International Vanadium Symposium 国際諮問委員会委員 2017/1 - 継続中
14th International Vanadium Symposium (V14) 組織委員長 2023/12 - 2026/11

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000959_ja.html



森澤 和子 (モリザワ カズコ)

副学長(ダイバーシティ、広報)
工学研究科
教授

広報ポイント

生産システムを、最速に設計・計画・運用するための最適化アルゴリズムに関する研究に取り組む。数値科学の理論をベースに、生産計画、在庫管理、配送・輸送計画などの意思決定問題を数理計画問題としてモデル化。その最適解を求めるアルゴリズムを開発することで、資源やエネルギーを無駄なく活用した効率的で環境にやさしいものづくりの実現に寄与することを目指している。大阪商工会議所が創設した「活躍する女性リーダー表彰(愛称:ブルローズ表彰)」を2023年度に受賞。本学女性研究者支援室長。

■ キーワード

経営工学 生産システム工学 システム最適化 生産管理 生産スケジューリング ナース・スケジューリング

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本経営工学会 関西支部運営委員 2007/6 - 継続中
スケジューリング学会 理事 2022/9 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001311_ja.html



山口 隆司 (ヤマグチ タカシ)

工学研究科
教授

広報ポイント

橋梁システムの性能を定量的に評価した上で、劣化した部材・部位に対する効果的な補修・補強を実施するための研究。

橋梁の専門家として自治体の橋梁メンテナンス、不具合、事故等に対するアドバイザーを多数歴任。

■ キーワード

橋梁工学 構造工学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/6/24 建設通信新聞 橋梁架け替え事業におけるハイブリッド型包括的民間委託の研究について

2025/2/19 日刊建設工業新聞 委員長を務める鋼構造委員会の「鋼構造若手技術交流小委員会」の立ち上げについて

2025/12/1 日刊建設工業新聞 日本鋼構造協会「土木鋼構造診断士・診断士補資格制度20周年記念講演会」で土木鋼構造診断士専門委員長として講演

国土交通省近畿地方整備局・阪神高速道路(株) 大阪湾岸道路西伸部技術検討委員会 委員 2019/4 - 継続中

国土交通省近畿地方整備局 橋梁ドクター 2022/4 - 継続中

土木学会鋼構造委員会 委員長 2023/7 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000600_ja.html



山口 博則 (ヤマグチ ヒロノリ)

理学研究科
准教授

広報ポイント

次世代科学技術の実現に向けた未知なる量子現象の探求をテーマに研究。量子物理学の重要な理論モデルである「近藤ネックス」を実験的に初めて現実の物質系で実現し、磁場を用いてネックスの結合を制御できる現象を発見。量子コンピューティングやスピントロニクス分野での応用など次世代量子技術が社会で果たす役割を切り拓くべく研究を進める。JST2025年度戦略的創造研究推進事業(さきがけ)の新規研究課題として「結晶空間設計による量子マテリアル開拓」が採択。本学量子物質開拓研究センター長。

■ キーワード

ESR 強磁場 磁性 分子磁性

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本物理学会JPSJ 編集委員

Scientific Report 編集委員

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001974_ja.html



弓場 英司 (ユバ エイジ)

工学研究科(兼担:創薬科学研究科)
准教授

広報ポイント

化学と免疫学をつないで挑む、がん治療の材料開発。薬物送達システム、機能性高分子化学、免疫療法を研究。

2019年米国シカゴ大学に客員研究員として留学。

2022年文部科学大臣表彰「若手科学者賞」受賞。

■ キーワード

薬物送達システム バイオマテリアル リポソーム 刺激応答性高分子 免疫工学
ナノワクチン がん免疫療法 自己免疫疾患 制御性細胞

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/9/6 稲盛財団 3S研究者探訪#8

2022/11/2 日刊ゲンダイ 従来の10分の1の抗原量でも強力ながん免疫を活性化するワクチン担体の開発に成功
内閣府 科学技術政策フェロー 2020/4 - 2024/3

日本バイオマテリアル学会 評議員 2020/4 - 継続中

日本DDS学会 評議員 2023/4 - 継続中

独立行政法人日本学術振興会「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」リエゾン
2024/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001945_ja.html



吉田 大介 (ヨシダ ダイスケ)

情報学研究科
准教授

広報ポイント

多数の自治体と連携し、ドローンとAIを用いたインフラ点検技術(ひび割れの自動検知等)や、文化財のデジタルツイン化など、先端技術の社会実装に注力。小学生向けの防災教育など、技術を市民の安心・安全につなげる活動も展開している。

■ キーワード

地理空間情報システム 防災・減災 インフラDX ドローン 拡張現実
3次元データ

■ メディア掲載、主な委員歴など

2026/1/15 NHK「ほっと関西」小学生を対象にした防災ARまち歩きについて

大阪市デジタル統括室 令和6年度都市のデジタルツインを見据えた建設生産プロセスDX推進支援業務委託の調達に係る総合評価一般競争入札事業者評価会議 委員 2024/1 - 2024/4

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000431_ja.html



Rivera Rocabado David Samuel

(リベラ ロカバド デイビッド サムエル)

理学研究科
准教授

広報ポイント

計算材料科学を基盤に、電子構造解析を通じて材料の安定性評価や不均一触媒反応機構の解明に取り組む。第一原理計算と機械学習を融合し、次世代グリーンエネルギー技術に向けた新規材料設計を加速する理論的枠組みの構築を推進している。水素関連技術や不均一触媒反応機構に関する専門的なコメント・解説に対応可能。本学理学国際教育研究センター(IREC)に所属。

■ キーワード

計算材料科学 電子構造解析 材料安定性評価 不均一触媒反応機構
エネルギー材料設計 水素関連技術 機械学習応用

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003017_ja.html

綿野 哲 (ワタノ サトル)

工学研究科
教授

広報ポイント

粉体工学分野における第一人者。医薬品、食品、化粧品だけでなく全固体電池などあらゆる粉体材料を対象として研究を行う。本学大阪国際感染症研究センターで、感染症の診断法・治療法や予防法開発につながる先端研究を担う研究推進部門の部門長を務める。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

粉体工学 化学工学 製剤学 全固体電池



■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/9/19 日本経済新聞 教え子との交遊回顧録
粉体工学会理事
製剤機械技術学会評議員
アジア粉体工学国際会議(Asian Particle Technology)国際組織委員会(IOC)会長
国際微粒子学会(IFPRI)理事などを歴任

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001362_ja.html

秋田 成司 (アキタ セイジ)

工学研究科
教授

広報ポイント

カーボンナノチューブグラフェン、カーボンナノコイルなど2次元原子層材料を用いたナノ電気機械デバイス、電子材料の合成プロセスの研究。新素材を活用した低環境負荷のエレクトロニクスデバイスやセーフティデバイスなどの研究開発を推進。2012年文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)、2020年応用物理学会ISAPフェロー表彰など多数受賞。大学入試センターや大学コンソーシアム大阪などで要職を歴任し、教育制度設計や高大連携に貢献。2025年より大阪公立大学工業高等専門学校校長。

■ キーワード

ナノ電気機械デバイス nanotechnology カーボンナノ材料 ナノテクノロジー
2次元系原子層

■ メディア掲載、主な委員歴など

独立行政法人大学入試センター 全国大学入学選抜研究連絡協議会企画委員会委員
2022/6 - 2024/12
特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 推進委員会委員 2024/4 - 2025/3
特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 2024年度 高大連携部会 推進委員 2024/4 - 2025/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001295_ja.html

秋吉 優史 (アキヨシ マサフミ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

放射線計測の知見を軸に、放射線影響の評価や工学的な感染症制御研究という多角的なアプローチで社会課題の解決に取り組む。本学大阪国際感染症研究センターの研究推進部門にて、感染経路の遮断法開発として、光触媒を用いた小型飛沫除去装置の開発や紫外線消毒法の研究に携わる。放射線教育において、教育現場を積極的に支援。本学の産学官共創による都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクトの代表として、光触媒を用いたマクロ感染症制御および都市衛生環境改善に向けた研究に取り組む。

■ キーワード

マクロ感染症制御 光触媒応用 飛沫・エアロゾル挙動評価 都市臭気環境改善
放射線教育プログラム開発 放射線安全管理
核融合炉ダイバータ材料開発(熱物性)

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/14 フジテレビ「イット!」他 中国のSNSに投稿された、日本の寿司店で寿司の放射線量を測る映像について専門家の立場からコメント
2020年のコロナ禍に於いては紫外線、飛沫除去装置に関してテレビ出演8回、新聞掲載10回以上
日本放射線安全管理学会 理事 2020/6 - 継続中
大学等放射線施設協議会 理事 2025/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002334_ja.html

東 雅之 (アズマ マサユキ)

工学研究科
教授

広報ポイント

バイオ工学、ライフサイエンス、発酵工学が専門。微生物の細胞表層構造の解析などの基礎研究から、自然界からの有用な酵母や乳酸菌の単離や、酵母を用いた有価・有害金属の回収・除去剤や新規免疫賦活乳化剤の開発、排水処理担体上でのバイオフィルム形成の検証などの応用研究まで幅広く研究。

■ キーワード

発酵 細胞工学 微生物 酵母 細胞表層 バイオフィルム 金属回収・除去
レアアース タンパク質乳化剤 微生物燃料電池

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/9/3 日本経済新聞 排水処理を促進する「バイオフィルム」の形成に適した「プラスチック素材」の検証
一社近畿化学協会 理事 2017/5 - 継続中
公財ナインティナイン・アジア留学生奨学基金 理事 2020/6 - 継続中
日本生物工学会JABEE特別部会 部会長 2025/6 - 継続中
日本技術者教育認定機構 認定審査調整委員会 委員 2025/6 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000815_ja.html



石亀 篤司 (イシガメ アツシ)

工学研究科
教授

広報ポイント

スマートエネルギーの研究、先進的な技術やシステム・ツールを用いて、実問題の解決と次世代エネルギーシステム(SoS)の構築に貢献。2021年日本電気協会第66回溢澤賞、2022年第58回電気保安功労者経済産業大臣表彰を受賞。

■ キーワード

電力システム構想 蓄電池システム 電力系統の解析・制御・最適化
エネルギーマネジメントシステム(EMS) BEMS メタヒューリスティクス

■ メディア掲載、主な委員歴など

資源エネルギー庁 長距離海底直流送電検討会 委員 2021/2 - 2022/2
NEDO技術委員 2022/5 - 2024/3
電気学会 電力・エネルギー部門長 2022/6 - 2024/6
製品評価技術基盤機構 蓄電池システム産業の将来に関する検討委員会 委員 2025/5 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001316_ja.html



岡田 健司 (オカダ ケンジ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

分子スケールの配列からマクロなパターンニングまで自在に操り、素材の機能を最大化する研究者。金属有機構造体(MOF)薄膜による熱・光制御など、独自の構造制御技術で社会課題の解決を目指している。高度なナノテクが切り拓く未来の材料開発について、多角的な視点で発信する。2019年日本セラミックス協会進歩賞、2023年日本化学会進歩賞など多数受賞。

■ キーワード

有機/無機界面 金属有機構造体 配向薄膜 無機材料 多孔質材料
ナノ材料 熱輸送 水回収 水浄化

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/5/16 読売新聞 MOFによる簡便なアルコールセンサー開発に関して
日本セラミックス協会 行事企画委員会 2021/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002389_ja.html



尾島 由紘 (オジマ ヨシヒロ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

微生物を薬剤開発や食品・環境分野へ広く応用する研究に注力。大腸菌や酵母の細胞表層構造の解明と創薬応用、エネルギー生産技術の開発などに取り組む。積極的な学会活動や産学連携を通じて社会実装に向けた研究を進める。

■ キーワード

微生物 有用物質生産 バイオフィルム フロック 外膜小胞 大腸菌 酵母

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/2/14 電気新聞 水素やアンモニアの製造に用いる触媒をパン酵母で作製
日本生物工学会 関西支部 幹事(庶務) 2023/6 - 2025/5

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000027_ja.html



亀尾 肇 (カメオ ハジメ)

理学研究科
准教授

広報ポイント

2025年度の科学技術振興機構(JST)さがけ(材料の創製・循環 北川進総括)に「ケイ素資源の高度循環を実現する結合活性化法の創成」が採択。その課題において、ケイ素資源の高度な循環利用を実現するため、天然資源であるケイ石(SiO_2)から有機ケイ素化合物を効率的に得る手法に加え、廃シリコン、シリカスラグ、稲殻灰など多様な副産物から有機ケイ素化合物へと再資源化する方法論を開拓している。

キーワード

無機化学 有機金属化学 錯体化学



研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002060_ja.html



桑原 卓哉 (クワハラ タクヤ)

工学研究科
講師

広報ポイント

コンピュータシミュレーションを用いて、電子・原子レベルで摩擦界面での潤滑油の化学反応や材料表面の構造転移現象を解明する研究に取り組む。荷重・せん断等の力学的エネルギーを駆使した超潤滑原子構造の自在創成の実現を目指す。2022年度科学技術振興会(JST)戦略的創造研究推進事業「さがけ」の新規研究課題として「メカノケミストリーを活用した2D超潤滑原子構造の自在創成」が採択。

キーワード

表面科学 メカノケミストリー 計算材料学 トライボロジー



メディア掲載、主な委員歴など

2025/11/11 日刊工業新聞 金属とプラスチックが接合するメカニズムを原子レベルで解明

研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001112_ja.html



作田 敦 (サクダ アツシ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

電極活性物質や固体電解質の研究開発に取り組む。全固体電池材料の研究を牽引。量産性の高い合成プロセスで、世界最高のナトリウムイオン伝導性固体電解質の合成に成功。科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞、ガラス分野の国際賞「ゴッタルディ賞」など、多くの受賞歴あり。スタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

キーワード

無機材料化学 正極活性物質 固体電解質 全固体電池 常温加圧焼結
メカノケミカル法



メディア掲載、主な委員歴など

2022/10/17 化学工業日報 安価で資源的に豊富な元素から構成された全固体ナトリウム2次電池向け正極材料を開発

2023/10/13 毎日新聞 コストが課題の全固体電池、日本での積極投資の必要性について提言
日本セラミックス協会関西支部 役員 2019/4 - 継続中

研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002374_ja.html



杉浦 公彦 (スギウラ キミヒコ)

工業高等専門学校
教授

広報ポイント

有機廃棄物を供給すれば直接発電できる燃料電池の開発を行う。これを車に搭載できればデロリアンができることを信じて学生と共に日々研究を行っている。車載ではなく固定型にすれば、ごみ処理をしながら発電可能な分散型電源になり、ごみ収集が不必要となる結果、輸送コスト削減・環境負荷低減につながる。

キーワード

燃料電池 水素製造 CO2分離膜 バイオマス 断熱材



メディア掲載、主な委員歴など

日本機械学会会員 関西支部商議委員
エネルギー技術対策委員会燃料電池部会 学術委員
The Electrochemical Society
環境省CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業における技術開発検討委員会 委員長
Go-tech「バイオガスの高度利用技術の確立を目指したCO2選択透過膜モジュールの高性能化」技術評価アドバイザー
月刊高専(<https://gekkan-kosen.com/5047/>)

研究者情報

https://www.ct.omu.ac.jp/energy_lab/



鈴木 祥仁 (スズキ ヤスヒト)

工学研究科
准教授

広報ポイント

ドイツのマインツ大学で博士号取得後、米国コロラド鉱山大学にてポスドク研究員として繊維強化複合材料の応用研究に従事。現在は、樹脂硬化過程の基礎研究に取り組み、重合後期の高粘度・ガラス化領域で生じる構造不均一性に着目して、トロムスドルフ効果という長年の未解決問題に新たな視点を提示している。分子設計と構造・物性評価を統合し、高分子反応の進行機構の解明と高機能材料の創製を目指す。

■ キーワード

高分子化学 パルク重合 ガラス化 高分子結晶 力学物性

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本接着学会 評議委員・国際交流委員 2024/6 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002418_ja.html

鍋島 美奈子 (ナベシマ ミナコ)

工学研究科
教授

広報ポイント

都市気候・ヒートアイランド対策、緑や風を活かした街づくりに取り組む。大阪府内の街なかクールスポットの効果を計測し、評価方法を提案。街区レベルの熱融通など設備システムの省エネルギー化や、再生可能エネルギー利用の促進のためのシミュレーションも実施。女性研究者支援活動に尽力し貢献。

■ キーワード

ヒートアイランド対策 建物間熱融通 熱源水ネットワーク
低温未利用熱の有効利用 業務施設および農業施設の省エネルギー

■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪府環境審議会専門委員 2022 - 2026/5
東京都地域冷暖房区域指定委員会 2022/4 - 2026/3
大阪府ESCO提案審査会 委員長 2022/4 - 2026/3
大阪市都市計画審議会 委員 2022/8 - 2026/8

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000744_ja.html

東脇 正高 (ヒガシワキ マサタカ)

工学研究科
教授

広報ポイント

酸化ガリウムデバイスの先駆的研究開発。
Clarivate Highly Cited Researcher (クラリベイト 高被引用論文著者)に2021年・2023年・2024年 選出。

■ キーワード

酸化ガリウム 窒化ガリウム 分子線エピタキシー トランジスタ

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/7/5 テレビ朝日「グッドモーニング」 中国のガリウム輸出規制が日本に与える影響について
2024/5/2 電子デバイス産業新聞 2024年度から酸化ガリウム半導体における総務省の新規プロジェクトを開始
電子情報通信学会 電子デバイス(ED)研究専門委員会 専門委員 2013/4 - 継続中
応用物理学会 先進パワー半導体分科会 幹事 2020/4 - 継続中
ワイドギャップ半導体学会 企画主査 2021/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002560_ja.html

山田 亮祐 (ヤマダ リョウスケ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

機械学習や独自に開発した変異導入技術などを用い、酵母をはじめとする多様な微生物の機能を最適化。有用物質の生産性を最大化することで、持続可能な社会の実現を目指す。
令和2年度科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業「さきがけ」の研究課題として「有用物質生産を志向した機械学習支援ゲノムデザイン」が採択。

■ キーワード

生物化学工学 代謝工学 応用微生物学 タンパク質工学 酵素工学 反応工学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/12/2 日刊工業新聞 酵母のストレス耐性強化 有用化合物を効率生産
Young Asian Biological Engineer's Community 運営委員 2014/11 - 継続中
Journal of Bioscience and Bioengineering Editorial board member 2025/6 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002067_ja.html

余越 伸彦 (ヨコシ ノブヒコ)工学研究科
准教授**広報ポイント**

光の持つエネルギー・キラリティ・空間構造・量子性を光の粒(光子)レベルで使い、エレクトロニクス・磁性・化学・光学を有機的に連携させることで、光デバイスの性能のさらなる向上や次世代の高次元量子インターフェースの実現を目指す研究を進める。光誘起力顕微鏡を用いて、単一分子の中で電子が複雑に歪む様子を1ナノメートル(10億分の1メートル)以下の分解能での画像化に世界で初めて成功。

キーワード

光工学 光量子科学 半導体 光物性 原子物理 ナノデバイス

メディア掲載、主な委員歴など

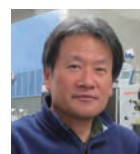
2024/1/26 鉄鋼新聞 単一分子内部の電子の歪みを1ナノメートル以下の分解能で画像化することに世界で初めて成功

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001941_ja.html**秋山 康紀** (アキヤマ コウキ)農学研究科
教授**広報ポイント**

アーバスキュラー菌根菌と植物との共生系における共生制御物質の解明やストリゴラクトン生合成経路の解明をテーマに研究に取り組む。Clarivate Analytics社のHighly Cited Researchers 2024, 2025に選出。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

キーワード

菌根共生 ストリゴラクトン キトオリゴ糖 アーバスキュラー菌根菌

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001502_ja.html**東 泰孝** (アズマ ヤスタカ)獣医学研究科
教授**広報ポイント**

サイトカイン「IL-19」を鍵分子に、免疫・内分泌系の相互作用から炎症制御の新機軸を解明する。臓器連関のバランスを維持し、難治性疾患の進行遅延に繋がる先制的な基礎研究を推進する。

キーワード

インターロイキン-19(IL-19) 臓器連関 免疫内分泌相互作用 炎症制御 MASH・肝炎・肝毒性 炎症性腸疾患 難治性疾患 進行遅延 マクロファージ マウス病態モデル

メディア掲載、主な委員歴など

2017/3 薬事日報 第11847号
一般社団法人予防薬理学研究所 理事長 2023 - 継続中
農林水産省 獣医事審議会専門委員 2023 - 2025

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001761_ja.html**安房田 智司** (アワタ サトシ)理学研究科
教授**広報ポイント**

海や湖での潜水観察や川での調査など、フィールドに出て行う研究に重きを置きながら、水槽実験や遺伝子解析、生理実験などさまざまな手法を取り入れて認知進化生態的研究を行っている。主な研究テーマは、エビとハゼの共生関係、アフリカ・タンガニカ湖シクリッドの協同繁殖、カジカのホヤやカイメンへの卵寄生戦略。

キーワード

認知進化生態学 行動生態学 魚類 繁殖戦略 相利共生 寄生 協同繁殖 子の保護 精子競争 精子進化 雌の父性操作

メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/23 NHK「地球ドラマチック」 魚の知能について監修、2024/2/12 NHK BS「ワイルドライフ」 コブダイの生態についてコメント
2024/7/5 朝日新聞 魚の知能に着目した生態研究について、2024/11/9 読売新聞 佐渡島沿岸域の特徴についてコメント
2025/3/9 日本経済新聞 クマノミが選んだエサの積極的な給餌は、イソギンチャクの成長を支えることを解明
2025/5/5 NHKラジオ第1「ミルクボーイのそれオカンに言うといいて!」 知られざる魚の生態について解説
一般財団法人自然環境研究センター絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 海水魚類分科会 委員 2013/4 - 継続中、日本動物行動学会 事務局長 2023/1 - 継続中、日本魚類学会 理事(学会賞担当) 2025/9 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000063_ja.html

井上 淳 (イノウエ ジュン)理学研究科
教授**広報ポイント**

堆積物中の炭や粉塵等の研究を通して、環境汚染史や人類と自然環境の関係史の解明に取り組む。特に、地質時代における山火事や、人類の火の使用、産業活動での化石燃料使用の歴史を解明し、これらが環境に与えた影響を明らかにする。これらの研究を通して、地質学的視点から人新世の環境的課題への洞察を提供する。

キーワード人新世 環境汚染 堆積物記録 第四紀 気候変動影響 氷期・間氷期 人間活動
微粒炭 球状炭化粒子**メディア掲載、主な委員歴など**

2023/6/11 NHK「NHKスペシャル」 ヒューマンエイジ 人間の時代 球状炭化粒子について
2024/9/9 NHK「クローズアップ現代」 原爆投下直後、広島と長崎に降った放射性物質を含む雨が降った場所を特定する研究について
2025/1/11 読売新聞 神戸市池の堆積物から阪神大震災時に伴う金属元素を検出した研究について
Progress in Earth and Planetary Science Special Issue Guest Editor 2024/11 - 継続中
日本植生学会 評議員 2025/10 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000183_ja.html**居原 秀** (イハラ ヒデシ)創薬科学研究科
教授**広報ポイント**

2025年4月に新設された、本学超硫黄レドックス生命科学研究所の所長を務める。超硫黄分子を基盤とした新規医薬品の開発、治療・予防法の確立、機能性食品の開発など、実用化を目指す。

キーワード超硫黄分子 レドックスシグナル 一酸化窒素 活性酸素 イミダゾールジペプチド
グリア細胞 神経細胞**メディア掲載、主な委員歴など**

日本酸化ストレス学会 理事 2020/05 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001429_ja.html**岩崎 昌子** (イワサキ マサコ)理学研究科
教授**広報ポイント**

大型加速器を用いた素粒子物理実験の研究。茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構(KEK)で行われているSuperKEKB加速器を用いた国際共同実験(Belle II実験)などに携わり、宇宙創成の謎の解明に取り組む。素粒子物理実験に機械学習(AI)を本格導入した先駆的研究を推進。大阪大学核物理研究センター、東京大学素粒子物理国際研究センターにおいても共同研究を推進。

キーワード

素粒子実験 加速器 機械学習

メディア掲載、主な委員歴など

一般社団法人 日本物理学会 ダイバーシティ推進委員会 委員 2022/4 - 2026/3
大阪大学 核物理研究センター 特任教授(クロスアポイントメント) 2023/9 - 継続中
東京大学 素粒子物理国際研究センター 客員教授 2024/4 - 2026/3
一般社団法人 日本物理学会 理事 2026/4 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000714_ja.html**上田 昇平** (ウエダ ショウヘイ)農学研究科
准教授**広報ポイント**

昆虫類の系統分類学的研究。昆虫類・小動物の生物地理学的研究。昆虫類・小動物とその生息場所の保全生物学的研究。害虫・有害動物の管理、外来種問題。

キーワード

動物生態学 進化生物学 保全生物学 絶滅危惧種 外来生物 種間関係

メディア掲載、主な委員歴など

堺市生物多様性ネットワーク会議委員会 委員 2019/4 - 継続中
大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会 委員 2021/4 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002348_ja.html

植山 雅仁 (ウエヤマ マサヒト)

農学研究科
准教授

広報ポイント

陸域生態系における炭素循環の解明のため、アラスカの森林やアジア各地においてCO₂やメタンを測定し、炭素の吸収・放出の評価を行う。また、都市域のメタン・エタンを移動観測と定点観測で測定し、排出地点および起源を高精度に推定する研究を進めている。

■ キーワード

リモートセンシング 北方林 土地被覆変化 大気境界層 微気象 温室効果ガス 生態系モデル 都市気候

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/11/13 読売新聞 温暖化がアラスカ州永久凍土の森林へ与える影響についてCO₂放出・吸収量の推移を20年間観測
2025/2/25 産経新聞「明解! 公大ゼミ」で解説:「ツンドラ」の雪解けについて
2025/8/22 日刊工業新聞・電気新聞 アジア地域初となる陸域生態系によるCO₂吸収動態を明らかにする大規模基盤データセット「JapanFlux2024」構築について
AsiaFlux SSC 2018/1 - 継続中、日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP合同分科会 iLEAPS小委員会 委員2018/4 - 継続中、JapanFlux 副委員長 2024/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001889_ja.html


遠藤 徹 (エンドウ トオル)

工学研究科
准教授

広報ポイント

都市沿岸域における環境モニタリングおよび生態系機能を活用した自然再生の在り方に関する研究を専門とする。大阪湾におけるブルーカーボン機能の実態把握やネイチャーポジティブの展開に関する研究のほか、大阪南港野鳥園人工湿地の生態系サービスや大和川におけるアユの生活史や自然再生フンドに関する研究経験を有する。

■ キーワード

沿岸環境工学 環境生態工学 環境動態解析 自然再生

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/7/1 NHK「かんさい熱視線」 関西国際空港の空港島に造成されている藻場について生態学的な知見から解説
国土交通省近畿地方整備局 近畿管内における中長期での環境再生に関する技術検討 2023 - 継続中
国土交通省近畿地方整備局 大和川の河川環境保全モニター 2023/4 - 2025/3
国土交通省近畿地方整備局 大阪湾におけるモニタリングに関する検討会 2023/9 - 2024/2

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000807_ja.html


大塚 耕司 (オオツカ コウジ)

現代システム科学研究科
教授

広報ポイント

主に大阪湾をフィールドに、閉鎖性海域の環境修復技術に関する研究・海陸一体型バイオマス有効利用システムに関する研究などに携わる。

■ キーワード

海洋資源工学 海洋環境学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/5/24 日刊水産経済新聞 第1回ブルーエコノミー日本サミットにて、阪南市で取り組んできた大阪湾での活動について講演
海洋深層水利用学会 会長 2020/5 - 継続中
生態系工学研究会 会長 2020/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001317_ja.html


小口 理一 (オグチ リイチ)

理学研究科
准教授

広報ポイント

植物がそれぞれの環境で効率よく光合成・成長を行うためのさまざまな性質の変化を研究。葉の解剖学的性質と順化能力の関係や、光阻害、二酸化炭素濃度上昇・温暖化に対する植物の応答などが研究テーマ。

■ キーワード

植物生理生態学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/5/31 化学工業日報 同一種内の遺伝的変異の解析から、高濃度の二酸化炭素環境下で植物の成長促進に関連する遺伝子を発見
2025/9/20 読売新聞 本学附属植物園にて開催の「樹林型観察会」で解説を担当
日本植物学会 JPR Editorial Board Member 2020 - 継続中
日本光合成学会 常任幹事 2023/6 - 継続中
日本光合成学会「光合成研究」編集委員長 2025/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002530_ja.html


奥野 充 (オクノ ミツル)理学研究科
教授**広報ポイント**

アリューシャン列島からフィリピン、インドネシアにかけて地質学・地形学・年代学による噴火史・自然災害科学の研究を展開。2025年7月23日、大阪・関西万博のイタリア館で日本における火山災害のリスクと防災・減災の取り組みについて講演。

キーワード

テフラ層序 放射性炭素年代 火山地形・地質

メディア掲載、主な委員歴など

2025/7/6 島嶼環境史学への招待－アーカイブからひもとく災害レジリエンス－
編著:奥野 充・遠田晋次・三浦大助・山田和芳・早川宗志・宝田晋治・清杉孝司・藤木利之・柴畑光博(近未来社)
原子力規制委員会原子炉安全専門審査会・核燃料安全専門審査会火山部会 臨時委員

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002557_ja.html**木全 卓** (キマタ タカシ)農学研究科
准教授**広報ポイント**

地盤や土構造物を対象に、土の理工学的な性質を実験により解明する研究を進めている。具体的には、ため池やダムに使われる築堤材料の検討のほか、温室等に適した小型基礎の開発、リサイクル地盤材料の力学特性の解明など、農学の立場から地盤工学に関わる研究に取り組む。

キーワード

土質力学 材料施工 農業用施設の開発・防災・維持管理

メディア掲載、主な委員歴など

堺市公共事業評価監視委員会委員 2024/4 - 2026/3
農業農村工学会 令和7年度農業用ダム保全管理研究会委員 2025/10 - 2026/3

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001424_ja.html**黒田 桂菜** (クロダ カナ)現代システム科学研究科
准教授**広報ポイント**

活用されていない海のバイオマスから地産地消のエネルギーを作り出す研究。魚食や漁村の活性化などにも取り組む。

キーワード

海洋環境再生 漁業・魚食の活性化

メディア掲載、主な委員歴など

2022/8/5 ソトコト9月号 環境負荷に配慮した商品を手がけるサラヤの広報部長と、消費者の行動や意識の変容について対談
大阪府立環境農林水産総合研究所評価委員会 委員 2023/4 - 継続中
環境省近畿環境パートナーシップオフィスにおけるアドバイザー委員 2024/5 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002062_ja.html**小泉 望** (コイズミ ノゾム)農学研究科
教授**広報ポイント**

遺伝子組換え技術やゲノム編集技術を活用し、ナス果実の性質の改良を進めている。バイオテクノロジー食品のサイエンスコミュニケーション、リスクコミュニケーションの研究にも長年従事している。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

キーワード

バイオテクノロジー食品 遺伝子組換え ゲノム編集 ナス サイエンスコミュニケーション リスクコミュニケーション

メディア掲載、主な委員歴など

一般社団法人日本植物バイオテクノロジー学会 会長 2020 - 2021年度

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001850_ja.html

後藤 慎介 (ゴトウ シンスケ)

理学研究科
教授

広報ポイント

昆虫類が環境に適応するしくみを研究。2022年日本応用動物昆虫学会学会賞受賞。本学女子STEAM人材育成研究所副所長。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

昆虫 光周性 休眠 低温耐性 季節適応

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/5/26 朝日放送ラジオ「おはようパーソナリティ 小縣裕介です」 万博会場で発生しているユスリカと対策について

株式会社ニューサイエンス社 月刊「昆虫と自然」 編集委員 2023/8 - 2025/7

日本昆虫学会 副会長 2024/9 - 2026/9

日本比較生理生化学会 評議員 2026/1 - 2027/12

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000328_ja.html

小柳 光正 (コヤナギ ミツマサ)

理学研究科
教授

広報ポイント

動物の光感覚の進化や多様性を研究。視覚以外にも光や色を感じて何かに利用しているのではないかと疑問をDNAやタンパク質の解析からアプローチ。光受容タンパク質を応用した生命活動の光操作にも研究を展開。2017年度第14回日本学術振興会賞受賞。

■ キーワード

光生物学 進化 光遺伝学 眼外光受容 光受容体 GPCR 感覚 光感覚 視覚 色覚

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/4/5 日本経済新聞 ジンベエザメ特有の光を活用する視覚のしくみを解明

日本比較生理生化学会 評議員 2017 - 継続中

日本動物学会 理事 2024 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000074_ja.html

古山 敬祐 (コヤマ ケイスケ)

獣医学研究科
准教授

広報ポイント

ウシの受胎性・繁殖性向上に向けた研究を展開。個別培養系による卵子・受精卵の体外培養に機械学習と画像解析を組み合わせた新たな培養体系の構築を目指す。また、牛群検定成績を活用したウシの受胎率予測システムの開発を推進。

■ キーワード

牛 臨床繁殖学 卵子 受精卵 成熟培養 体外受精 発生培養 個別培養系 卵巣予備能 受胎率予測 機械学習 深層学習 画像解析 授精適期 定時人工授精

■ メディア掲載、主な委員歴など

2018/11/10 北海道新聞(オホーツク版) 講演内容について

日本繁殖生物学会プログラム委員、獣医学術近畿地区学会幹事、日本胚移植技術研究会ブロック幹事

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002448_ja.html

近藤 友宏 (コンドウ トモヒロ)

獣医学研究科
講師

広報ポイント

自治体が設置する動物愛護に関する推進会議等で委員を多数務め、引き取り手がいない動物を預かる動物ボランティアなど動物愛護についての検討に携わる。

■ キーワード

実験動物学 動物愛護

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/5/29 日本経済新聞 シニア世代が飼い主のいない犬や猫などの動物を預かり飼育する際の注意点について

寝屋川市動物愛護推進協議会 委員 2020/4 - 継続中

大阪市動物愛護推進会議 委員 2023/4 - 2025/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002002_ja.html

坂田 賢 (サカタ サトシ)農学研究科
教授**広報ポイント**

農業土木学・農村計画学の分野において、水の管理、気候変動適応、農地の生産性維持に関する研究を行っている。読売新聞大阪本社と本学がタイアップし実施している小学生を対象とした農業探究プログラム『探Qみらいファーム』において教員スタッフを務める。

キーワード

水温 Society5.0 スマート農業 ICT 情報通信技術 水稻 地球温暖化
農業工学 農業農村工学 気候変動 排水 灌漑 イネ 稲 農業 水田 水管理
農業水利 灌漑排水 農業土木 water managemet drainage irrigation

**メディア掲載、主な委員歴など**

2025/2/20 読売新聞 読売新聞と本学が実施した「探Qみらいファーム」の活動についてインタビュー
2025/3/25 産経新聞「明解!公大ゼミ」で解説:日本人の食の根幹である米を守るのに必要な対策について

研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002820_ja.html

**Jihyun Kim** (ジヒョン キム)理学研究科
准教授**広報ポイント**

超高エネルギー宇宙線の研究。到来方向の分布やエネルギースペクトルの特徴を解析することで、超高エネルギー宇宙線の性質や起源の解明に取り組む。米国ユタ州での超高エネルギー宇宙線を高精度で検出するためのテレスコープ・アレイ (Telescope Array) 実験に携わる。ユタ大学理学部シニア・リサーチ・アソシエイトを経て現職。

キーワード

High Energy Astrophysics Multi-messenger Astrophysics
Cosmic Ray Astrophysics

**研究者情報**

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003140_ja.html

**相馬 明郎** (ソウマ アキオ)工学研究科
教授**広報ポイント**

沿岸生態系の再生と気候変動緩和を統合的に扱う生態系モデリング研究を推進。理論構築から政策提言・社会実装までを射程に入れた研究を展開し、産学官連携を通じて持続可能な都市・海域の未来像を描く。都市科学教育研究センター長として、環境保全と経済発展を両立する「SDGs型都市」の実現を牽引している。民間シンクタンクで研究主幹を務めた経験を活かし、政策形成・事業設計の実践知を備える。

キーワード

沿岸生態系再生 ブルーカーボン 気候変動緩和 生物多様性保全
社会・自然生態システムの統合モデリング

**メディア掲載、主な委員歴など**

朝日新聞・日経CNBC出演
海洋理工学会理事
ジャパンプルーエコノミー技術研究組合プロジェクトメンバー
瀬戸内海研究フォーラム企画委員などを歴任

研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000938_ja.html

**立花 太郎** (タチバナ タロウ)工学研究科(兼担:創薬科学研究科)
教授**広報ポイント**

ゲノム編集技術などの高度な生命工学手法を駆使し、高性能な抗体を高効率に作製する技術の開発が主な研究テーマ。さらに、特定の幹細胞や分化細胞特異的抗原など多様なターゲットに対する抗体作製と、それら抗体のユニークな利用法に関する応用研究を推進している。これらの研究を通じて、次世代の創薬研究への展開を目指している。

キーワード

ライフサイエンス 細胞生物学 分子細胞生物学 抗体医薬品 モノクローナル抗体

**研究者情報**

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000695_ja.html



千葉 知世 (チバトモヨ)

現代システム科学研究科
准教授

広報ポイント

海洋ごみ、地下水を中心とする水資源リスク等の環境問題について、政策やガバナンスの視座から研究。非営利組織(NPO)を設立し、大阪湾の無人島に流れ着く海洋ごみの研究に取り組む。環境省や京都市など自治体の会議で委員を歴任。

■ キーワード

環境政策 海洋プラスチック 海岸漂着ごみ 水環境 地下水ガバナンス



■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/11/15 読売新聞 自身が取り組む海洋ごみ問題の研究についてのインタビュー
東京都環境局地下水対策検討委員会 委員 2020/4 - 継続中
京都市環境審議会 委員 2023/7 - 継続中
大阪府環境審議会 委員 2024/10 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002467_ja.html


寺北 明久 (テラキタ アキヒサ)

副学長(学術研究、研究公正)
理学研究科
教授

広報ポイント

さまざまな動物を対象とし、視覚や視覚以外の光受容について研究し、発見を光遺伝学に応用。令和5年度春の紫綬褒章受章。
2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある研究者トップ2%」に選出。

■ キーワード

視覚 非視覚 光受容 視物質 ロドプシン 光生物 Gタンパク質共役受容体 光感覚



■ メディア掲載、主な委員歴など

日本学術会議 連携委員 2017/10 - 継続中
日本比較生理生化学会 会長 2022/1 - 2023/12
日本動物学会 会長 2022/9 - 2024/9
国際生物学賞委員会 委員(幹事) 2023/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000259_ja.html


中谷 直樹 (ナカタニ ナオキ)

工学研究科
教授

広報ポイント

海洋環境工学を専門とし、海洋環境を次世代に継承するために、地道な環境の計測、将来予測のためのシミュレーション、それらを施策に生かすための手法などを研究。温室効果ガス削減のために開発が進んでいるゼロエミッション船の評価について企業と共同研究を進めるなど、海と人類が調和・共生するための研究に取り組む。

■ キーワード

海域環境モニタリング 海洋環境計測 海洋生態系工学 生態系モデル 海洋資源工学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/17 日本海事新聞 本学の海洋科学技術センターによる次世代船舶開発のための基礎要素技術に関する企業との共同研究について、キックオフミーティングに出席
2025/8/28 日本海事新聞 【テクノオーシャン2025実行委員長に聞く】大阪公立大学工学研究科教授・中谷直樹氏、海と人の共栄目指す場へ
堺市 生物多様性ネットワーク会議委員 2021/4 - 継続中
堺市 堺市環境影響評価審査会会長 2022/4 - 2023/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001601_ja.html


名波 哲 (ナナミ サトシ)

理学研究科
教授

広報ポイント

植物集団の動態研究に雌雄異株性を組み込み、植物の雌雄異株性の新たな評価を模索。本学附属植物園の園長として、絶滅危惧種の保全や生物多様性について広く啓蒙。産学官民共創による都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクトの代表として、グリーンインフラを活用した持続可能な都市環境の創成に取り組む。

■ キーワード

森林生態学 森林樹木 性表現 温帯林 集団維持機構 生物間相互作用



■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/6/6 毎日新聞 国連「生物多様性の日」にあわせた本学附属植物園のイベントでの解説
2024/9/14 J:COM「ジモトトピックス」本学附属植物園で開催した「熱帯植物観察会」について
2025/5/20 関西テレビ「旬感LIVE とれたてっ!」「アツミゲシ」について解説
交野市山地対策協議会 委員 2023/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000317_ja.html


長谷川 貴史 (ハセガワ タカシ)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

獣医学部附属獣医臨床センター医員兼務(眼科診療科、神経・整形外科診療科)。動物の眼の病気について診断や治療法の研究。神戸市立王子動物園のパンダ「タンタン」の治療にも関わる。超音波生体顕微鏡(UBM)を用いた眼科疾患の画像診断、スクワラン点眼液を用いたドライアイ・角膜障害眼への臨床応用法に関する治験に携わる。

■ キーワード

獣医眼科学 獣医整形外科 神経外科学 獣医外科学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2020/12 NHK ごろごろパンダ日記 ～タンタンと飼育員の日々～

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001717_ja.html


畑中 律敏 (ハタナカ ノリトシ)

獣医学研究科
准教授

広報ポイント

食中毒の制御、病原体の不活化、病原体の迅速検出法の構築および病原細菌が持つ毒素を分子レベルで解明する研究に従事。特にカンピロバクターに関する研究を中心に取り組んでおり、本学大阪国際感染症研究センターに研究員として所属し、人獣共通感染症の研究も進めている。

■ キーワード

食中毒 人獣共通感染症 Campylobacter



■ メディア掲載、主な委員歴など

毒素シンポジウム 委員長指名委員 2023 - 継続中
日本カンピロバクター研究会 運営委員 2025 - 継続中
日本食品微生物学会 評議員 2026 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002508_ja.html


鳩谷 晋吾 (ハタヤ シンゴ)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

獣医療で再生医療を実現するための研究に従事し、世界に先駆けてイヌやネコのES細胞、iPS細胞の樹立に成功。獣医学部附属獣医臨床センターでは、獣医師として内科・消化器科で診療を担当。日々、犬や猫の病気の診断・治療に当たり、獣医学部の学生教育に従事している。

■ キーワード

応用獣医学 臨床獣医学 iPS細胞 再生医療



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/12/28 読売新聞 世界初イヌの尿由来細胞からのiPS細胞安定作製に成功
2024/5/13 読売新聞 飼い主が求めるペットの治療の高度化についてコメント
2024/9/20 日本経済新聞 世界初、遺伝子挿入がなく高品質なネコiPS細胞の安定作製に成功
2024/12/13 読売新聞 世界初、去勢・避妊手術で廃棄される精子や卵子を用いて、高品質なネコES細胞を作製
2025/2/22 世界初、遺伝子挿入がなく高品質なネコiPS細胞の安定作製と去勢・避妊手術で廃棄される精子や卵子を用いて、高品質なネコES細胞を作製
一般社団法人日本獣医再生医療学会 理事 2021/2 - 継続中
公益社団法人日本獣医学会 評議委員 2021/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001853_ja.html


平井 規央 (ヒライ ノリオ)

農学研究科
教授

広報ポイント

チョウ類を中心とした昆虫や小動物(昆虫、魚類、両生類など)の保全に関する研究。中百舌鳥キャンパス内の池で、新種の水生寄生バチを発見。行政機関と連携した会議やシンポジウムへの参加多数。

■ キーワード

昆虫生理・生態学 保全生物学 Insect Ecology



■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/6/17 朝日新聞 新種ゴジラコマユバチの発見について
2023/6/11 読売新聞 外来魚が他の生物に与える影響について
2023/12/30 NHKBS「躍動する大自然奇跡の絶景ストーリー イナガキヤスト“天空の水鏡”を撮る」ヤシャゲンゴロウについて解説
2024/9/3 テレビ大阪「やさしいニュース」 スズメバチの生態について
2025/6/23 日本食糧新聞 上賀茂神社で開催された神山湧水珈琲会体験イベントに先立ち、京都の地元学生とともに境内を流れる「ならの小川」の環境整備を実施

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001537_ja.html


藤井 俊博 (フジトシヒロ)

理学研究科
准教授

広報ポイント

2021年、観測史上最大規模のエネルギーを持つ宇宙線を発見し「アマテラス粒子」と命名。論文は米・サイエンス誌に掲載された。2024年第42回大阪科学賞受賞。

■ キーワード

宇宙線 極高エネルギー 空気シャワー 銀河団 超新星爆発 超新星残骸 起源 異方性 活動銀河核 天文学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/3/29 朝日新聞 テレスコープアレイ実験史上最大のエネルギーをもつ宇宙線を検出
2023/10/13 NHKニュース「おはよう日本」 宇宙から降り注ぐ「宇宙線」空気シャワーの可視化に成功
2024/10/28 NHKラジオ第一「関西ラジオワイド」、
2025/1/4 NHKラジオ「ラジオ深夜便」 テレスコープアレイ実験史上最大のエネルギーをもつ宇宙線について
2025/7/17 『宇宙線のひみつ「宇宙最強のエネルギー」の謎を追って』(講談社ブルーバックス)
2025/7/29 産経新聞 「明解! 公大ゼミ」で解説: 絶えず降り注ぐ「宇宙線」の影響について
2025/12/17 BSテレ東「いまからサイエンス」 宇宙線研究の最前線について解説

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002534_ja.html

古家 優 (フルヤ マサル)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

伴侶動物の急速な高齢化により増加した腫瘍性疾患、難治性の自己免疫疾患や消化器疾患を対象に研究。海遊館と共同で、伴侶動物以外のCT検査に関する研究も進めている。

■ キーワード

獣医腫瘍学 腫瘍免疫 獣医内科学

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本獣医学会 評議委員 2023/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001919_ja.html

細見 晃司 (ホソミ コウジ)

獣医学研究科
准教授

広報ポイント

カンピロバクターなどの消化器感染症を中心とする病原細菌の病態形成や宿主免疫応答などの基礎研究に従事。さらに、ワクチンや創薬など感染症制御に向けた応用研究も行う。腸内細菌を中心とするマイクロバイオームの機能や宿主との相互作用の解明、畜産や小動物臨床への応用に向けた研究も推進。

■ キーワード

感染症制御 獣医衛生学 細菌性消化器感染症 腸内細菌

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002943_ja.html

堀江 真行 (ホリエ マサユキ)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

さまざまな生物や環境におけるウイルスの多様性や進化を研究。私たち真核生物のゲノムに埋め込まれたウイルス由来の配列を用いて、古代のウイルスの多様性や長期的な進化、さらにはウイルスと宿主の共進化の解明も目指している。本学大阪国際感染症研究センターの新興・再興感染症部門にて部門長を兼任。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

ウイルス叢 ウイルス多様性 ウイルス進化 古代ウイルス ウイルス宿主共進化

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/1/22 日本経済新聞 九州地方の高温酸性の温泉で発見された新RNAウイルスについて
日本ウイルス学会 評議委員 2022 - 継続中
日本獣医学会 評議委員 2023 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002486_ja.html

松尾 薫 (マツオ カオル)

農学研究科
准教授

広報ポイント

気候変動による都市の高温化や豪雨の頻発、人口減少による空き地の増加に対応するため、都市内の低未利用地を緑地として保全・整備する計画手法の研究に取り組む。

■ キーワード

緑地計画 気候変動 都市高温化 都市型豪雨 海風 土地利用
人口減少 WRF GIS



■ メディア掲載、主な委員歴など

国土交通省、令和4年度ESG不動産投資と都市の緑の価値に関する意見交換会 委員
2022/10 - 2023/3
桃山公園及び江坂公園 公園協議会委員 2024/4 - 継続中
芦屋市、芦屋市景観アドバイザー 2024/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002433_ja.html



三浦 大助 (ミウラ ダイスケ)

理学研究科
教授

広報ポイント

自然災害科学研究室にて、巨大噴火プロセスや火山災害の予測をテーマに研究。減災への貢献、災害対応の現場で活躍できる人材の育成を目指している。

■ キーワード

火山学 地質学 カルデラ テクトニクス 活断層



(C)ECORD/J-DESC/JAMSTEC

■ メディア掲載、主な委員歴など

和歌山県立自然博物館 和歌山県立自然博物館協議会委員、
および同評価部会委員 2018/4 - 継続中
南紀熊野ジオパーク推進協議会 南紀熊野ジオパーク推進協議会学術専門委員会 委員 2019/4 - 継続中
文部科学省研究開発局 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第2次)に関する外部評価委員会」委員 2021 - 2022/7

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002392_ja.html



三浦 夏子 (ミウラ ナツコ)

農学研究科
准教授

広報ポイント

酵素集合体の解析と利用が専門。低酸素下で、解糖系を含む20以上の代謝酵素が酵母細胞内で集合し、糖代謝が上昇することを世界で初めて発見し、酵素集合体の人為的な形成と制御へと展開している。サンゴ共生菌をはじめとする海洋由来の有用物質生産菌のスクリーニングも行っている。

■ キーワード

低酸素 解糖系酵素 META body G-body サンゴ共生微生物 *Saccharomyces cerevisiae* 微生物スクリーニング 微生物生産 Moonlightingタンパク質



■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002421_ja.html



水谷 聡 (ミズタニ サトシ)

工学研究科
教授

広報ポイント

ごみの適正管理と有効利用に伴う環境影響評価について研究。大手メディアにてコメント多数。

■ キーワード

都市ごみ焼却灰 鉄鋼スラグ 有害廃棄物 廃棄物管理 溶出試験 環境安全品質 化学物質管理 ごみ箱管理



■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/10/25 日本経済新聞 観光地で広がるゴミ箱の再設置の動きについて
2023/11 NHK広島 どうする観光地・宮島のごみ 食べ歩きが広がる裏側で
2023/12/4 テレビ朝日「ワイド!スクランブル」 大阪でゴミ箱が少ない理由と、ゴミを減らすための対策について
環境省産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法に係る検討業務 委員長 2021/10 - 継続中
大阪市環境局大阪PCB廃棄物処理事業監視部会有識者 2023/3 - 継続中
大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会 委員 2024/11 - 継続中
京都市廃棄物減量等推進審議会 次期クリーンセンター整備等検討部会委員 2025/1 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000876_ja.html



望月 知史 (モチヅキ トモフミ)

農学研究科
准教授

広報ポイント

病原ウイルスに感染した植物が病気になる仕組みを明らかにする基礎研究に従事。ウイルスゲノムのデザインによる病原性制御や高効率ベクターの開発を通じて、農作物・園芸作物の改良に役立てる技術に関する研究にも取り組む。本学大阪国際感染症研究センターにも研究員として所属。産学官民共創による都市シンクタンク機能を駆動させるプロジェクトとして『植物由来タンパク質を用いた感染症対策プラットフォームの構築』を目指す。

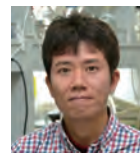
■ キーワード

植物ウイルス学 植物病理学 Plant Virology Plant Pathology

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本植物病理学会 病名委員 2017/5 - 継続中
日本植物病理学会 植物ウイルス分類委員会 2017/5 - 継続中
Frontiers in Microbiology Associate Editor 2022/6 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001887_ja.html


安木 真世 (ヤスギ マヨ)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

狂犬病、薬剤耐性感染症、COVID-19、エムボックスなど新興再興を含めた人獣共通感染症の制圧に資する基礎研究を行っている。COVID-19発生時には消毒効果の検証や治療法の開発で企業との共同研究に多数携わった。

■ キーワード

人獣共通感染症 細菌 ウイルス ワンヘルス 伴侶動物

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/12/13 産経新聞 狂犬病予防、消えゆく「集合注射」コロナ禍で見直し・獣医師ら批判
2022/4/29 産経新聞 ウクライナ避難民が帯同するペットの狂犬病対策について
2023/2/22 ナノイー(帯電微粒子水)技術に関するメディアラウンドテーブル
2023/3/22 化学工業日報 コリスチンとセファロsporin 飼育犬から耐性大腸菌
獣医学術近畿地区学会 運営委員 2015 - 継続中
農林水産省獣医事審議会 専門委員 2022 - 2024 大阪府狂犬病等感染症対策委員会 運営委員
2022 - 継続中 日本獣医学会 評議委員 2023 - 継続中
厚生労働省薬事審議会 専門委員 2025 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002036_ja.html


山岸 則夫 (ヤマギシ ノリオ)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

動物疾患の早期診断に直結するバイオマーカーの探索や、牛のカルシウム・骨代謝性疾患に関する臨床化学研究を展開。研究成果を現場に還元する臨床獣医師として、現場で実践可能で低侵襲な子牛の外科疾患治療や、乳牛の周産期病における早期発見・予防システムの構築に尽力。基礎研究から臨床応用までを一貫して行い、産業動物の健康と生産性の向上に寄与しています。

■ キーワード

臨床獣医学(Veterinary Clinical Science) 牛疾病学(Bovine Medicine)
生産獣医療(Veterinary Population Medicine) 反芻動物(Ruminants)

■ メディア掲載、主な委員歴など

NPO法人獣医系大学間獣医学教育支援機構 幹事及び共用試験センター長 2023/10 - 継続中
家畜衛生推進対策協議会:育成・確保支援検討会委員 2024 - 継続中
日本獣医師会:アジア地域臨床獣医師等総合研修及び家畜感染症防疫技術等の現地普及強化事業に係る事業推進委員 2024 - 継続中
中央畜産会:獣医師養成確保修学金給付事業 企画推進委員会委員 2024/4 - 継続中

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002484_ja.html
②<https://www.researchgate.net/profile/Norio-Yamagishi>



山崎 伸二 (ヤマサキ シンジ)

獣医学研究科
教授

広報ポイント

下水サーベイランス、空間除菌、食中毒細菌、人獣共通感染症や薬剤耐性菌の研究など感染症対策に取り組む。
本学大阪国際感染症研究センター副センター長として、国内初の関西国際空港の下水を分析し感染症流行予測をする研究に携わる。

■ キーワード

人獣共通感染症 食中毒細菌 O157 腸管出血性大腸菌
エシェリキアアルパーティ カンピロバクター コレラ スパイス
細胞膨化致死毒素 薬剤耐性 下水疫学(関連する産業分野)医薬品 消毒薬

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/11/2 読売新聞 関西空港の下水を分析し海外から流入する感染症を検知する研究について
2025/4/7 奈良新聞 昨年10月から開始された関西空港の下水を分析し海外から流入する感染症を検知する研究について
AMED新興・再興感染症研究基盤創生事業 プログラムオフィサー 2017/3 - 継続中
日本食品微生物学会 理事長 2026/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001630_ja.html


横井 修司 (ヨコイ シュウジ)農学研究科
教授**広報ポイント**

植物栽培の場所や時期を拡大し食料生産増大に貢献するため、植物の相転移(生長段階の移り変わりや次世代への記憶)について研究。持続可能な都市農業を提唱。
読売新聞大阪本社と本学がタイアップし実施している小学生を対象とした農業探究プログラム『探Qみらいファーム』において代表教員を務める。

キーワード

植物育種学 遺伝育種科学 Urban Farming(都市農業) 植物相転移

メディア掲載、主な委員歴など

2022/6/7 関西テレビ「やすとも・友近のキメツケ!」 とうもろこしの粒の数が偶数になることについてのコメント

2025/1/1 毎日放送「よんちゃんTV正月SP」 本学のスマートグリーンハウスによる最新農業の紹介

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002331_ja.html**生田 英輔** (イクタ エイスケ)都市科学・防災研究センター
現代システム科学研究科
教授**広報ポイント**

災害時に安全な居住環境を実現するため、住宅からコミュニティを対象に、居住者目線での研究を行う。最近では研究成果の社会実装として、防災教育や防災人材育成にも力を入れている。大手メディア出演多数。

キーワードコミュニティ防災 住居防災 人的被害 防災教育 防災人材
津波避難 地区防災計画 日常災害 火災**メディア掲載、主な委員歴など**

2022/3/13 NHK「おはよう日本」 南海トラフ巨大地震発生時に想定される梅田地下街からの避難者受け入れや、行政の役割についてコメント

2024/4/20 読売新聞 豊中市立第一中学校で、地域全体の防災力向上を目的とし取り組む「防災マップ作り」活動について

2025/1/14 産経新聞 「明解!公大ゼミ」で解説:巨大地震への備えについて

2025/7/31 産経新聞 ロシア・カムチャツカ半島付近で起きた巨大地震による津波注意報発表時における行政の対応についてコメント

2025/7/31 NHK「ニュース845」 津波警報時における自動車での避難行動についてコメント

大阪市住吉区防災専門会議 委員長 2012/8 - 継続中

一般社団法人地域安全学会 東日本大震災特別委員会 委員長 2023 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000547_ja.html**重松 孝昌** (シゲマツ タカアキ)副学長
(社会貢献戦略、未来社会創成、都市シンクタンク戦略)**広報ポイント**

港湾海域の環境修復に資する技術について研究。都市域における複合水災害と防災・減災に関する研究、波力発電システムの開発・研究などに携わる。

キーワード

都市防災工学 内湾環境工学 波力発電 固液混相流

メディア掲載、主な委員歴など

2024/3/12 北海道新聞 津波被害の安全確保に有効な「津波救命艇」や「シェルター」について

神戸港における生物共生方策検討会 座長 2021/5 - 継続中

大阪府大阪湾沿岸海岸保全基本計画審議会 委員 2023/11 - 継続中

一般財団法人災害科学研究所 理事 2024/6 - 継続中

丹後沿岸海岸保全基本計画検討委員会 委員 2024/6 - 継続中

特定非営利活動法人生育環境研究開発機構 理事長 2025/6 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000548_ja.html**菅野 拓** (スガノ タク)文学研究科
准教授**広報ポイント**

人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策の専門家で「災害ケースマネジメント」の第一人者。各地で開催される防災関連のシンポジウム、講演会、研修会等への登壇多数。

キーワード人文地理学 都市社会地理学 NPO サードセクター 市民協働 公民連携
復興政策 災害対応 被災者生活再建支援 災害ケースマネジメント**メディア掲載、主な委員歴など**

2025/3/4 NHK「かんさい熱視線」自治体・民間の災害対応について

2025/5/28 NHK「ニュース7」改正災害救助法について

2025/12/26 朝日新聞 みなし仮設における被災者支援の課題についてコメント

厚生労働省・内閣府 医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループ 参考人 2019/8 - 継続中

内閣府 被災者支援のあり方検討会 委員 2022/5 - 継続中

内閣府避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会 2023/7 - 継続中

石川県 令和6年能登半島地震対策検証委員会 委員 2024/10 - 継続中

内閣官房 防災庁設置準備アドバイザー会議 専門委員 2025/1 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001077_ja.html

中條 壮大 (ナカジョウ ソウタ)

工学研究科
准教授

広報ポイント

海岸工学を中心に台風災害(強風、高潮、高波、豪雨)、気象津波など沿岸の災害リスク評価に取り組む。災害頻度の推定や気候変動をふまえた今後起こりうる災害の特徴を予測する。また、砂浜のモニタリング、海岸構造物周辺の流れの研究など基礎的物理に関する研究を進める。産学官共創プロジェクトでは海の再生可能エネルギー事業化支援グループの設立に取り組む。

■ キーワード

高潮 異常潮位 気象津波 台風 高波 豪雨 海流 気候変動 多孔質体
乱流 画像解析 砂浜モニタリング

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/9/9 産経新聞「明解!公大ゼミ」で解説:台風の進路予測とその対策について
土木学会 海洋開発委員会 委員兼幹事 2015/4 - 継続中
文部科学省 学術調査官 2023/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000796_ja.html



防災



栗屋 智就 (アワヤト モナリ)

医学研究科
教授

広報ポイント

医学部学生への解剖学教育とともに、小児科医としての臨床経験を基盤として、iPS細胞やゲノム編集技術を用いた遺伝性希少疾患の病態理解と治療開発に取り組んでいる。RNAを標的とした創薬研究を推進中。

■ キーワード

解剖学 発生学 遺伝学 小児 小児神経 先天異常 iPS細胞 RNA創薬
再生医療 病児保育 ジェンダー

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100003203_ja.html



医療



石沢 武彰 (イシザワ タケアキ)

医学研究科
教授

広報ポイント

「がんや生体構造を手術中に光らせる技術(蛍光ガイド手術)」の開発をライフワークとして活動。同領域の世界的トップランナーとして治療用蛍光プローブの開発も推進。ロボット支援肝切除・膵切除の指導医として全国を訪問し、安全な技術の普及に注力している。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。2026年4月からは「無侵襲」肝がん治療「Histotripsy」の日本初導入に取り組んでいる。

■ キーワード

蛍光ナビゲーション手術 肝胆膵外科 内視鏡外科 ロボット支援手術 癌分子標識

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/1/26 NHK「チョイス@病気になったとき」肝臓がんの予防と最新治療法について
2025/1/30 ABCラジオ「おはようパーソナリティ小縣裕介です」肝臓がんの手術方法と肝胆膵がん診療の特徴などについて
2025/6/27 読売新聞 膵臓がん摘出における蛍光イメージング手術についてコメント
2025/12/15~17 NHK Eテレ「きょうの健康」肝臓がんと肝転移について早期発見・徹底治療をテーマに解説
著書:変革する手術「神の手」から「無侵襲」へ(角川新書)、手術はすごい(講談社ブルーバックス)など
委員歴:国際蛍光ガイド手術研究会 President、日本蛍光ガイド手術研究会 副代表世話人、日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医・指導医資格認定委員会 委員など

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002543_ja.html



井上 幸紀 (イノウエ コウキ)

医学研究科
教授

広報ポイント

職域に強い精神科医。労働者のうつ病、適応障害や摂食障害などに認知行動療法等に対応。経済産業省「職域における心の健康関連サービス活用に向けた研究会」、厚生労働省「ストレスチェック制度等のメンタルヘルス対策に関する検討会」等委員。日本精神神経学会等学会活動も活発。

■ キーワード

うつ病 産業精神医学 適応障害 摂食障害 不安症 認知行動療法

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/9/12 毎日新聞 メンタルヘルスケアの重要性について
2023/10/27 朝日新聞 摂食障害を抱えながら働く人への支援が少ない現状について
2024/2/6 京都新聞 京都産業保健総合支援センター主催 おとなの発達障がいセミナーにて講演ほか
大阪市精神保健福祉審議会 会長 2012 - 継続中
日本産業精神保健学会 常任理事 2014 - 継続中
日本産業衛生学会 理事 2015 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000189_ja.html



植田 大樹 (ウエダ ダイジュ)

医学研究科
教授

広報ポイント

放射線科医でありながら、AIエンジニアとして多岐にわたる研究・教育活動に携わる研究者。医療とAIの融合による社会的価値の創造を中心に研究を進める一方で、開発したAIを医療機器プログラムとして製品化。現在では500を超える医療機関で活用されている。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

放射線 医用画像 人工知能 ディープラーニング

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/8/23 NHK「ほっと関西」 AIが胸部X線検査の画像から心臓弁膜症を推定する方法を開発
2024/10/18 読売新聞 胸部X線写真から肺機能を高精度で推定可能な人工知能(AI)モデルの開発について
2025/2/21 化学工業日報 島津科学技術振興財団の第44回(2024年度)島津奨励賞を受賞
2025/8/10 神戸新聞 胸部X線画像を使用した脂肪肝を推定するAIモデルの開発について
2025/9/23 日刊工業新聞 胸部X線写真から食道運動障害を検出するAIモデルの開発について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002920_ja.html


植松 智 (ウエマツ サトシ)

医学研究科
教授

広報ポイント

腸内細菌の網羅的なメタゲノム解析を実践。難治性の炎症性腸疾患、花粉症などのアレルギーの新規治療法、肥満や糖尿病などの代謝疾患の制御、次世代粘膜ワクチンの開発を推進。大手メディアにて解説多数。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

自然免疫 粘膜免疫 メタゲノム ファージ療法 ワクチン パクテリオファージ

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/7/24 BSフジ「ガリレオX」 糞便移植の研究ドキュメンタリー
2023/5/8 日本経済新聞 新型コロナウイルス禍で薬剤耐性菌の流行が危惧されている状況について
2024/7/11 日本経済新聞 白血病治療の合併症、原因の腸内細菌特定
2024/7/14 NHKニュース 骨髄移植など合併症に関わる腸内細菌 特殊な酵素で除去
2024/8/17 集英社週刊プレイボーイ「ワキガの科学」日本の研究チームが原因菌の特定に成功！
2025/7/29 NHK「クローズアップ現代」腋臭症(わきが)のニオイの原因となる菌に関する研究について
日本学術振興会 第20期科学研究費委員会 2019/1 - 2021/12
日本免疫学会 広報委員 2023/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000983_ja.html


上村 麻衣子 (ウエムラ マイコ)

医学研究科
講師

広報ポイント

科学技術振興機構(JST)の2024年度「創発的研究支援事業」に採択された「タウオパチー進行におけるペリサイトの二面的な役割の究明」で、アルツハイマー病を含むタウオパチーにおける、病態の進行段階に応じた診断法の確立や、ペリサイト関連因子を標的とする新たな治療法の開発を目指す。

■ キーワード

タウ α-シヌクレイン TDP-43 アルツハイマー病 血管性認知症 パーキンソン病 辺縁系優位型加齢性 TDP-43脳症

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本認知症学会 代議員 2024/11 - 継続中
NEURO2026 実行委員 2025/2 - 2026/8
日本神経科学学会 評議員 2026/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002829_ja.html


打田 佐和子 (ウチダ サワコ)

医学研究科
教授

広報ポイント

肝癌をはじめとした肝疾患全般の診断・治療、なかでも、超音波を用いたより侵襲の少ない診断・治療に取り組んでいる。AIを活用した画像診断技術、肝胆膵疾患の新たな診断法・治療法の開発にも積極的に挑戦。

■ キーワード

慢性肝疾患 胆膵悪性腫瘍 肝悪性腫瘍

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/8/10 神戸新聞 他 胸部X線画像を使用した脂肪肝を推定するAIモデルの開発について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000238_ja.html


榎本 大 (エノモト マサル)

医学研究科
特任教授

広報ポイント

肝疾患を専門とし、診療と治療法の研究に邁進。病態の解明や治療法の発見を目指して研究を進め、多数の論文発表や講演を通じて知見を発信。科学的根拠に基づく肝疾患医療の発展に寄与する。

■ キーワード

ライフサイエンス 消化器内科学



■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/5/17 読売テレビ「かんさい情報ネットten.」 B型肝炎について
2023/4/3 ラジオ大阪「元気出してゆこう」 B型・C型肝炎の最新治療を分かりやすく解説
2024/9/20 毎日新聞 講師を務めるB型肝炎に関する医療講演案内

繪本 正憲 (エモト マサノリ)

医学研究科
教授

広報ポイント

糖尿病・肥満症とその合併症の一つである慢性腎臓病・透析医療の診療・研究に従事。糖尿病治療では持続血糖モニターやインスリンポンプなど先端医療機器による治療実績も豊富。糖尿病・肥満症・腎臓病の新規治療薬の治験も実施、PMDA専門委員として従事。

■ キーワード

糖尿病 肥満症 糖尿病性腎症 慢性腎臓病 糖尿病治療薬 透析医療



■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/25 関西西事新報 代謝内分泌病態内科学と腎臓病態内科学を包含した教室の教育と研究についてインタビュー
2025/9/7 産経新聞 副作用のある糖尿病治療薬や肥満症治療薬を自由診療で処方するリスクについて解説
2025/11/25 産経新聞 「明解!公大ゼミ」で解説:肥満と糖尿病の関係と予防について
日本医薬品医療機器総合機構(PMDA) 専門委員 2008/12 - 継続中
大阪市指定難病審査会 委員 2020/4 - 継続中
大阪市医療扶助審議会 委員 2022/12 - 2026/11
大阪市健康局すこやか大阪21(第3次)推進会議 委員 2024/9 - 2026/9

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000141_ja.html


大谷 直子 (オオタニ ナオコ)

医学研究科
教授

広報ポイント

腸内細菌関連因子が肝がんに与える影響を含め、主にがん微小環境に着目した研究を実施し、肝がん進展に関する分子メカニズムの解明を目指して研究している。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。2026年2月20日 令和7年度高松宮妃癌研究基金学術賞受賞。

■ キーワード

がん微小環境 細胞老化 細胞老化随伴分泌現象(SASP) 腸内細菌関連物質と肝がん



■ メディア掲載、主な委員歴など

日本医学会連合 理事 2025/4 - 継続中
日本癌学会 理事 2021/1 - 継続中
日本がん分子標的治療学会 理事 2025/7 - 継続中
日本がん免疫学会 理事 2021/1 - 継続中
日本腸内細菌学会 理事 2021/1 - 継続中
日本抗加齢医学会 評議員 2024/6 - 2034/6
日本生理学会 評議員 2025/3 - 2026/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000028_ja.html


大藤 さとこ (オオフジ サトコ)

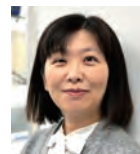
医学研究科
准教授

広報ポイント

感染症、ワクチン、難病などの疫学研究が専門。公衆衛生学の視点から、病気の広がり方と原因を科学的に解明し、健康を守るための予防法を研究。内閣府や厚生省の委員を務めた経験有する。

■ キーワード

公衆衛生学 疫学 感染症 ワクチン 難病



■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/4/30 NHK「午後LIVE ニュースーン」「ほっと関西」 妊婦のワクチン接種によって乳児に百日せきの移行抗体が確認できた調査についてコメント
2025/9/6 東京新聞 子育て世代での発症が増えている帯状疱疹についてコメント
内閣府 食品安全委員会 専門委員 2017/10 - 2021/9
厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会 ワクチン評価に関する小委員会 委員 2019/4 - 継続中
厚生労働省 予防接種事務デジタル化等事業調査研究業務 委員 2023/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000005_ja.html


掛屋 弘 (カケヤ ヒロシ)

医学研究科
教授

広報ポイント

院内感染の制御や耐性菌の院内伝播などの研究。2022年第1回日本医真菌学会学術賞、2024年日本医真菌学会賞を受賞。日本プロ野球機構(NPB)およびJリーグにおける新型コロナウイルス対策連絡会議のメンバーとして『2022 NPB 特別功労賞』、『2022 Jリーグ功労賞』を受賞。

■ キーワード

感染症 耐性菌 深在性真菌感染症 感染症 呼吸器感染症

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/10/5 読売新聞 マイコプラズマ肺炎感染予防についてコメント

2025/4/12 NHK Eテレ「ウィランの言い分」感染制御学の専門家としてハトの糞についてコメント

2026/3/3 読売新聞 真菌症の感染対策についてコメント

日本呼吸器学会 代議員 2012/4 - 継続中

大阪府感染症対策審議会エイズ対策及び医療連携推進部会 エイズ医療委員会専門委員 2017/2 - 継続中

日本嫌気性菌感染症学会 理事 2017/4 - 継続中、日本環境感染学会 評議員 2019/2 - 継続中

日本臨床微生物学会 理事 2024/1 - 継続中、日本医真菌学会 理事 2024/11 - 継続中

日本感染症学会 理事 2025/5 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000062_ja.html

柏木 伸一郎 (カシワギ シンイチロウ)

医学研究科
教授

広報ポイント

切らずに治す早期乳がんラジオ波焼灼療法を2024年4月に関西で初導入し、全国最多の実績を有する。さらに4cm創で行う内視鏡下乳房切除など低侵襲手術を展開。難治性乳がん克服を目指し、基礎と臨床を融合する。

■ キーワード

乳がん 腫瘍免疫 腫瘍微小環境 トリプルネガティブ乳癌 ラジオ波焼灼療法 オンコプラスチック手術 乳がん内視鏡手術 免疫療法

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/2/20 関西医事新報 難治性乳がんの克服への取り組みについて

2024/5/31 読売新聞 関西1例目の治療を行った乳がんのラジオ波焼灼療法について

2025/2/28 サンケイリビング新聞社「CityLiving」『働く女性のための健康ウェビナー Vol.6』にて、乳がんについて解説

2025/8/27 「後悔しないがんの病院と名医の探し方」にインタビュー記事掲載

日本外科学会 代議員・専門医・指導医、日本乳癌学会 評議員・乳腺専門医・指導医、

日本癌治療学会 代議員・がん治療認定医、日本乳癌学会 乳癌診療ガイドライン委員、

日本乳癌学会 編集委員会委員、日本乳腺甲状腺超音波医学会 ガイドライン改訂委員

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000336_ja.html

金子 幸弘 (カネコ ユキヒロ)

医学研究科(兼担創薬科学研究科)
教授

広報ポイント

細菌や真菌をキャラクター化した「バイキンズ®」を使って、感染症や薬剤耐性対策の普及啓発活動を実施。2019年、第3回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰で文部科学大臣賞受賞。

■ キーワード

薬剤耐性 アシネトバクター 治療薬 真菌 難治性感染症 バイオフィーム 緑膿菌

■ メディア掲載、主な委員歴など

2020/7/4 朝日放送「おはよう朝日土曜日です」 夏の食中毒ご用心 今年は例年以上に注意が必要

2024/1/26 読売テレビ「かんさい情報ネットten.」 インフルエンザと劇症型溶血性レンサ球菌感染症について

独立行政法人日本学術振興会 成果公開部会研究成果の社会還元・普及小委員会委員 2024/10 - 2025/10

大阪府藤井寺保健所 大阪府中・南河内感染症の診査に関する協議会委員 2025/4 - 継続中

大阪府八尾市保健所 八尾市感染症診査協議会委員 2025/4 - 継続中

独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員 2025/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000174_ja.html

喜田 雅彦 (キタ マサヒコ)

看護学研究科
講師

広報ポイント

感染看護の専門家。感染管理や感染予防を研究し、感染予防に関する患者教育を効率的かつ持続可能にするシステムの構築に取り組む。タイ王国の中規模病院との相互連携による、感染対策の質向上を目指し、関連機関との共創事業を実施。本学国際感染症研究センターを中心とした、感染対策におけるコンサルテーション事業の展開を目指す。

■ キーワード

感染予防行動 感染管理 脾摘後重症感染症予防 患者教育資料

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002458_ja.html

城戸 康年 (キド ヤストン)

医学研究科
教授

広報ポイント

新型コロナウイルスやエムボックス(サル痘)などの流行地・コンゴ民主共和国で最前線の研究に取り組む。メディア出演も多く、ワクチンや感染症に関するわかりやすい解説に定評がある。

■ キーワード

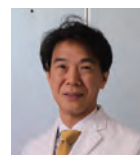
新興・再興感染症 新型コロナウイルス エムボックス(サル痘) マラリア
顧みられない熱帯病 グローバルヘルス ワクチン

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/6/12 MBS「よんちゃんTV」 人食いバクテリアの病気の進行、治療法について
2025/3/6 MBS「よんちゃんTV」 ノロウイルスの感染者増加の原因について解説
2025/8/20 朝日放送テレビ「newsおかえり」 新型コロナウイルス「ニンパス」について解説
2025/9/10 朝日放送テレビ「newsおかえり」 温暖化で増加する蚊などが媒介する感染症リスクについて解説
2025/11/27 日本経済新聞 第12回日経・FT感染症会議でエムボックス(サル痘)に関して報告

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000977_ja.html
②プラネタリーヘルス: 変わりゆくヒトと地球の健康
<https://youtu.be/V3AEnO1leQc>



後藤 剛夫 (ゴトウ タケオ)

医学研究科
教授

広報ポイント

頭蓋底手術法の開発・研究における世界のパイオニア。国内外の若手医師の研修や留学を多数受け入れ、海外の医療機関への出張講義も積極的に実施。

■ キーワード

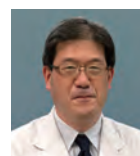
脳腫瘍治療 頭蓋底外科 内視鏡手術 低侵襲外科手術

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本頭蓋底外科学会 理事 2020/4 - 継続中
世界脳神経外科連盟神経内視鏡委員会 委員長 2021 - 2025
日本脳腫瘍の外科学会 理事 2021/4 - 継続中
日本内視鏡学会 理事 2022/4 - 継続中
World Academy of Neurosurgical Surgeons active member 2024 - 継続中
世界脳神経外科連盟頭蓋底外科委員会委員 2026 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000802_ja.html



阪本 浩一 (サカモト ヒロカズ)

聴覚言語情報機能病態学寄附講座
特任教授

広報ポイント

聴覚情報処理障害(APD)やLiDと呼ばれる「聞き取り困難症」の診断基準の第一案となる「LiD/APD診断と支援の手引き」を作成し公開。吃音、小児の言語障害の臨床も行なっている。

■ キーワード

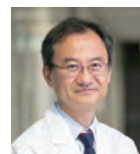
聞き取り困難症(LiD) 聴覚情報処理障害(APD) 脳機能評価(fNIRS)
光トポグラフィ(fNIRS) 発達障害(神経発達症) 聴覚情報処理検査(APT) 吃音
機能性難聴 手話言語

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/5/9 読売新聞 全国の耳鼻咽喉科・診療所でも「聞き取り困難症」の診断を可能とする診断の手引を作成
2024/7/20 読売テレビ「ウェークアップ」 難治性疾患の診察・治療について
2024/9/18 テレビ大阪「やさしいニュース」吃音症状について解説
2025/6/18 日本経済新聞 聞き取り困難症(LiD)の方への補助具無償貸与の効果検証についてコメント
2025/10/4 日本経済新聞 聞き取り困難症(LiD)について解説

■ 研究者情報

<https://www.omu.ac.jp/med/genetics/office/staff/index.html#sakamoto>



柴田 利彦 (シバタ トシヒコ)

医学研究科
病因診断科学特任教授、大阪公立大学名誉教授、大阪公立大学医学部附属健康長寿医科学センター病院長(予定者)

広報ポイント

2025年3月まで心臓血管外科学教授。現在は2027年春開設予定の大阪公立大学医学部附属健康長寿医科学センター病院の開設準備を行っている。

■ キーワード

健康長寿医療 認知症 大阪健康長寿医科学センター 心臓弁膜症外科

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/8/20 関西医事新報 心臓弁膜症診療におけるロボット支援手術の現状と課題について
2023/9/29 読売新聞 手術支援ロボットを使用した心臓手術について
2024/11/7 電波新聞 中小企業が持つ知見を活用し、ロボット心臓手術をサポートする器機を開発

■ 研究者情報

<https://www.omu.ac.jp/med/osakachouju-hosp/>



首藤 太一 (シュウトウ タイチ)

医学研究科
教授

広報ポイント

「病でなく人を診る」「自分が診てもらいたい医師」の育成に尽力。全国トップクラスの稼働率を誇る「スキルスシミュレーションセンター(SSC)」での医療教育を推進。

■ キーワード

医学教育 次世代の良医育成 スキルスシミュレーションセンター

■ メディア掲載、主な委員歴など

大阪府医師会臨床研修制度推進委員会 委員 2020/6 - 継続中
大阪府総合診療科医師確保懇話会 2022/8 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000558_ja.html



新谷 歩 (シンタニ アユミ)

医学研究科
教授

広報ポイント

米国で生物統計家として20年のキャリアを持つ。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。レセプトなどのビッグデータを使った研究も推進。

■ キーワード

生物統計学 データ管理学 生物統計学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/8/25 朝日新聞 日本発の治療薬やワクチンがなかなか出てこない課題について
AMED課題評価委員 2023/4 - 2025/3
厚生労働省保険局費用対効果評価専門組織専門委員 2023/4 - 2025/4
厚生労働省 医政局 研究開発政策課 厚生科学審議会臨時委員 2023/7 - 2025/7

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000211_ja.html



角南 貴子 (スナミ キシコ)

医学研究科
教授

広報ポイント

「めまい」に関する臨床研究や、高齢者の聞こえ、雑音下での言葉の聞き取りに関わる脳機能について研究。

■ キーワード

めまい メニエール病 突発性難聴 音声機能障害 アレルギー性鼻炎 頭頸部腫瘍
内視鏡下耳科手術

■ メディア掲載、主な委員歴など

2021/8/7 毎日新聞 アレルギー性鼻炎の治療について解説
2024/6/13 日経ヘルス2024夏号 めまいについての特集
2024/6/16 読売新聞 口腔がんの講座案内
2025/12/23 読売新聞 めまいについてコメント
2026/1/24 毎日新聞 耳の日セミナー案内
日本耳科学会 副理事長 2024/10 - 2026/10、日本頭頸部外科学会 理事 2025/4 - 2027/4
日本めまい平衡医学会 理事 2025/10 - 2027/9

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000765_ja.html



高田 裕貴 (タカダ ユウキ)

医学研究科
特任助教

広報ポイント

卵母細胞および受精卵を研究対象とする本学大学院医学研究科リプロダクティブサイエンス研究所に所属。生殖医療に貢献することを目指している。「動物の胚発生に必須な新規のタンパク質合成制御メカニズムの発見と解明」の研究で、2024年度大阪公立大学若手研究者奨励賞を受賞。

■ キーワード

卵母細胞 初期胚 mRNA 翻訳 中心体 細胞骨格 モータータンパク質

■ 研究者情報

<https://www.omu.ac.jp/med/reproductive-science/>



高橋 洋介 (タカハシ ヨウスケ)

医学研究科
教授

広報ポイント

心臓血管外科、ロボット支援心臓手術(ダヴィンチ手術)、低侵襲心臓手術(MICS)を専門とし、特に僧帽弁形成術や三尖弁形成術のエキスパート。AIやMRI、CTの画像解析を活用した術前シミュレーション技術、技の伝授を行う技術など他学部との融合を図りながら、医療の技術開発に取り組む。

■ キーワード

Disjunction 心筋保護 心房細動性僧帽弁閉鎖不全症 ロボット手術 心房細動 肥大型心筋症

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/8/4 毎日新聞大樹生命厚生財団が主催する第56回医学研究助成対象に選出
2023/9/29 読売新聞ロボット心臓手術について
2024/11/7 電波新聞 中小企業が持つ知見を活用し、ロボット心臓手術をサポートする器機を開発
日本胸部外科学会評議委員 2022/4 - 継続中
関西胸部外科学会評議委員 2022/4 - 継続中
日本心臓血管外科学会評議委員 2024/2 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000438_ja.html



橘 大介 (タチバナ ダイスケ)

医学研究科
教授

広報ポイント

ハイリスク妊婦の受け入れをチーム医療体制で対応。前置血管の早期発見と管理を提言。安全な帝王切開の実施方法に関しても広い知見を有する。

■ キーワード

ハイリスク妊産婦 不妊治療と妊娠の関係 前置胎盤・前置血管 骨盤臓器脱

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/2/28 サンケイリビング新聞社「CityLiving」[働く女性のための健康ウェビナー Vol.6]で、乳がんについて解説
2025/7/5 ABCラジオ「大塚製薬ニュートラシューティカル事業部 presents 私 からだ 上手にやさしくつきあえる毎日。」 女性活躍のための予防医療やPMSとの付き合い方について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000129_ja.html



鶴田 大輔 (ツルタ ダイスケ)

医学研究科
教授

広報ポイント

難治性皮膚疾患、特に類天疱瘡疾患や脱毛の発症機序の解明を目指した研究がライフワーク。近年、感染制御に関連する研究も行っている。難治性皮膚疾患でお困りの患者からの相談、主治医からの紹介も多い。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

自己免疫性水疱症(類天疱瘡・天疱瘡) 乾癬 脱毛 腋臭症 感染制御
ヘミデスモソーム

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/2/16 テレビ朝日「ワイド!スクランブル」 肌の乾燥対策について
2024/8/17 週刊プレイボーイ 腋臭症(わきが)のニオイの原因となる菌を遺伝子レベルで解析
2025/4/15 日本テレビ「カズレーザーと学ぶ。」様々な肌荒れの見分け方と尋常性ざ瘡(ニキビ)患者を対象としたバクテリオファージ療法について
2025/8/19 産経新聞 「明解!公大ゼミ」で解説:日焼けの健康リスクとその対策について
大阪国際医療機構 理事 2021/2 - 継続中、日本皮膚病理組織学会 理事長 2021/4 - 継続中
JST創発的研究支援事業 外部専門家 2023/11 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000801_ja.html



寺井 秀富 (テライ ヒデトミ)

医学研究科
教授

広報ポイント

脊椎外科や低侵襲手術(UBE/BESSなど)を専門としている。2024年度には、大阪の高齢者の自立移動困難状態の予防を目的に、学際的チームが健康・生活実態を大規模調査し、今後の介入研究や行政施策に活かす基盤を整備したプロジェクトの代表を務めた。

■ キーワード

脊椎外科 整形外科 骨再生

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/8/22 朝日新聞 朝日カルチャーセンターくずは教室で「脊柱・脊椎と歩行の関係」講座開催

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000799_ja.html



徳永 文稔 (トクナガ フミノリ)

副学長(研究戦略、技術インキュベーション戦略、国際戦略)

広報ポイント

がんや自己免疫疾患など慢性炎症が体内で起こるメカニズムの解明を目指す。「直鎖状ユビキチン鎖」の発見によりALSの分子病態解明に貢献。

■ キーワード

ALS 炎症 ユビキチン たんぱく質分解



■ メディア掲載、主な委員歴など

2018/6/2 読売新聞 滋賀医大のALS治療法へコメント

2021/12/28 読売新聞 山形大学が発表した筋萎縮性側索硬化症(ALS)の進行を遅らせる薬の候補へコメント

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000612_ja.html


富山 貴美 (トミヤマ タカミ)

老化・認知症制御学寄附講座 特任教授

広報ポイント

認知症ゼロ社会を目指して、予防食品や予防薬の開発に従事。

■ キーワード

認知症 認知症予防薬 認知症予防アンチエイジング食品 老化研究 若返り研究

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/1/19 テレビ大阪「やさしいニュース」 認知症に点鼻薬 進む治療薬の開発

2022/9/12 朝日新聞 「ぶらっとラボ」糖尿病とアルツハイマー病の関わりを解明

2023/1/31 日経バイオテック 経鼻リファンピシンでアルツハイマー病の進行阻止へ

2024/11/5 産経新聞 帝人と共同で取り組んだ酸素仁による認知機能の改善に関する研究について

2025/12/14 読売テレビ「BEAT 時代の鼓動」セレプロファーマ株式会社。認知症の予防薬・治療薬を世に出すことを目指した研究・開発を行う

2026/1/28 ハワイスタイルNo.67 認知症予防に効果があるとされるハワイのハーブ「ママキ」について

■ 研究者情報

<https://www.omu.ac.jp/med/neurosci/member/>


中瀬 生彦 (ナカセ イクヒコ)

創薬科学研究科 教授

広報ポイント

ペプチド化学と生体材料(エクソソーム等)を組み合わせ、さらに薬学と工学・生物物理学のユニークな「総合知」技術で、狙った細胞内へ薬剤を高効率に届ける創薬研究を展開。がんを含む機能制御不能疾患への治療や副作用低減を目指す次世代ドラッグデリバリー技術の基盤開発に取り組む。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

ペプチド・タンパク質化学 創薬化学 ドラッグデリバリーシステム
細胞外小胞(エクソソーム) 細胞膜透過 ホウ素中性子捕捉療法 細胞内可視化
がん治療 細胞機能制御 人工受容体

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/10/12 日経バイオテック「大阪公立大学など、インクジェットプリンターで細胞内に薬物送達する技術を開発」

2026/3/3 産経新聞・Yahooニュース「創薬科学研究科新設の狙いとは」 他多数

日本ペプチド学会 評議員、日本膜学会 評議員、日本薬学会 代議員、日本生化学会 評議員、

日本細胞外小胞学会 理事

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002079_ja.html


中村 博亮 (ナカムラ ヒロアキ)

医学部附属病院 病院長

広報ポイント

低侵襲脊椎外科、ロコモティブシンドロームなど、大阪府・市と共同で、自立移動困難の予防を介し健康寿命の延伸を目指して研究。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

ロコモティブシンドローム フレイル 整形外科学・脊椎脊髄外科学全般
低侵襲脊椎手術 末梢神経 高齢者脊椎疾患

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本内視鏡外科学会 理事 2017/12 - 継続中

日本脊椎脊髄病学会 理事長 2018/4 - 2020/4

日本腰痛学会 理事 2019/9 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000225_ja.html


橋本 求 (ハシモト モトム)

医学研究科
教授

広報ポイント

坂口志文(2025年ノーベル賞)教授のもと基礎研究に従事。臨床面では本邦最大の関節リウマチのリアルワールドデータを率いる。著書に「遺伝子が語る免疫学夜話」(晶文社)があり、現代社会でなぜ自己免疫疾患やアレルギーが増えてきたかについて、人類史的な観点からも考察。

■ キーワード

自己免疫疾患 制御性T細胞 衛生仮説

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/8/6 京都新聞 2024/7/13 第50回いのちの科学フォーラム講演「自己免疫疾患・アレルギーの最新医学」
2026年2月号「現代思想」「制御性T細胞発見の意義—坂口志文博士のノーベル賞受賞によせて」
2026/2/3 KISTEC講演「人類史から考える免疫学—自己免疫疾患が生まれた理由を探る—」

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001098_ja.html


樋口 真人 (ヒグチ マコト)

医学研究科
教授

広報ポイント

2023年4月に開設された本学健康長寿医学講座 病因診断科学の代表教授。認知症などの神経変性疾患の病態解明および診断バイオマーカー開発を目指している。2027年春に開設予定の大阪健康長寿医学科学センターにおける認知症研究の主軸を担う。国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所 脳機能イメージング研究センターのセンター長や、AMEDムーンショット型研究開発事業のプロジェクトマネージャーを務める。

■ キーワード

病態医科学 解剖学 代謝 内分泌学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/10/8 読売新聞 9月15日に大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン・リボンステージで開催された認知症研究発表に登壇

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002792_ja.html


福島 若葉 (フクシマ ワカバ)

医学研究科
教授

広報ポイント

厚生労働省が設置する厚生科学審議会や大阪府が設置する委員会の委員として、公衆衛生学・疫学の専門家の立場から意見を述べている。ワクチンの疫学については、厚生労働省が助成する研究班の研究代表者を務めている。大阪商工会議所が創設した「活躍する女性リーダー表彰(愛称:ブルローズ表彰)」を2024年度に受賞。

■ キーワード

公衆衛生学 疫学 予防医学 ワクチン

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/3/22 朝日新聞DIGITAL インタビュー記事掲載「ワクチン3回目以降 若くて健康な人は『メリット理解して判断を』」
2022/5/28 読売新聞 取材協力者として掲載「教えて!ヨミドック『4回目接種 誰でも対象?』」
2023/11/24 日刊薬業 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会委員として、新型コロナウイルスワクチンの定期接種化についてコメント
厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 委員

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000071_ja.html
②<https://researchmap.jp/read0210204/>



福田 大受 (フクダ ダイジュ)

医学研究科
教授

広報ポイント

循環器内科に関する幅広い知識を基に、動脈硬化・メタボリック症候群の分子メカニズムの解明をテーマに研究。「血管炎症」や「自然免疫」の観点から、動脈硬化・メタボリック症候群の発症メカニズム解明と新しい治療法の開発に従事。

■ キーワード

循環器内科 動脈硬化 メタボリック症候群 血管生物学 炎症 免疫

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/11/3 テレビ朝日「本日はダイアンなり シーズン2」 心臓弁膜症について説明
2025/1/4 Tarzan No.894号 心臓の異所性脂肪について解説
日本血管不全学会 理事 2022 - 継続中
大阪ハートクラブ 理事 2022 - 継続中
日本心臓血管作動物質学会 理事 2024 - 継続中
日本血管生物医学会 理事 2025 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001114_ja.html


藤井 郁雄 (フジイ ユウオ)

研究推進機構
特任教授
大阪府立大学名誉教授

広報ポイント

医療・創薬分野に直結する基盤技術を長年研究してきたバイオ医薬の専門家。分子進化学を駆使して、がん細胞に作用する新しいペプチド・抗体を創り出す、創薬科学のエキスパート。

■ キーワード

創薬科学 分子進化学 抗体医薬 ペプチド医薬 バイオ医薬



■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/3/12 化学工業日報 フロンティア生命化学研究会主催のセッションにて講演
2025/6/2 田辺三菱製薬 特別展示「道修町くすりのはじまり展」監修
2026/1/29 日経バイオテク「HLHペプチドを用いる新規CAR-T細胞」
日本学術振興会(JSPS)学術システム研究センター研究員 2009 - 2011
公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団岸本基金研究助成審査委員 2015 - 2025
大阪科学賞選考委員 2017 - 2022

藤原 靖弘 (フジワラ ヤスヒロ)

医学研究科
教授

広報ポイント

上部消化管(食道・胃・十二指腸)疾患の病態解明、内視鏡診断、治療(特に胃食道逆流症、バレット食道)、好酸球性消化管疾患、睡眠と消化器疾患などをテーマに研究。特に「げっぷ障害」や「逆流性食道炎」など日常生活の質(QOL)に直結する消化器症状の改善に注力している。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

食道運動機能異常 慢性便秘 胃食道逆流症 好酸球性消化管疾患



■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/9/25 東京新聞 他 日本の成人の1.5%が「げっぷ障害」であることが判明、発症に関する因子も調査
2025/9/23 日刊工業新聞 胸部X線写真から食道運動障害を検出するAIモデルの開発について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000242_ja.html



前田 清 (マエダ キヨシ)

医学研究科
教授

広報ポイント

消化管疾患の外科治療を専門とし、学会での委員歴多数。本学医学部附属病院の消化器外科部長を務め、未来の外科学リーダーの育成に尽力。教育関係者や研究者向けの講義活動にも積極的に取り組む。2025年9月にスタンフォード大学が発表した「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」に選出。

■ キーワード

大腸疾患 小腸疾患 炎症性腸疾患



■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/2/25 関西医事新報社 外科学講座の特色や消化器外科の取り組みについてインタビュー
2025/11/28 読売新聞社 手術支援ロボットを使用した医学部生研修についてインタビュー
日本癌治療学会 代議員 2016/4 - 継続中
日本外科学会 代議員 2016/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001699_ja.html



真嶋 由貴恵 (マジマ ユキエ)

情報学研究科
教授

広報ポイント

看護師・保健師としての経験から、「看護に情報を活用する!そして看護をもっと良くする!」という志を持ち、看護情報学などを研究。看護技術における熟練者の“わざ”を可視化・形式知化して、誰もが熟練の技術を身に付けられるような学習支援システムの開発に取り組む。長年にわたり女性研究者支援活動に尽力し貢献。

■ キーワード

看護システム工学 ヘルスケアシステム 教育情報システム 教育工学



■ メディア掲載、主な委員歴など

一般社団法人日本看護系大学協議会「令和4年度 大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」調査事業実行委員会委員 2022/7 - 2025/3
堺市産業振興センター 理事、さかい新事業創造センター 取締役、忠岡町総合計画審議会 委員 各2025年度

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002236_ja.html



松原 勤 (マツバラ ツトム)

医学研究科
准教授

広報ポイント

遺伝子欠損マウスを活用したモデル動物解析やオミクス解析、微小形態解析を通して慢性肝疾患について研究。臓器線維症(肝硬変等)の創薬研究や他学部教員と連携した異分野融合型研究(複雑系科学の探究)も実施。さらに、高大連携型研究者育成にも取り組む。

■ キーワード

創薬科学 病態医学 組織形態学 解剖学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/10/16 日経バイオテク ONLINE 肝線維症治療薬の候補物質となる植物由来物質を発見
2025/10/20 QLifePro 医療ニュース 植物のヘンナに含有するLawsoneに肝線維症を治療作用があることを発見

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000257_ja.html



元村 尚嗣 (モトムラ ヒサシ)

医学研究科
教授

広報ポイント

自然に動く義眼を実現するなど、精神的苦痛を外科的に取り除き、「メスを持った精神科医」として患者のQOL向上に貢献。

■ キーワード

頭頸部再建 乳房再建 義眼床再建 皮膚悪性腫瘍 悪性黒色腫 顔面神経麻痺 頭蓋形成

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/3/6 読売新聞 手術の傷跡などを目立ちにくくする「リハビリメイク」についてコメント
2024/3/11 四天王寺高校で形成外科に関する体験型出張講座を実施

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000414_ja.html



山岸 良多 (ヤマギシ リョウタ)

医学研究科
講師

広報ポイント

転写後調節を介したがん微小環境制御、細胞老化とmRNA代謝が研究テーマ(JST創発的研究支援事業課題)。2022年には、脂肪肝による肝がんの進行が腸内細菌によって促進されるメカニズムの一端を解明した論文が、『Science Immunology』に掲載された。

■ キーワード

がん微小環境 細胞老化 細胞老化随伴分泌現象(SASP) mRNA代謝

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本癌学会評議員 2026/1 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000269_ja.html



山本 晃 (ヤマモト アキラ)

医学研究科
教授

広報ポイント

Interventional Radiology全般、門脈圧亢進症に対するIVR、RFAおよび免疫RFA、腹部画像診断をテーマに研究。IVRは、カテーテルや穿刺針などを用いて画像ガイド下に行う低侵襲的治療で、「切らない手術」ともいわれている。2025年に米国インターベンショナルラジオロジー学会(SIR)より「2024 JVIR Editor's Award for Distinguished Clinical Study」を受賞するなど、国際的にも高く評価されている。

■ キーワード

IVR一般

■ メディア掲載、主な委員歴など

2025/1/26 NHK「チョイス@病気になったとき」 肝臓がんの予防と最新治療法について
2025/9/23 日刊工業新聞 胸部X線写真から食道運動障害を検出するAIモデルの開発について

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000105_ja.html



吉川 貴仁 (ヨシカワ タカヒロ)

医学研究科
教授

広報ポイント

ヒトの生活習慣に関する医学・脳科学(無意識、ストレス、食欲、食と運動のクロストーク)の研究。現代人の生活習慣に対する新しい指導・支援体制やプログラムの開発、さらにQOLの向上、老後の介護予防に結び付けることが目標。

■ キーワード

生活習慣 食欲 運動 脳磁図 気管支喘息 喘息予備軍

■ メディア掲載、主な委員歴など

2019/5/21 NHK BSプレミアム『美と若さの新常識〜カラダのヒミツ ダイエットに美肌!レッツ・ダンス♪』で解説

大阪マラソン医事・救護・感染症対策専門部会 委員 2015 - 継続中

大阪府スポーツ協会スポーツ医科学委員会 委員 2016 - 継続中

大阪府医師会健康スポーツ医学委員会 副委員長 2020 - 継続中

日本臨床スポーツ医学会理事 2025-継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000588_ja.html

LE THI THANH THUY (レティタン トゥイ)

医学研究科
准教授

広報ポイント

肝線維症、脂肪肝炎、肝硬変、癌における肝星細胞の病態生理的役割などをテーマに研究。肝線維症と癌におけるサイトグロビンの保護的役割を発見し、2つの特許を登録。現在は、肝線維症と肝がんの治療標的の探索を研究の中心としている。2025年9月には、学生10人とともにベトナムのレ・タイン・ロン副首相と会談。

■ キーワード

Cytoglobin Liver fibrosis Liver cancer Antioxidant Pancreatic cancer
Bone cancer サイトグロビン 肝線維症 肝癌 抗酸化物質 膵癌 骨癌

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/2/24 読売新聞 大阪公立大学(OMU)実行委員会の一員として「ベトナム・デー」を企画・運営

在日ベトナム女性知性協会 副会長 2024 - 2025

在日ベトナム女性知性協会 会長 2026 - 2027

肝類洞壁細胞研究会 (HSRJ) 幹事 2026/1 - 継続中

ベトナム肝臓分科会 (VASLD-HC) 国際担当副会長 2026 - 2029

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000473_ja.html

岩田 晃 (イワタ アキラ)

リハビリテーション学研究科
教授

広報ポイント

運動パフォーマンスの向上を目的に研究を実施。トレーニングマシンや運動プログラムの開発など、企業と共同で社会実装にも取り組む。

■ キーワード

理学療法 スポーツ科学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/4/15 毎日新聞 ミズノとの共同研究、歩行能力と歩行タイプの科学的解析について

2026/1/3 読売テレビ「サタデーLIVE ニュース ジグザグ」 AIを使用した最新の動作解析について実演を交えて紹介

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002246_ja.html

岡崎 和伸 (オカザキ カズノブ)

国際基幹教育機構
都市健康・スポーツ研究センター
健康科学イノベーションセンター
教授

広報ポイント

東京オリンピック暑熱対策医・科学サポートグループの一員として、特に陸上競技マラソン/競歩の日本代表選手の暑熱対策に取り組む。大手メディアにてスポーツの暑熱対策についてコメント掲載多数。

■ キーワード

体力 マラソン 陸上競技 暑熱環境 低圧低酸素 運動トレーニング 健康寿命
身体活動量 中高生 持久力

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/4/19 NHK「ニュースウォッチ9」夏の全国高校野球 高野連が暑対策として午前と夕方の2部制を導入したことについてコメント

2024/8/2 NHK「ニュースウォッチ9」高校野球における暑熱対策について解説

2025/5/13 産経新聞「明解!公大ゼミ」で解説:熱中症リスクを低減するための有効な基本対策について

日本陸上競技連盟科学委員会 委員 2016 - 継続中

日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ) 2016 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000373_ja.html

片岡 正教 (カタオカ マサタカ)

リハビリテーション学研究科
准教授

広報ポイント

障がい者スポーツ、脳性麻痺、脊髄損傷のリハビリテーションなどを研究。特にパラリンピック競技「ボッチャ」を中心に、競技パフォーマンス向上のための科学的根拠の確立や高齢者の運動プログラムとしての有用性の検証を進めている。ボッチャ日本代表チームのスタッフも務め、国際試合などにも帯同した経験を持つ。

■ キーワード

重度障がい者の社会参加支援 障がい者スポーツ ボッチャ

■ メディア掲載、主な委員歴など

一般社団法人日本ボッチャ協会クラス分け委員会 委員長
杭州2022アジアパラ競技大会ボッチャ日本代表選手団団員
一般社団法人日本ボッチャ協会 2024 New Taipei City World Boccia Cup 日本代表スタッフ
一般社団法人日本ボッチャ協会 Montreal World Boccia Cup 日本代表スタッフ
大阪ボッチャ協会 理事
全国障害者スポーツ大会 堺市代表選手選考委員会 委員

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002027_ja.html


北村 愛子 (キタムラ アイコ)

看護学研究科
教授

広報ポイント

周手術期看護、救急看護、集中治療を受ける患者と家族に対してクリティカルケア看護を実践。高度な看護実践に必要な医療の知識を持つ「専門看護師」。

■ キーワード

ライフサイエンス 臨床看護学 急性重症看護分野

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本クリティカルケア看護学会 理事
入院時重症患者対応メディエーター養成小委員会 委員
堺市立病院機構評価委員会 委員 2023/6 - 2025/5
一般社団法人日本臨床救急医学会 2023/10 - 2025/9

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002346_ja.html


九津見 雅美 (クツミ マサミ)

看護学研究科
准教授

広報ポイント

レビー小体型認知症や血友病の患者とその家族への支援に関する研究に取り組む。

■ キーワード

レビー小体型認知症 認知症 家族 交流会 患者会 血友病 保因者 継続看護

■ メディア掲載、主な委員歴など

摂津市介護認定審査会 委員 2005/4 - 継続中
レビー小体型認知症本人・家族とその周囲の人を対象とした交流会活動 2016 - 継続中
ヘモフィリア友の会全国ネットワーク 倫理審査委員 2023/11 - 継続中
大阪市西淀川区介護認定審査会 委員 2026/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002409_ja.html


河野 あゆみ (コウノ アユミ)

看護学研究科
教授

広報ポイント

地域包括ケアの質の向上と地域看護学・在宅看護学の発展を目指す。大阪府下の自治体と協力し、介護報酬や診療報酬データをもとにフレイルの発生率などを調査。

■ キーワード

フレイル 介護予防 高齢者総合機能評価 地域見守り 地域づくり

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/8/18 NHK「関西NEWS」 フレイルの予防法について
2023/11/28 読売新聞 フレイルの予防法について
第30回日本在宅ケア学会学術集会会長、日本地域看護学会理事長、地域福祉計画関連委員会(松原市、岬町、泉大津市)、介護保険・地域包括ケア計画関連委員会(泉南市、八尾市)、健康づくり関連委員会(岬町、貝塚市、宝塚市、川西市)の委員長・委員など

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000826_ja.html


竹林 崇 (タケバヤシ タカシ)

リハビリテーション学研究科
教授

広報ポイント

リハビリテーション全般のコメントが可能。企業と共同でロボットや便利な道具等もリハビリ観点を生かして開発。地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、株式会社ケアウィルが共同で開発した上肢サポートウェア「アームスリングシャツ」が、2025年度グッドデザイン賞を受賞。

■ キーワード

医療 脳卒中 運動機能回復 リハビリテーション 日常生活活動 作業療法 エビデンス ロボット 福祉用具 治具 自助具 便利道具 バリアフリー

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/9/9 栄養と料理 10月号 脳卒中のリハビリ方法について解説
2025/5/12 産経新聞 開発に関わった「LIFESCAPES医療用BMI」(動かそうという脳の信号をキャッチして手を動かす電動装具)についてコメント
2025/10/15 日経MJ(流通新聞)日経テレコン21 パナソニック ハウジングソリューションズが販売する「ヒートセーフstyle」開発への関与について

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002430_ja.html
②SNS(X):@takshi_77



田中 寛之 (タナカ ヒロユキ)

リハビリテーション学研究科
准教授

広報ポイント

認知症、高次脳機能障害、精神疾患などを対象としたリハビリテーション科学が専門。認知症の重症度に応じた評価法の開発など、医療・介護現場に直結する研究を展開している。

■ キーワード

認知症 老年精神医学 老年療法学 神経心理学 作業療法 リハビリテーション

■ メディア掲載、主な委員歴など

日本老年療学会 理事 2021/7 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002413_ja.html



都筑 千景 (ツヅキ チカゲ)

看護学研究科
教授

広報ポイント

地域看護学の専門家として、地域実装可能な支援モデルの開発や保健師活動のエビデンス構築に取り組む。社会課題が深刻化する中で、地域の健康を支える看護のあり方を科学的に研究。健康寿命の延伸を目指し、地域・職域連携推進や働く世代の健康づくりについて取り組んでいる。

■ キーワード

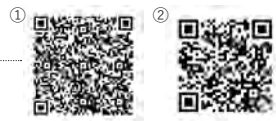
地域看護学/公衆衛生看護学 地域・職域連携推進 健康づくり 地域システムづくり 地域診断 地域母子保健

■ メディア掲載、主な委員歴など

2026/1 週刊保健衛生ニュース2341号 「地域・職域連携推進の今後の方向性」
厚生労働省医道審議会 専門委員(保健師助産師看護師分科会KV部会委員) 2019/4 - 2024/3
羽曳野市健康づくり推進協議会 委員 2019/4 - 継続中
藤井寺保健所運営協議会 委員 2019 - 継続中
日本公衆衛生学会 代議員 2023/7 - 継続中
伊丹市保健医療推進協議会 委員 2023/10 - 継続中

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002436_ja.html
②<https://www.omu.ac.jp/nurs/community/>



長畑 多代 (ナガハタ タヨ)

看護学研究科
教授

広報ポイント

老年期を生きる人が住み慣れた場所まで最期まで豊かに生きること支援するための看護のあり方についての研究と実践。自治体の委員多数。

■ キーワード

看取りケア 高齢者施設ケア 認知症ケア 老年看護学 介護保険施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム等)におけるケアの質向上

■ メディア掲載、主な委員歴など

藤井寺市介護認定審査会 委員 2002/4 - 継続中
大阪府介護保険審査会 委員 2010/4 - 継続中
羽曳野市介護保険等推進協議会 会長 2016/4 - 2024/3
羽曳野市介護認定審査会 委員 2021/4 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002174_ja.html



中山 美由紀 (ナカヤマ ミユキ)

看護学研究科
教授

広報ポイント

家族看護学の専門家として、AIを活用した家族看護教育システムの開発に取り組み、家族支援の質向上に貢献。行政との協働による、学校保健における健康課題の解決に向けたプラットフォーム構築に尽力。大阪教育庁教育振興室と連携し、教育現場における包括的かつ持続可能な支援の実施に取り組む。

■ キーワード

家族看護学



■ メディア掲載、主な委員歴など

日本小児保健学会 編集委員 2018 - 継続中、編集委員長 2024 - 継続中
日本家族看護学会 編集委員 2018 - 2024、評議員 2020 - 継続中、将来構想委員 2025 - 継続中
高度実践看護師教育課程認定委員会 委員 2019 - 継続中
家族看護専門分科会委員長 2021 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002239_ja.html


根来 佐由美 (ネゴロ サユミ)

看護学研究科
講師

広報ポイント

地域高齢者のフレイル、社会関係に関する研究。地域での健康づくり推進にも貢献。

■ キーワード

フレイル 高齢者の見守り支援 ソーシャルネットワーク



■ メディア掲載、主な委員歴など

羽曳野市介護認定審査会 委員 2014/4 - 継続中
藤井寺市健康づくり推進協議会 委員 2021/4 - 継続中
令和4年度羽曳野市「はびきの健康フォーラム」講師
泉大津市秘書広報課YouTubeチャンネル「泉大津市あしゅびプロジェクト」出演

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001898_ja.html


樋口 由美 (ヒグチ ユミ)

副学長(社会共創)
リハビリテーション学研究科
教授

広報ポイント

高齢期の歩行能力に着眼した介護予防プログラムの研究。自治体や医療機関と共同で、地元住民向けのプログラム実施にも取り組む。

■ キーワード

介護予防 歩行能力 身体活動 老年期理学療法 身体活動
地域リハビリテーション

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/12/1 日刊建設工業新聞 UR森之宮団地内の医療・介護モデルルームについて
羽曳野市介護認定審査会 委員 2014/4 - 継続中
羽曳野市介護保険等推進協議会 会長 2024/4 - 2027/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002187_ja.html


森本 明子 (モリモト アキコ)

看護学研究科
教授

広報ポイント

看護情報学、ヘルスデータサイエンス、ヘルスコミュニケーションを専門とし、働く世代の健康支援や健康格差の是正、看護実践の質向上に資する研究に取り組んでいる。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、ソーシャルトランスフォーメーションの推進にも力を注いでいる。大阪商工会議所が創設した「活躍する女性リーダー表彰(愛称:ブルーローズ表彰)」を2025年度に受賞。

■ キーワード

看護情報学 ヘルスデータサイエンス ヘルスコミュニケーション
Evidence-Based Practice ソーシャルトランスフォーメーション

■ メディア掲載、主な委員歴など

AMED科学技術調査員 2019/5 - 継続中
厚生労働省循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 中間・事後評価委員会 委員
2022/9 - 継続中

■ 研究者情報

①https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002369_ja.html
②<https://www.omu.ac.jp/nurs/nursinginformatics/>



横井 賀津志 (ヨコイ カツシ)リハビリテーション学研究科
教授**広報ポイント**

住民の健康診断データをもとに、大規模なコホート研究を実施。松原市社会福祉協議会との共同で、転倒予防のためのオンライン体操実施中。東大阪市にて、地域在住高齢者向けに認知症予防教室を実施。

キーワード

転倒予防 高齢者の認知機能低下抑制 高齢者リハビリ 作業科学

メディア掲載、主な委員歴など

大阪府国民健康保険団体連合会 介護給付費等審査委員会 委員 2022 - 継続中
田原本町介護保険事業計画策定委員会座長 2025/10 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002466_ja.html**横山 久代** (ヨコヤマ ヒサヨ)国際基幹教育機構
都市健康・スポーツ研究センター
教授**広報ポイント**

糖尿病専門医としての臨床経験をふまえ、運動を介したウェルビーイングを実現するための方策や、アスリートの栄養サポートについて研究。
スポーツドクターとして、運動指導、スポーツ現場でのメディカルサポートにも携わる。

キーワード糖尿病 メタボリック症候群 エネルギー代謝 スポーツ 運動 栄養 健康増進
フレイル 転倒 認知機能 介護予防**メディア掲載、主な委員歴など**

2024/12/14 読売新聞 介護保険料の抑制に向けた大阪市の介護予防対策プロジェクトチームの初会合に出席し、高齢者向けトレーニングの必要性について発言
2025/6/18 朝日放送 ペットボトル症候群について
大阪府医師会健康スポーツ医学委員会 委員 2018/8 - 継続中
日本糖尿病学会 学術評議員 2023/5 - 継続中
大阪府スポーツ推進審議会 専門委員 2024/1 - 継続中
大阪市介護予防推進プロジェクトチーム会議 アドバイザー 2024/11 - 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000147_ja.html**横山 美江** (ヨコヤマ ヨシエ)看護学研究科
教授**広報ポイント**

多胎児の子育て、児童虐待予防が専門。ヘルシンキ大学・フィンランド国立健康福祉研究所などと共同で、母子保健(ネウボラ)に関する国際比較などの研究に取り組む。

キーワード

ネウボラ 児童虐待予防 成長発達 双子・多胎児

メディア掲載、主な委員歴など

2021/9/30 朝日放送「おはよう朝日です」 フィンランドの子育て支援「ネウボラ」について
2022/4/5 読売新聞 多胎児の親に対する自治体の支援
2024/2/9 高知新聞 高知市内で開かれた「高知母性衛生学会」の学術集会にて講演
International Society for Twin Studies(国際双生児学会)理事、日本双生児研究学会理事長
Journal of International Nursing Research編集委員会編集委員、内閣官房・内閣府 孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議委員 2021 - 継続中
内閣官房・内閣府 孤独・孤立の実態把握に関する研究会委員 2022 - 継続中
子ども家庭庁調査研究委員会委員 2025 - 継続中
豊中市保健医療審議会委員、豊中市建築審査会委員 継続中

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000039_ja.html**石橋 ちなみ** (イシバシ チナミ)生活科学研究科
講師**広報ポイント**

調理・加工操作が料理の品質やおいしさに及ぼす影響について研究。現在は米や野菜を対象に、官能評価と成分分析を組み合わせた研究を進め、食品の「おいしさ」を構成する要素を科学的に明らかにする研究に取り組んでいる。

キーワード

調理科学 おいしさ テクスチャー

メディア掲載、主な委員歴など

2025/6/25 科学技術振興機構サイエンスポータル 過熱水蒸気で炊いたご飯は多孔質構造になり冷蔵保存時においしさを保つ
2025/9/23 産経新聞「明解! 公大ゼミ」で解説: 備蓄米のおいしさの引き出し方について

研究者情報https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002569_ja.html

楽原 晶子 (クワバラ アキコ)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

ビタミンDをはじめとした脂溶性ビタミンについて研究。管理栄養士として、一般向けのセミナーなども実施。

■ キーワード

ビタミンD 栄養学 食事摂取基準

■ メディア掲載、主な委員歴など

2024/1/4 NHK「あしたが変わるトリセツショー」 ビタミンD欠乏について
2025/6/24 産経新聞 「明解!公大ゼミ」で解説:紫外線対策と両立したいビタミンDの欠乏対策について
厚生労働省健康局「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会ワーキング構成員 2023/8 - 2024/3

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002410_ja.html



竹中 重雄 (タケナカ シゲオ)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

食品に含まれるさまざまな栄養成分や機能性成分、ビタミンの生理機能、それらの代謝に関する研究。企業との共同研究多数。これまで、企業などと協働して大阪公立大学オリジナルワインや動物性原材料不使用のレトルトカレーなど、数々の製品を開発。

■ キーワード

栄養学 食品学 食品加工 食品分析 水溶性ビタミン 質量分析

■ メディア掲載、主な委員歴など

2022/6/30 読売テレビ「す・またん」 スイカの栄養素などについて解説

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001616_ja.html



早見 直美 (ハヤミ ナオミ)

生活科学研究科
准教授

広報ポイント

専門分野は栄養教育、健康教育、学校栄養。特に思春期～青年期の栄養教育を専門とし、ボディイメージを考慮した食育や心理的要因と食行動の関連、思春期の食育プログラム開発・評価などの研究に取り組む。

■ キーワード

栄養教育 ボディイメージ 行動科学 健康教育 食育 思春期 e-ヘルス

■ メディア掲載、主な委員歴など

近畿学校保健学会 評議員 2014 - 継続中
消費者庁「栄養成分表示等の活用に向けた消費者教育」委員会 プロジェクト委員 2017 - 2018
日本栄養改善学会 評議員 2018 - 継続中
農林水産省 令和元年度食育活動の全国展開委託事業(食育に関する課題検討及び 事例収集) 委員およびWG委員 2019/8 - 2020/3
JKYBライフスキル教育研究会 運営委員 2022 - 継続中

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000751_ja.html



由田 克士 (ヨシタ カツシ)

生活科学研究科
教授

広報ポイント

地域・職域における栄養・食生活の改善、循環器疾患予防と栄養素摂取の関連、日本人の食事摂取基準の活用、食事評価法、出生時体重やその後の発達に関与する要因などを研究。

■ キーワード

公衆栄養学 栄養疫学

■ メディア掲載、主な委員歴など

2023/6/3 NHK「全国ニュース」 国が示した、健康づくりに向けた食事や生活習慣の新たな数値目標について
2024/3/6 NHK「ニュースウォッチ9」 日本人の食事摂取基準改定案について
日本循環器病予防学会 理事 2007/6 - 継続中、日本栄養改善学会 理事 2013/11 - 継続中
日本公衆衛生学会 理事 2021/10 - 継続中
大阪府食育推進計画審議会 委員、第4次大阪市食育推進連絡調整会議 委員、堺市健康施策推進協議会 委員、堺市食育推進計画策定専門部会 部会長、熊取町保健対策推進協議会 委員(何れも継続中)

■ 研究者情報

https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000776_ja.html



INDEX

ア			
青木 茂樹	アオキ シゲキ	情報・AI	20
秋田 成司	アキタ セイジ	素材・エネルギー	38
秋山 康紀	アキヤマ コウキ	環境・生物・宇宙	42
秋吉 優史	アキヨシ マサフミ	素材・エネルギー	38
阿久井 康平	アクイ コウヘイ	社会・暮らし	7
阿久澤 麻理子	アクザワ マリコ	社会・暮らし	8
明戸 隆浩	アケド タカヒロ	社会・暮らし	8
朝田 良子	アサダ リョウコ	科学・技術	24
東 雅之	アズマ マサユキ	素材・エネルギー	39
東 泰孝	アズマ ヤスタカ	環境・生物・宇宙	42
阿多 信吾	アタ シンゴ	情報・AI	20
天尾 豊	アマオ ユタカ	科学・技術	24
安房田 智司	アワタ サトシ	環境・生物・宇宙	42
栗屋 智就	アワヤ トモナリ	医療	54
安藤 太一	アンドウ ヒロカズ	科学・技術	24
安藤 裕一郎	アンドウ ユウイチロウ	科学・技術	24
アンドレア(森)アドリアナ	アンドレア(モリ)アドリアナ	科学・技術	25
イ			
飯田 琢也	イイダ タクヤ	科学・技術	25
生田 英輔	イクタ エイスケ	防災	53
池田 文人	イケダ フミヒト	情報・AI	20
池野 豪一	イケノ ヒデカズ	科学・技術	25
石亀 篤司	イシガメ アツシ	素材・エネルギー	39
石沢 武彰	イシザワ タケアキ	医療	54
石橋 ちなみ	イシバシ チナミ	食	69
石橋 勇人	イシバシ ハヤト	情報・AI	21
石丸 翔也	イシマル ショウヤ	情報・AI	21
五十川 大也	イソガワ ダイヤ	経済	19
伊地知 紀子	イチチ ノリコ	文化	5
伊藤 岳	イトウ ガク	国際情勢	19
伊藤 嘉余子	イトウ カヨコ	社会・暮らし	8
乾 隆	イヌイ タカシ	科学・技術	25
井上 幸紀	イノウエ コウキ	医療	54
井上 淳	イノウエ ジュン	環境・生物・宇宙	43
井上 慎	イノウエ シン	科学・技術	26
居原 秀	イハラ ヒデシ	環境・生物・宇宙	43
岩崎 昌子	イワサキ マサコ	環境・生物・宇宙	43
岩田 晃	イワタ アキラ	健康・リハビリテーション	65
岩村 雅一	イワムラ マサカズ	情報・AI	21
ウ			
上杉 徳照	ウエスギ トクテル	情報・AI	21
上田 昇平	ウエダ ショウヘイ	環境・生物・宇宙	43
植田 大樹	ウエダ ダイジュ	医療	55
植松 智	ウエマツ サトシ	医療	55
上村 麻衣子	ウエムラ マイコ	医療	55
植山 雅仁	ウエヤマ マサヒト	環境・生物・宇宙	44
打田 佐和子	ウチダ サワコ	医療	55
エ			
ESCANDE JESSY	エスカンド ジェシ	文化	5
榎本 大	エノモト マサル	医療	56
繪本 正恵	エモト マサノリ	医療	56
遠藤 徹	エンドウ トオル	環境・生物・宇宙	44
圓丸 哲麻	エンマル テツマ	経営・産業	18
オ			
大谷 直子	オオタニ ナオコ	医療	56
大塚 耕司	オオツカ コウジ	環境・生物・宇宙	44
大塚 芳嵩	オオツカ ヨシタカ	社会・暮らし	8
大西 利和	オオニシ シカズ	科学・技術	26
大藤 さとこ	オオフジ サトコ	医療	56
岡崎 和伸	オカザキ カズノブ	健康・リハビリテーション	65
岡田 健司	オカダ ケンジ	素材・エネルギー	39
興津 健二	オキツ ケンジ	科学・技術	26
小口 理一	オグチ リイチ	環境・生物・宇宙	44
奥野 久美子	オクノ クミコ	文化	5
奥野 充	オクノ ミツル	環境・生物・宇宙	45
尾島 由紘	オジマ ヨシヒロ	素材・エネルギー	39
恩田 真紀	オンダ マキ	科学・技術	26

カ			
垣田 裕介	カキタ ユウスケ	社会・暮らし	9
掛屋 弘	カケヤ ヒロシ	医療	57
笠松 真吾	カサマツ シンゴ	科学・技術	27
柏木 伸一郎	カシワギ シンイチロウ	医療	57
片岡 正教	カタオカ マサタカ	健康・リハビリテーション	66
片山 徹	カタヤマ トオル	科学・技術	27
嘉名 光市	カナ コウイチ	社会・暮らし	9
金澤 真理	カナザワ マリ	政治・法律	16
金子 幸弘	カネコ ユキヒロ	医療	57
鐘本 勝一	カネモト カツイチ	科学・技術	27
神谷 信夫	カミヤ ノブオ	科学・技術	27
亀尾 肇	カメオ ハジメ	素材・エネルギー	40
川上 太知	カワカミ タイチ	科学・技術	28
キ			
岸本 直文	キシモト ナオフミ	文化	5
岸本 嘉彦	キシモト ヨシヒコ	科学・技術	28
黄瀬 浩一	キセ コウイチ	情報・AI	22
喜田 雅彦	キタ マサヒコ	医療	57
北野 健一	キタノ ケンイチ	社会・暮らし	9
北野 友士	キタノ ユウジ	経営・産業	18
北村 愛子	キタムラ アイコ	健康・リハビリテーション	66
城戸 康年	キド ヤストシ	医療	58
木全 卓	キマタ タカシ	環境・生物・宇宙	45
牛 冰	ギウウ ヒョウ	社会・暮らし	9
ク			
九津見 雅美	クツミ マサミ	健康・リハビリテーション	66
久保田 佳基	クボタ ヨシキ	科学・技術	28
久堀 裕朗	クボリ ヒロアキ	文化	6
黒田 桂菜	クロダ カナ	環境・生物・宇宙	45
兼原 晶子	クワバラ アキコ	食	70
桑原 卓哉	クワハラ タクヤ	素材・エネルギー	40
コ			
五石 敬路	ゴイシ ノリミチ	社会・暮らし	10
小泉 望	コイズミ ノゾム	環境・生物・宇宙	45
河野 あゆみ	コウノ アユミ	健康・リハビリテーション	66
小木曾 望	コギノ ノゾム	科学・技術	28
小菅 厚子	コスガ アツコ	科学・技術	29
後藤 慎介	ゴトウ シンスケ	環境・生物・宇宙	46
後藤 剛夫	ゴトウ タケオ	医療	58
小柳 光正	コヤナギ ミツマサ	環境・生物・宇宙	46
古山 敬祐	コヤマ ケイスケ	環境・生物・宇宙	46
近藤 友宏	コンドウ トモヒロ	環境・生物・宇宙	46
サ			
佐賀 朝	サガ アシタ	文化	6
嵯峨 嘉子	サガ ヨシコ	社会・暮らし	10
酒井 英樹	サカイ ヒデキ	社会・暮らし	10
坂田 賢	サカタ サトシ	環境・生物・宇宙	47
酒巻 大輔	サカマキ ダイスケ	科学・技術	29
阪本 浩一	サカモト ヒロカズ	医療	58
作田 敦	サクダ アツシ	素材・エネルギー	40
櫻木 弘之	サクラギ ヒロユキ	科学・技術	29
佐野 修久	サノ ノブヒサ	社会・暮らし	10
シ			
椎木 弘	シイギ ヒロシ	科学・技術	29
重松 孝昌	シゲマツ タカアキ	防災	53
柴田 利彦	シバタ トシヒコ	医療	58
Jihyun Kim	ジヒョン キム	環境・生物・宇宙	47
許 岩	シュウ イェン	科学・技術	30
首藤 太一	シュトウ タイチ	医療	59
新ヶ江 章友	シンガエ アキトモ	社会・暮らし	11
新谷 歩	シンタニ アユミ	医療	59
ス			
菅野 拓	スガノ タク	防災	53
菅原 真弓	スガワラ マユミ	文化	6
杉浦 公彦	スギウラ キミヒコ	素材・エネルギー	40
杉田 菜穂	スギタ ナホ	社会・暮らし	11
杉谷 栄規	スギタニ ヨシキ	科学・技術	30

鈴木 祥仁	スズキ ヤスヒト	素材・エネルギー	41
角南 貴司子	スナミ キシコ	医療	59
ソ			
相馬 明郎	ソウマ アキオ	環境・生物・宇宙	47
タ			
高井 飛鳥	タカイ アスカ	科学・技術	30
高木 悠里	タカギ ユウリ	社会・暮らし	11
高田 裕貴	タカダ ユウキ	医療	59
高橋 哲也	タカハシ テツヤ	社会・暮らし	11
高橋 雅英	タカハシ マサヒデ	科学・技術	30
高橋 洋介	タカハシ ヨウスケ	医療	60
竹中 重雄	タケナカ シゲオ	食	70
竹林 崇	タケバヤシ タカシ	健康・リハビリテーション	67
橋 大介	タチバナ ダイスケ	医療	60
立花 太郎	タチバナ タロウ	環境・生物・宇宙	47
辰巳砂 昌弘	タツミサゴ マサヒロ	科学・技術	31
田中 寛之	タナカ ヒロユキ	健康・リハビリテーション	67
Dhar Sambuddha	ダル サムブッダ	科学・技術	31
チ			
千葉 知世	チバトモヨ	環境・生物・宇宙	48
ツ			
蔡 凱	ツァイ カイ	情報・AI	22
辻野 けんま	ツジノ ケンマ	社会・暮らし	12
都筑 千景	ツツキ チカゲ	健康・リハビリテーション	67
坪井 泰之	ツボイ ヤスユキ	科学・技術	31
円谷 健	ツムラヤ タケシ	科学・技術	31
鶴田 滋	ツルタ シゲル	政治・法律	17
鶴田 大輔	ツルタ ダイスケ	医療	60
テ			
手塚 洋輔	テヅカ ヨウスケ	政治・法律	17
寺井 秀富	テライ ヒデトミ	医療	60
寺北 明久	テラキタ アキヒサ	環境・生物・宇宙	48
ト			
土井 俊央	ドイトシヒサ	社会・暮らし	12
土井 智晴	ドイトモハル	科学・技術	32
徳尾野 徹	トクオノ テツ	社会・暮らし	12
徳永 文稔	トクナガ フミノリ	医療	61
床波 志保	トコナミ シホ	科学・技術	32
所 道彦	トコロ ミチヒコ	社会・暮らし	12
戸出 英樹	トデ ヒデキ	情報・AI	22
富山 貴美	トミヤマ タカミ	医療	61
ナ			
内藤 葉子	ナイトウ ヨウコ	社会・暮らし	13
中井 愛子	ナカイ アイコ	政治・法律	17
永井 史男	ナガイ フミオ	国際情勢	20
中川 慧	ナカガワ ケイ	経営・産業	18
中川 智皓	ナカガワ チヒロ	科学・技術	32
中條 社大	ナカジョウ ソウタ	防災	54
中瀬 生彦	ナカセ イクヒコ	医療	61
中谷 敬子	ナカタニ ケイコ	科学・技術	32
中谷 直樹	ナカタニ ナオキ	環境・生物・宇宙	48
長畑 多代	ナガハタ タヨ	健康・リハビリテーション	67
中村 博亮	ナカムラ ヒロアキ	医療	61
中山 美由紀	ナカヤマ ミユキ	健康・リハビリテーション	68
名波 哲	ナナミ サトシ	環境・生物・宇宙	48
鍋島 美奈子	ナベシマ ミナコ	素材・エネルギー	41
ニ			
仁木 宏	ニキ ヒロシ	文化	6
西尾 圭一郎	ニシオ ケイイチロウ	経営・産業	18
ネ			
根来 佐由美	ネゴロ サユミ	健康・リハビリテーション	68
ノ			
能島 裕介	ノジマ ユウスケ	情報・AI	22
野村 恭代	ノムラ ヤスヨ	社会・暮らし	13
ハ			
橋爪 紳也	ハシヅメ シンヤ	社会・暮らし	13
橋本 博公	ハシモト ヒロタダ	科学・技術	33
橋本 博文	ハシモト ヒロフミ	社会・暮らし	13

INDEX

橋本 文彦	ハシモト フミヒコ	情報・AI	23
橋本 求	ハシモト モトム	医療	62
長谷川 貴史	ハセガワ タカシ	環境・生物・宇宙	49
畑中 律敏	ハタナカ ノリトシ	環境・生物・宇宙	49
畑野 快	ハタノ カイ	社会・暮らし	14
鳩谷 晋吾	ハトヤ シンゴ	環境・生物・宇宙	49
ハナムラ チカヒロ	ハナムラ チカヒロ	文化	7
波場 直之	ハバナオユキ	科学・技術	33
濱島 淑恵	ハマシマ ヨシエ	社会・暮らし	14
早川 潔	ハヤカワ キヨシ	情報・AI	23
林 晃敏	ハヤシ アキトシ	科学・技術	33
早見 直美	ハヤミ ナオミ	食	70
ヒ			
穂田 健志	ヒエダ タケシ	政治・法律	17
檜垣 岳史	ヒガキ タケフミ	科学・技術	33
東 優子	ヒガシ ユウコ	社会・暮らし	14
東田 卓	ヒガシダ スグル	科学・技術	34
東脇 正高	ヒガシワキ マサタカ	素材・エネルギー	41
樋口 真人	ヒグチ マコト	医療	62
樋口 由美	ヒグチ ユミ	健康・リハビリテーション	68
平井 規央	ヒライ ノリオ	環境・生物・宇宙	49
廣岡 浄進	ヒロオカ キヨノブ	文化	7
弘田 陽介	ヒロタ ヨウスケ	社会・暮らし	14
廣野 哲朗	ヒロノ テツロウ	科学・技術	34
フ			
FARNHAM CRAIG EDWARD	ファーナムクレイグエドワード	社会・暮らし	15
福島 若葉	フクシマ ワカバ	医療	62
福田 大受	フクダ ダイジュ	医療	62
福田 弘和	フクダ ヒロカズ	科学・技術	34
藤井 郁雄	フジイ イクオ	医療	63
藤井 俊博	フジイトシヒロ	環境・生物・宇宙	50
藤田 憲一	フジタ ケンイチ	科学・技術	34
藤原 靖弘	フジワラ ヤスヒロ	医療	63
古家 優	フルヤ マサル	環境・生物・宇宙	50
ホ			
細見 晃司	ホソミ コウジ	環境・生物・宇宙	50
堀内 渉	ホリウチ ワタル	科学・技術	35
堀江 真行	ホリエ マサユキ	環境・生物・宇宙	50
マ			
前田 清	マエダ キヨシ	医療	63
真嶋 由貴恵	マジマ ユキエ	医療	63
増田 聡	マスダ サトシ	文化	7
松井 利之	マツイ トシユキ	社会・暮らし	15
松尾 薫	マツオ カオル	環境・生物・宇宙	51
松尾 健治	マツオ ケンジ	経営・産業	19
松原 勤	マツバラ ツトム	医療	64
松原 浩	マツバラ ヒロシ	科学・技術	35
松本 淳	マツモト アツシ	経済	19
丸 信人	マル ノブヒト	科学・技術	35
ミ			
三浦 大助	ミウラ ダイスケ	環境・生物・宇宙	51
三浦 夏子	ミウラ ナツコ	環境・生物・宇宙	51
三枝 栄子	ミエダ エイコ	科学・技術	35
水谷 聡	ミズタニ サトシ	環境・生物・宇宙	51
三田 優子	ミタ ユウコ	社会・暮らし	15
宮田 真人	ミヤタ マコト	科学・技術	36
宮本 貴朗	ミヤモト タカオ	情報・AI	23
モ			
望月 知史	モチヅキ トモフミ	環境・生物・宇宙	52
元村 尚嗣	モトムラ ヒサシ	医療	64
森 茂生	モリ シゲオ	科学・技術	36
森内 敏之	モリウチ トシユキ	科学・技術	36
森澤 和子	モリザワ カズコ	科学・技術	36
森田 裕之	モリタ ヒロユキ	情報・AI	23
森本 明子	モリモト アキコ	健康・リハビリテーション	68
ヤ			
安木 真世	ヤスギ マヨ	環境・生物・宇宙	52
山岸 則夫	ヤマギシ ノリオ	環境・生物・宇宙	52

山岸 良多	ヤマギシ リョウタ	医療	64
山口 隆司	ヤマグチ タカシ	科学・技術	37
山口 博則	ヤマグチ ヒロノリ	科学・技術	37
山崎 伸二	ヤマサキ シンジ	環境・生物・宇宙	52
山田 亮祐	ヤマダ リョウスケ	素材・エネルギー	41
山野 則子	ヤマノ ノリコ	社会・暮らし	15
山本 晃	ヤマモト アキラ	医療	64
ユ			
弓場 英司	ユバ エイジ	科学・技術	37
ヨ			
除本 理史	ヨケモト マサフミ	社会・暮らし	16
横井 賀津志	ヨコイ カツシ	健康・リハビリテーション	69
横井 修司	ヨコイ シュウジ	環境・生物・宇宙	53
余越 伸彦	ヨコシ ノブヒコ	素材・エネルギー	42
横山 久代	ヨコヤマ ヒサヨ	健康・リハビリテーション	69
横山 美江	ヨコヤマ ヨシエ	健康・リハビリテーション	69
吉川 貴仁	ヨシカワ タカヒロ	医療	65
由田 克士	ヨシタ カツシ	食	70
吉田 大介	ヨシダ ダイスケ	科学・技術	37
吉田 直哉	ヨシダ ナオヤ	社会・暮らし	16
吉田 長裕	ヨシダ ナガヒロ	社会・暮らし	16
リ			
Rivera Rocabado David Samuel	リベラロカバ David Samuel	科学・技術	38
レ			
LE THI THANH THUY	レティ タントツイ	医療	65
ワ			
綿野 哲	ワタノ サトル	科学・技術	38

